

知立市の新しい総合計画のためのアンケート調査 報告書

目次

I 市民アンケート

0. 調査概要	1
1. 回答者のプロフィール	3
(1) 居住小学校区	3
(2) 年齢	4
(3) 性別	5
(4) 職業	6
(5) 主な通勤・通学先	8
(6) 知立市での居住年数	10
2. 知立市への居住継続意向・知立市の印象	12
(1) 知立市への居住継続意向	12
(2) 知立市に住みたくない理由	15
(3) 現在の知立市の印象	17
(4) 知立市の強み・弱み	29
3. 知立市の取組みに対する満足度・重要度	31
(1) 知立市の取組みに対する満足度	31
(2) 知立市の取組みに対する重要度	33
(3) 評点の計算の仕方	35
(4) 満足度と重要度の評点	36
(5) 満足度と重要度の関係	38
4. 知立市民の生活の様子	39
(1) 災害時の避難路・避難場所の認知状況	39
(2) 市内の交通安全環境に関する満足度	41
(3) 環境に配慮した生活の状況	43
(4) 日頃の生涯学習活動の状況	45
(5) 日頃の芸術・文化活動への参加状況	47
(6) 人権教育・啓発活動への参加状況	48
(7) この1年間の人権侵害された経験の有無	50
(8) 地域のコミュニティ活動への参加状況	52
(9) 市民サービスの向上に対する市役所の努力の評価	54

5. 協働のまちづくり	56
(1) 協働のまちづくりへの参画の意向	56
(2) 参画したい協働のまちづくりの分野	58
(3) 協働のまちづくりに参画したくない理由	60
6. 知立市総合計画	62
(1) 知立市総合計画の認知度	62
(2) 知立市総合計画の内容の理解度	63
(3) 現在の知立市の将来像の評価	64
(4) 知立市の将来像に込めたい思い	65
7. 自由意見	66

II 職員アンケート

0. 調査概要	67
1. 回答者のプロフィール	68
(1) 性別	68
(2) 年齢	68
(3) 現住所・居住年数	69
(4) 所属部	70
2. 知立市の印象	71
(1) 知立市の暮らしやすさ	71
(2) 現在の知立市の印象	72
(3) 知立市の強み・弱み	73
3. 知立市のまちづくり	75
(1) 知立市の取組みの充足度	75
(2) 知立市の取組みの重要度	77
(3) 充足度と重要度の評点	79
(4) 協働のまちづくりを推進すべき分野	81
(5) 『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因.....	82
(6) 現在の知立市の将来像の評価	84
(7) 知立市の将来像に込めたい思い	84

III 市民アンケートと職員アンケートの比較

(1) 現在の知立市の印象	85
(2) 市民と職員の満足度・充足度と重要度の比較	87

0. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、平成 27 年度からの「第 6 次知立市総合計画」の策定の基礎資料として、現時点での市政の検証を行うため実施しました。

(2) 調査の概要

本調査は、9 月 1 日現在の住民基本台帳から 20 歳以上の市民 2,000 人を無作為に抽出し、調査を実施しました。調査概要は、下表に示すとおりです。

図表 0 調査の配布・回収結果

調査対象	9 月 1 日現在の住民基本台帳から 20 歳以上の市民 2,000 人		
抽出方法	無作為抽出	調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	平成 25 年 9 月		
配布数	2,000 票 (うち 13 票は宛先不明)	回収数	1,066 票
回収率	53.6%	無効票数	5 票
有効回収数	1,061 票	有効回収率	53.4%

(3) 報告書の見方

- グラフは、帯グラフ、横棒グラフの 2 種類を必要に応じて使い分けています。
- 図中の構成比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0%になりません。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表しています。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

(4) 標本誤差

○母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果から母集団全体の値を推定するのが標本調査です。この際に生じる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差となります。

標本誤差の算定式

$\sigma = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$	<p>M : 母集団 n : 有効回収数 p : 結果の比率 k : 信頼度による定数 σ : 標本誤差</p> <p>※信頼度を95%とすると、$k=1.96$となる。</p>
--	--

標本誤差

	母集団 M	有効回収数 n	50%	40%	30%	20%	10%
			60%	70%	80%	90%	
全 体	53,217	1,061	2.98	2.92	2.73	2.38	1.79

1. 回答者のプロフィール

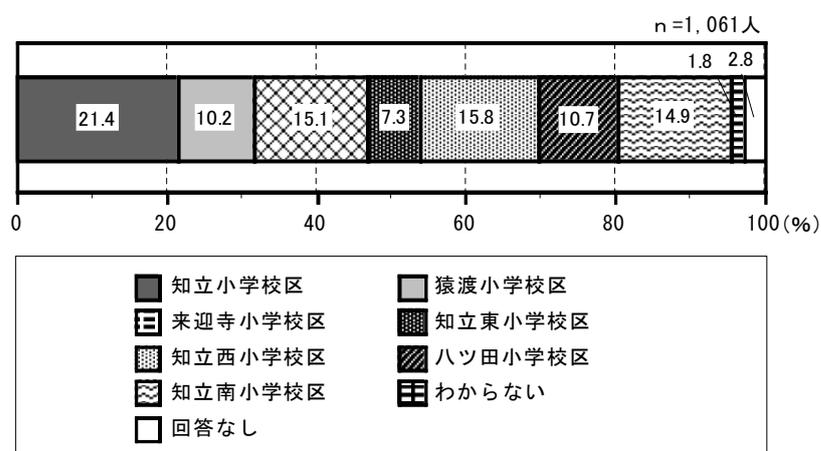
(1) 居住小学校区

問1 (3) あなたの小学校区について教えてください

回答者の居住小学校区は、「知立小学校区」が21.4%と最も多い。

○回答者の居住小学校区は、「知立小学校区」が21.4%と最も多く、次いで「知立西小学校区」が15.8%、「来迎寺小学校区」が15.1%、「知立南小学校区」が14.9%と続いています(図表1-1-1)。

図表1-1-1 居住小学校区



(2) 年齢

問1 (2) あなたの年齢について教えてください

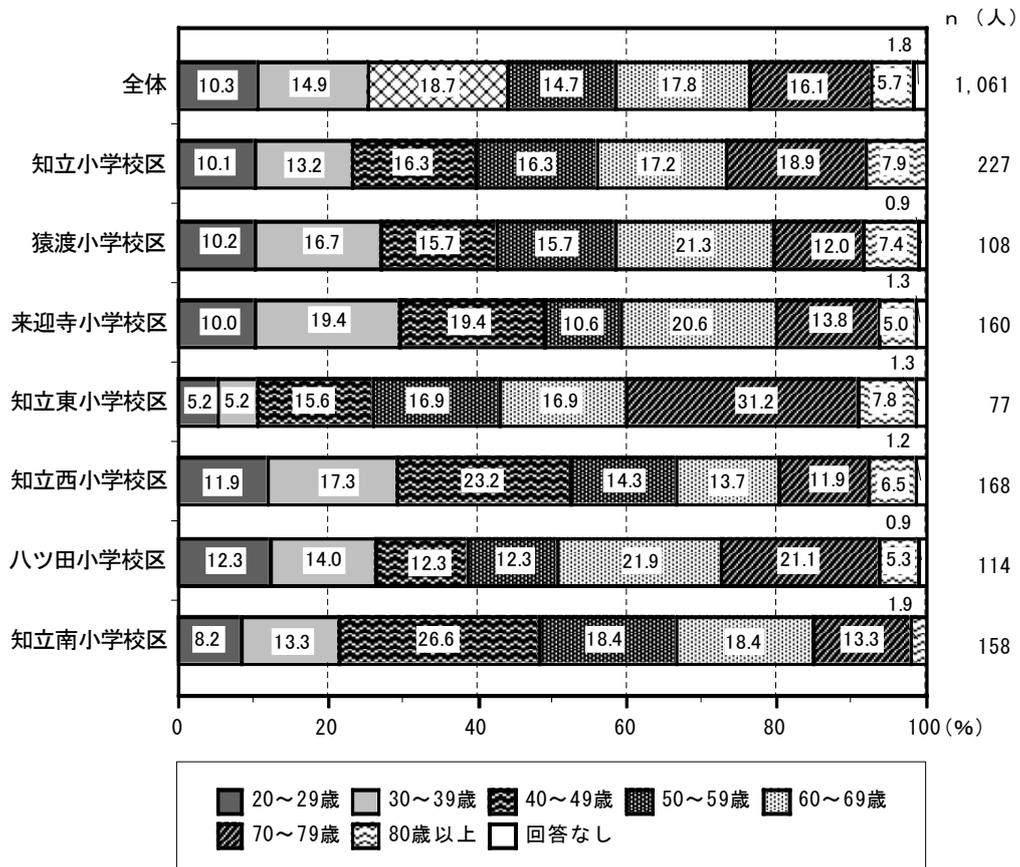
回答者の年齢は、20・30歳代が24.9%、40・50歳代が33.4%、60歳以上が39.6%である。

知立西小学校区、来迎寺小学校区は50歳未満の年齢層が多い地域であり、知立東小学校区と八ツ田小学校区は60歳以上の年齢層が多い地域になっている。

○回答者の年齢は、「40～49歳」が18.7%と最も多く、次いで「60～69歳」が17.8%、「70～79歳」が16.1%、「30～39歳」が14.9%、「50～59歳」が14.7%と続いています(図1-2-1)。

○居住小学校区別にみると、知立東小学校区と八ツ田小学校区はそれぞれ、60歳以上が55.9%と48.3%を占めて、回答者の年齢層が高くなっています。また、知立東小学校区は20～39歳が10.4%と極めて少なくなっています。一方、知立西小学校区、来迎寺小学校区はそれぞれ、50歳未満が52.4%と48.8%と半数を占めて、回答者の年齢層が若くなっています。

図表1-2-1 居住小学校区別年齢



(3) 性別

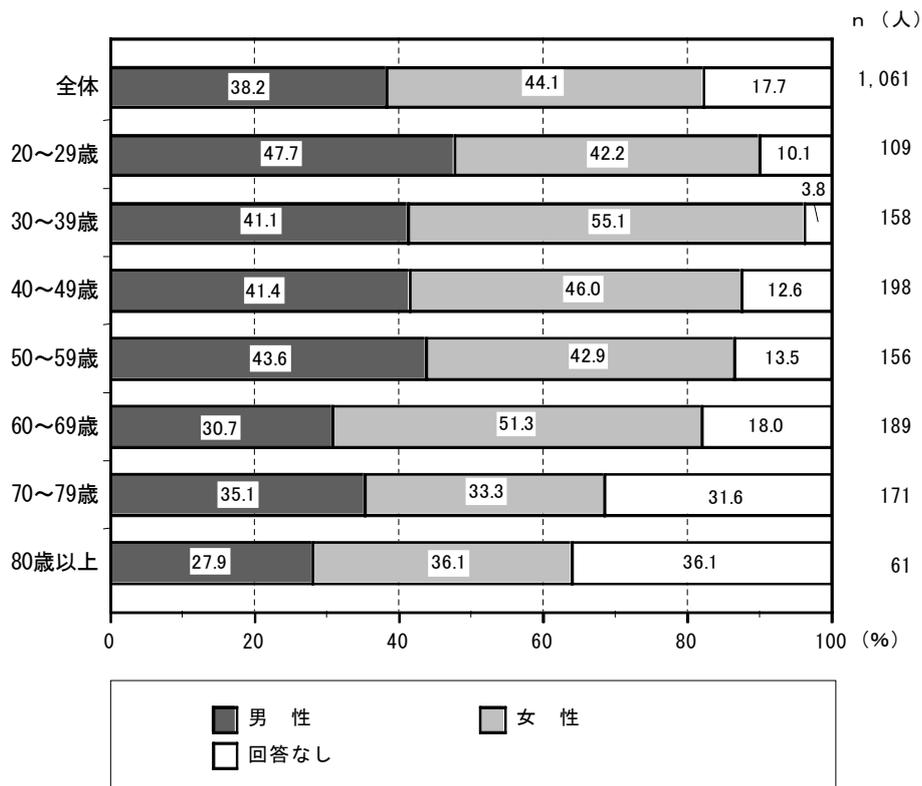
問1 (1) あなたの性別について教えてください

回答者は男性よりも女性の方が多い。20歳代で唯一、男性が女性を上回っている。

○回答者の性別は、「男性」が38.2%、「女性」が44.1%と、「女性」の方が多くなっています(図表1-3-1)。

○年齢別にみると、唯一20歳代で「女性」(42.2%)よりも「男性」(47.7%)の方が多くなっています(図表1-3-1)。

図表 1-3-1 年齢別性別



(4) 職業

問1 (4) あなたの職業について教えてください

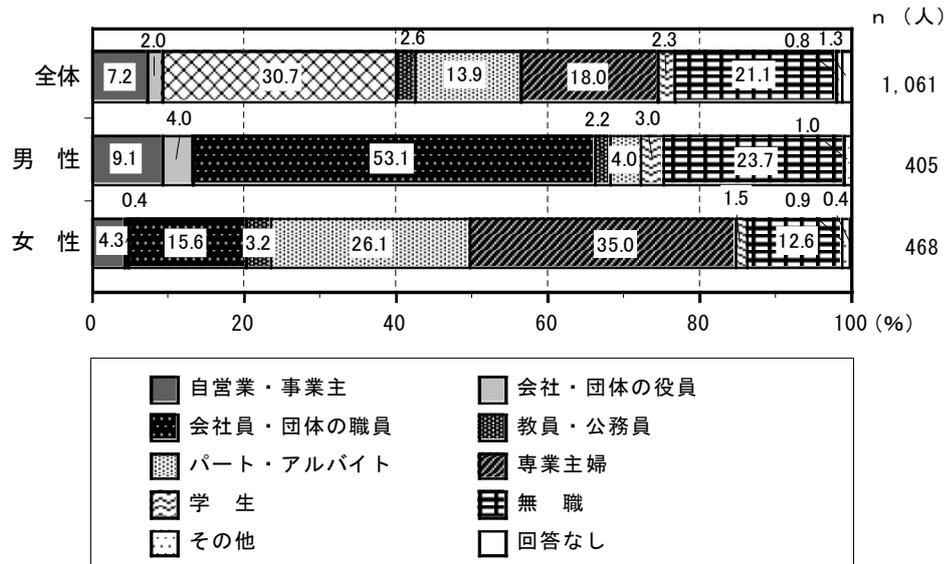
回答者の職業は、働いている人（パート・アルバイト含む）が56.4%、働いていない人（学生含む）が41.4%である。

60歳未満の若い人では「会社員・団体の職員」が約5割を占め、60歳以上では働いていない人が約6割以上と多くなっている。

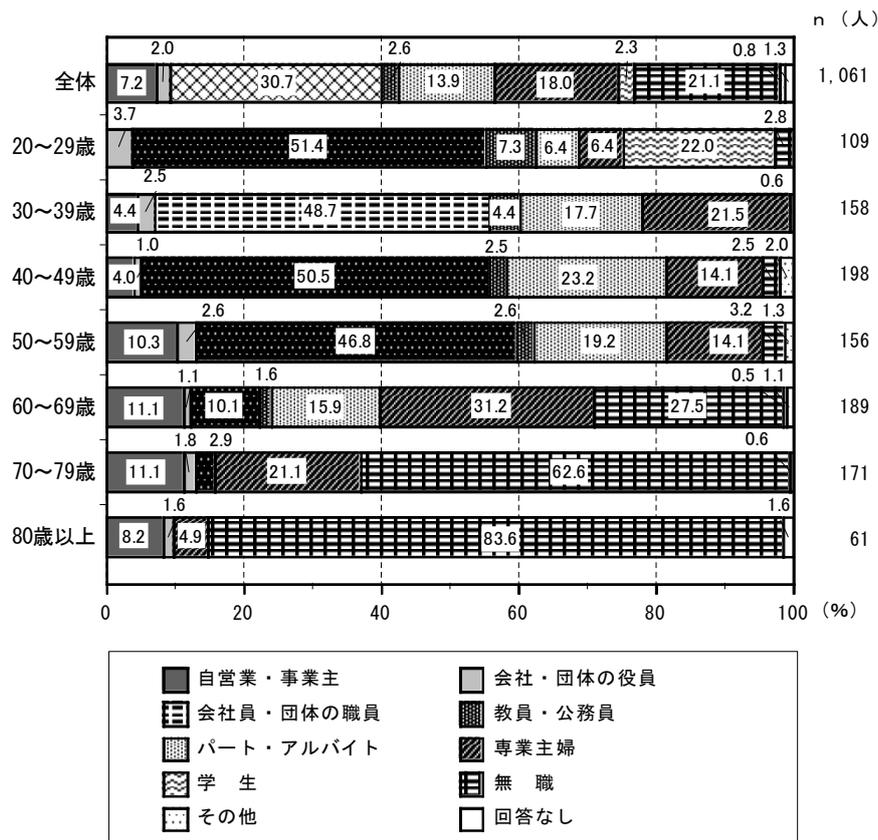
また居住小学校区別の年齢構成の違いにより、職業の状況も居住小学校区別に違いがみられる。

- 回答者の職業は、働いている人（パート・アルバイト含む）が全体で56.4%となっており、「無職」が21.1%、「専業主婦」が18.0%となっています（図表1-4-1）。
- 働いている人の職業は、「会社員・団体の職員」が30.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が13.9%、「自営業・事業主」が7.2%と続いています。
- 性別にみると、男性は74.3%が働いており、職業は「会社員・団体の職員」が53.1%と過半数を占めて多くなっています。一方、女性は49.6%が働いており、職業は「パート・アルバイト」が26.1%、「会社員・団体の職員」が15.6%と続いています。また、「専業主婦」が35.0%を占めて多くなっています。
- 年齢別にみると、60歳未満において「会社員・団体の職員」がほぼ半数を占め、最も多くなっていますが、30～60歳未満では「パート・アルバイト」も20%前後を占めて多くなっています。また、60歳以上では「専業主婦」や「無職」が約6割以上を占めています（図表1-4-2）。
- 居住小学校区別にみると、猿渡小学校区は「会社員・団体の職員」が38.0%と多くなっています。一方、知立東小学校区は「無職」が35.1%と多くなっています（図表1-4-3）。

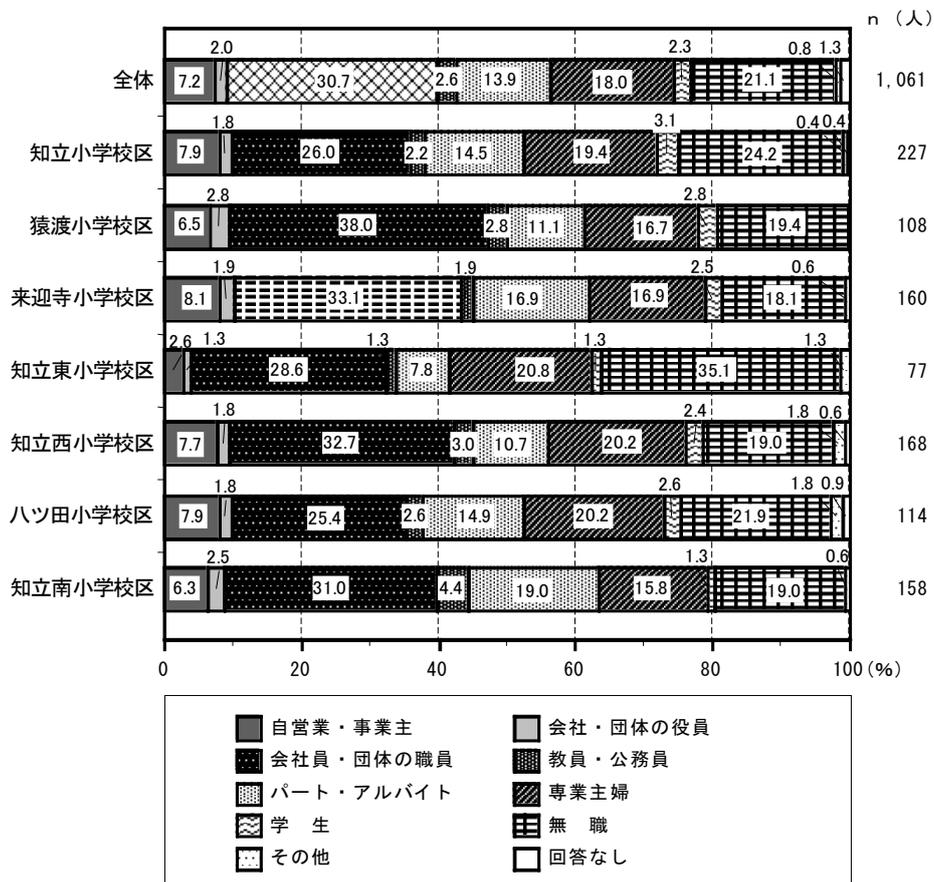
図表1-4-1 性別別職業



図表1-4-2 年齢別職業



図表1-4-3 居住小学校区別職業



(5) 主な通勤・通学先

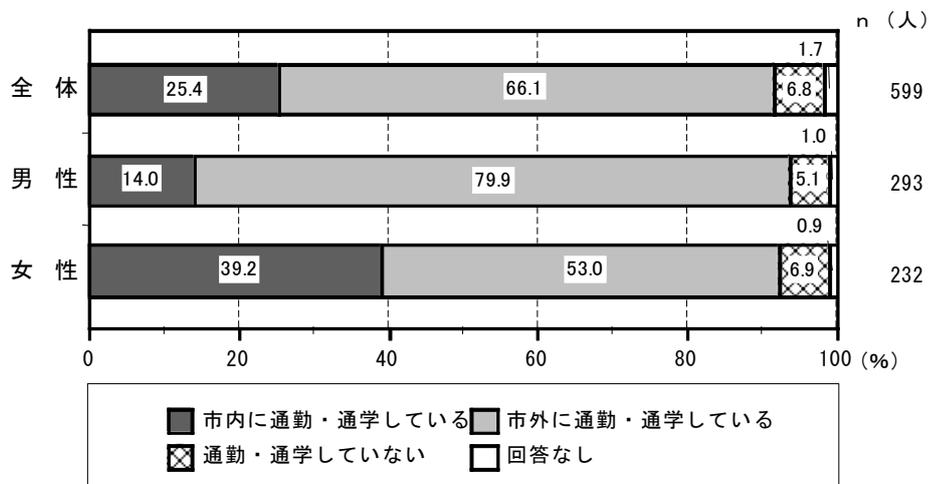
問1 (5) あなたの主な通勤・通学先について教えてください

働いている人で「市内」に通勤・通学している人は25.4%であり、「市外」が66.1%を占めている。特に男性や若い人が「市外」に通勤している。

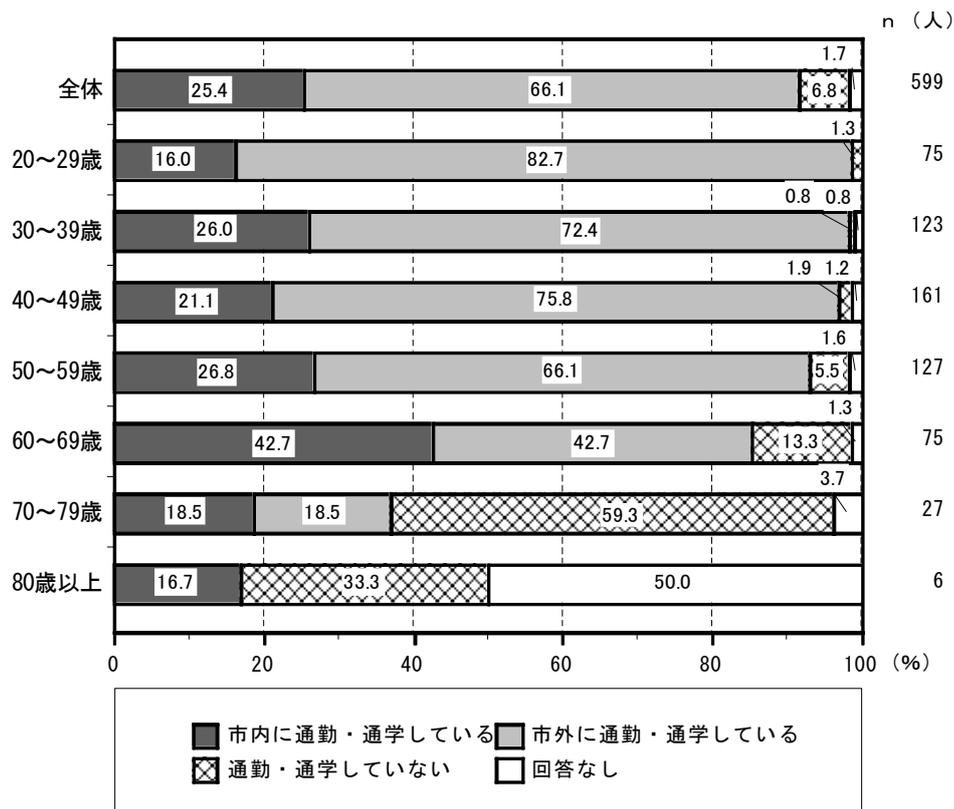
居住小学校区によっても主な通勤・通学先に違いがみられ、八ツ田小学校区では「市内」に通勤している人が41.7%と多くなっている。

- 働いている人の主な通勤・通学先について、「市内に通勤・通学している」は25.4%にとどまっておき、「市外に通勤・通学している」が66.1%を占めています（図表1-5-1）。
- 性別にみると、男性は「市外に通勤・通学している」が79.9%と多くなっています。女性も「市外に通勤・通学している」が53.0%と過半数を占めて多くなっているものの、「市内に通勤・通学している」も39.2%と多くなっています。
- 年齢別にみると、50歳未満では「市外に通勤・通学している」が7割以上を占めています。特に、「20～29歳」が82.7%と多くなっています（図表1-5-2）。
- 居住小学校区別にみると、「市内に通勤・通学している」は八ツ田小学校区で41.7%と多くなっている一方、来迎寺小学校区、知立西小学校区はそれぞれ17.2%、21.3%と少なくなっています（図表1-5-3）。

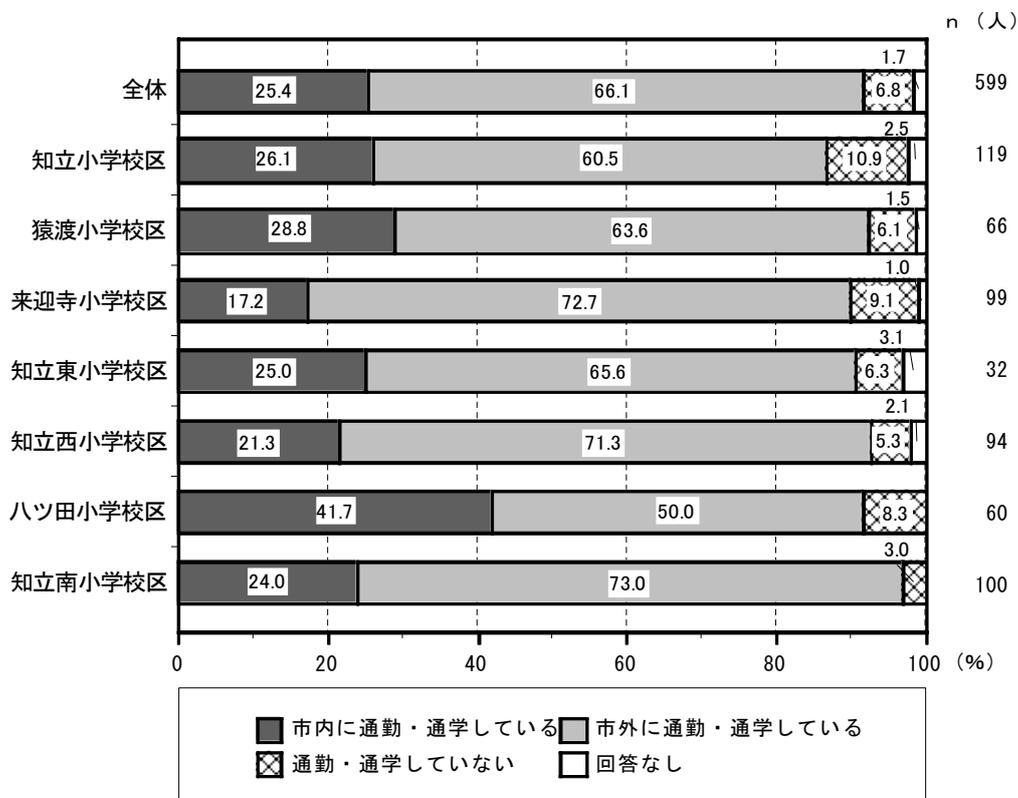
図表1-5-1 性別別主な通勤・通学先



図表1-5-2 年齢別主な通勤・通学先



図表1-5-3 居住小学校区別主な通勤・通学先



(6) 知立市での居住年数

問1 (6) あなたの知立市での居住年数について教えてください

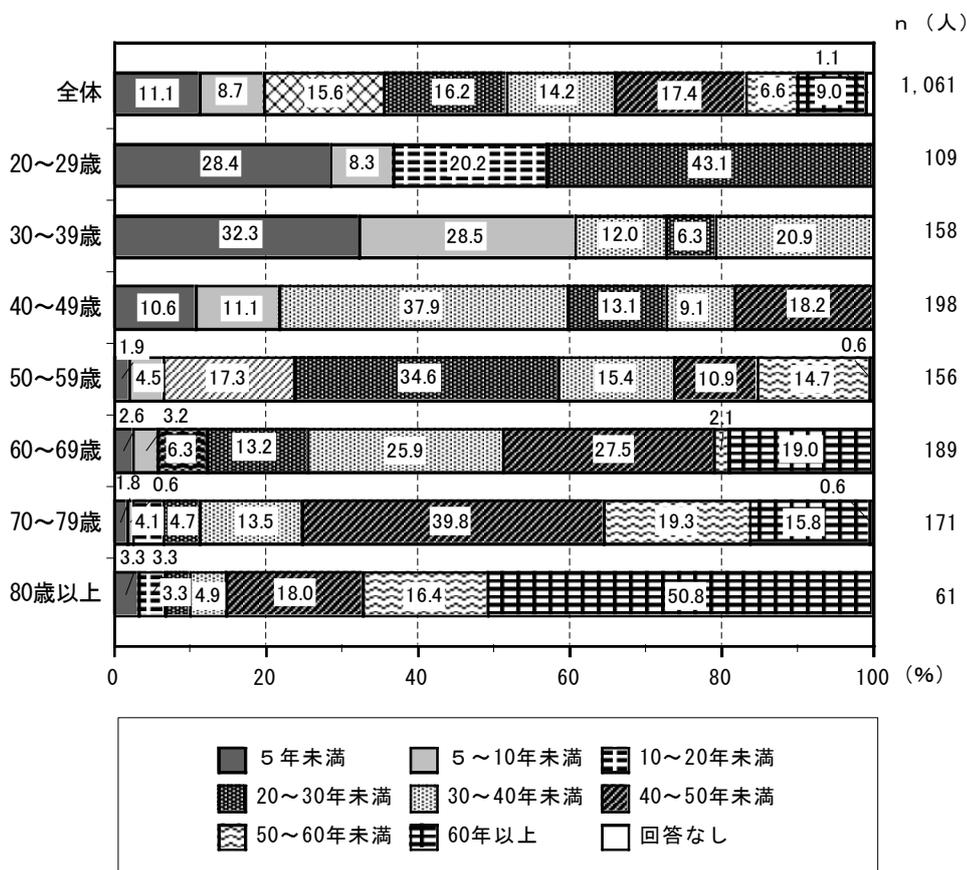
知立市での居住年数は、30年未満の人と30年以上の人が概ね半分ずつとなっている。「5年未満」は11.1%である。

○居住年数は、「40～50年未満」が17.4%と最も多く、次いで「20～30年未満」が16.2%となっています（図表1-6-1）。

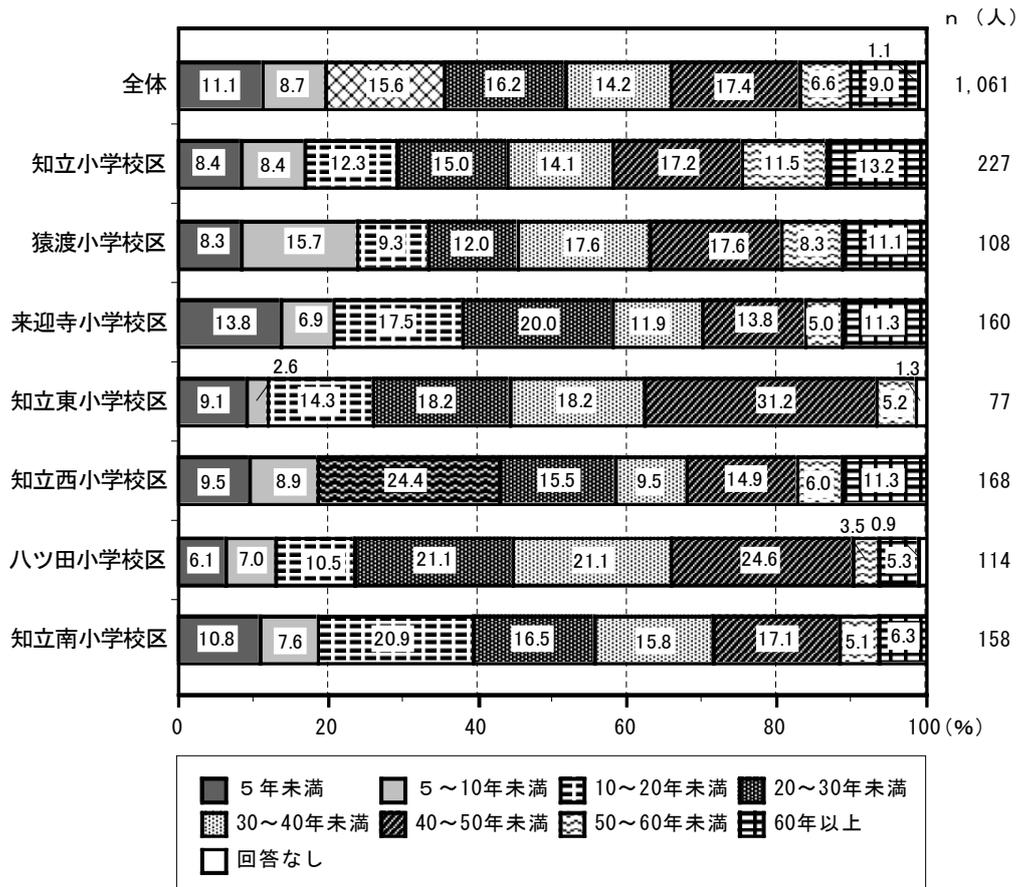
○年齢別にみると、10年未満が、20～29歳、30～39歳でそれぞれ36.7%、60.8%と多くなっています。また、40歳代以降においては、20・30歳代のときに知立市での居住を始めた人が多くなっています（図表1-6-1）。

○居住年数別にみると、知立小学校区では40年以上居住している人が多くなっています。また、八ツ田小学校区では20～40年未満居住している人が多くなっています（図表1-6-2）。

図表1-6-1 年齢別居住年数



図表1-6-2 居住小学校区別居住年数



2. 知立市への居住継続意向と知立市の印象

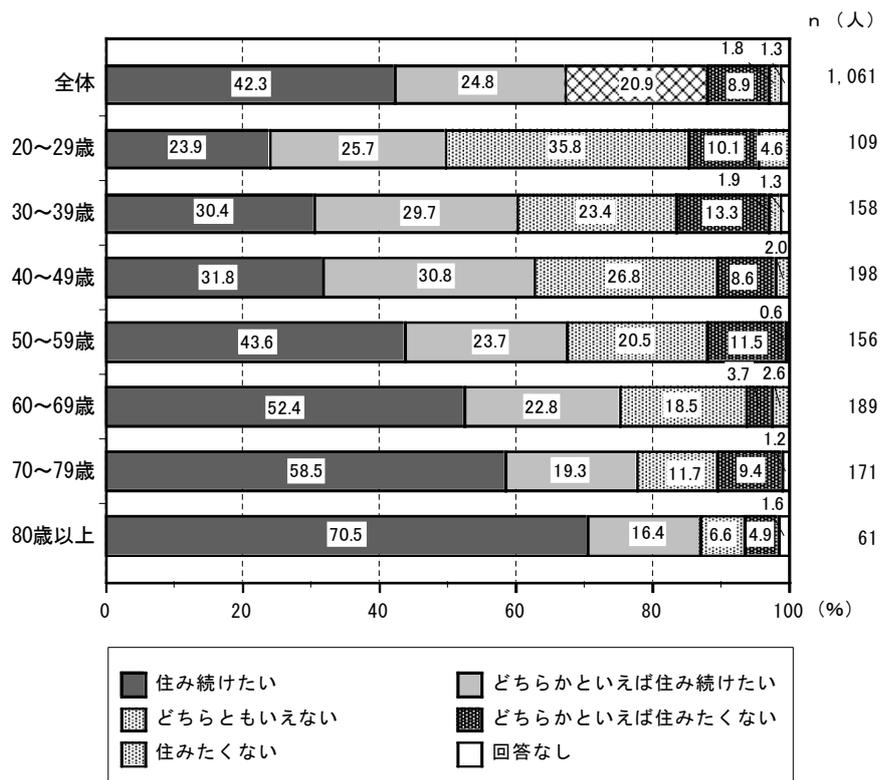
(1) 知立市への居住継続意向

問2 引越しの必要性等に関わらず、あなたは知立市にできれば「住み続けたい」と思っていますか

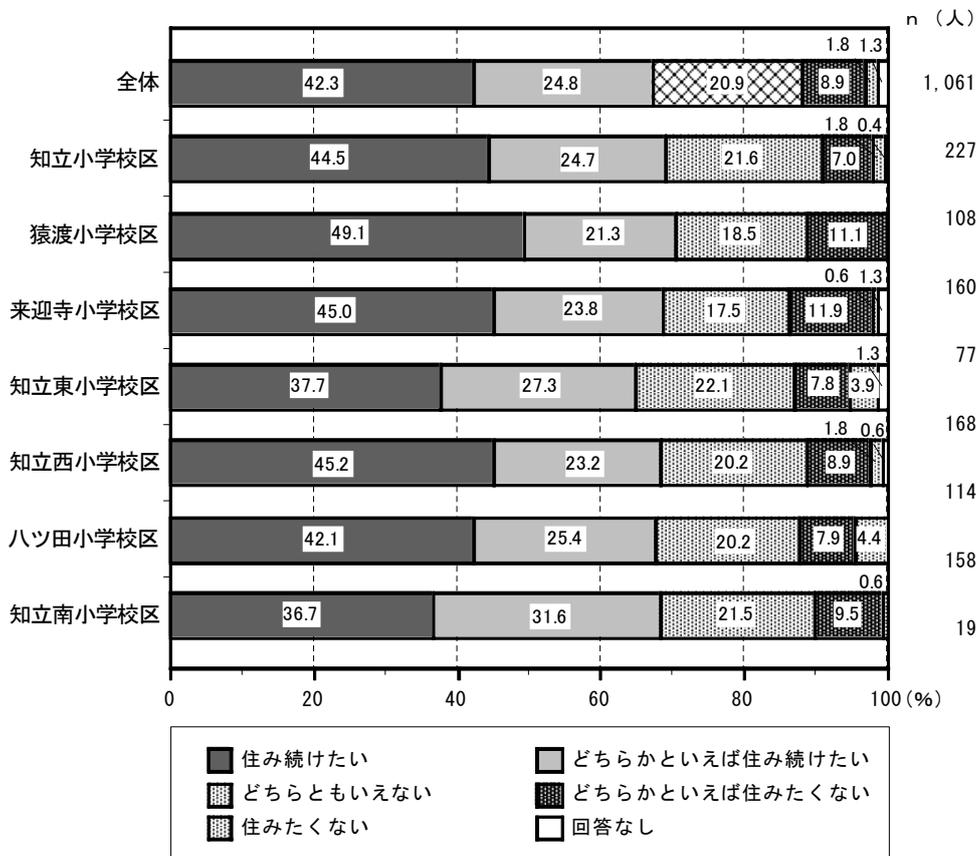
知立市に“住み続けたい”と考えている人は67.1%。年齢が高くなるにつれて、居住年数が長くなるにつれて「住み続けたい」が多くなっている。

- 知立市への居住継続意向は、「住み続けたい」が42.3%、「どちらかといえば住み続けたい」が24.8%で、あわせて67.1%の人が“住み続けたい”と考えています。また、「どちらともいえない」が20.9%で、「どちらかといえば住みたくない」(8.9%)、「住みたくない」(1.8%)をあわせると、10.7%の人が住みたくないと考えています(図表2-1-1)。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「住み続けたい」が多くなっており、20～29歳で23.9%であるのに対して80歳以上では70.5%となっています。「どちらかといえば住みたくない」は30～39歳で13.3%と最も多くなっています。
- 居住小学校区別にみると、「住み続けたい」は猿渡小学校区で49.1%と最も多く、知立南小学校区で36.7%と最も少なくなっています。また、知立東小学校区も37.7%と少なくなっています(図表2-1-2)。
- 居住年数別にみると、「住み続けたい」は10年未満では2割前後と少なく、「どちらかといえば住みたくない」が5年未満で15.3%と多くなっています。しかし、10年以上は年数が長くなるにつれて「住み続けたい」が多くなり、60年以上では74.7%となっています。また、「どちらともいえない」が5年未満で41.5%、5～10年未満で29.3%、10～20年未満で27.1%と多くなっています(図表2-1-3)。

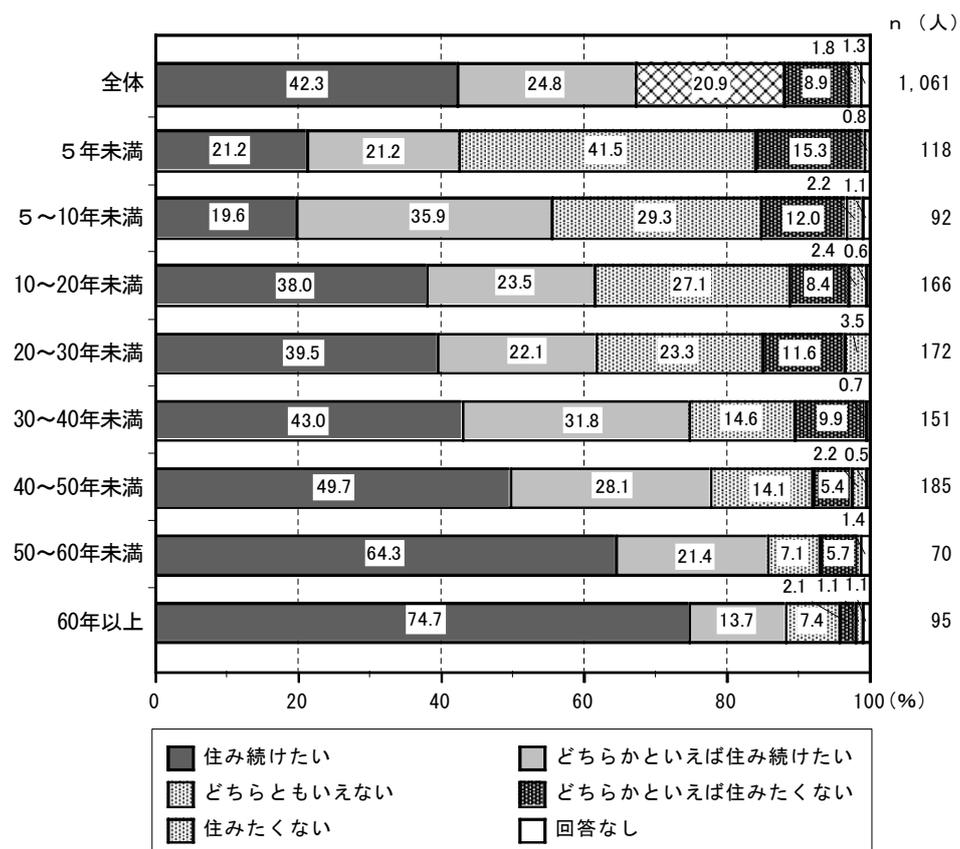
図表2-1-1 年齢別知立市への居住継続意向



図表2-1-2 居住小学校区別知立市への居住継続意向



図表2-1-3 居住年数別知立市への居住継続意向



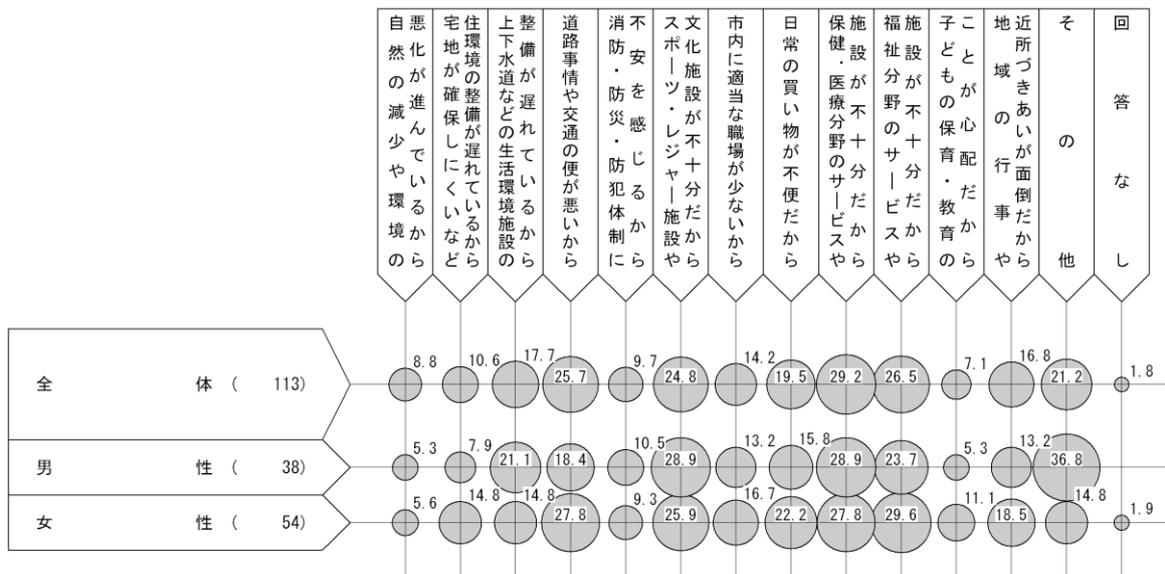
(2) 知立市に住みたくない理由

問2-1 「住みたくない」主な理由はなんですか

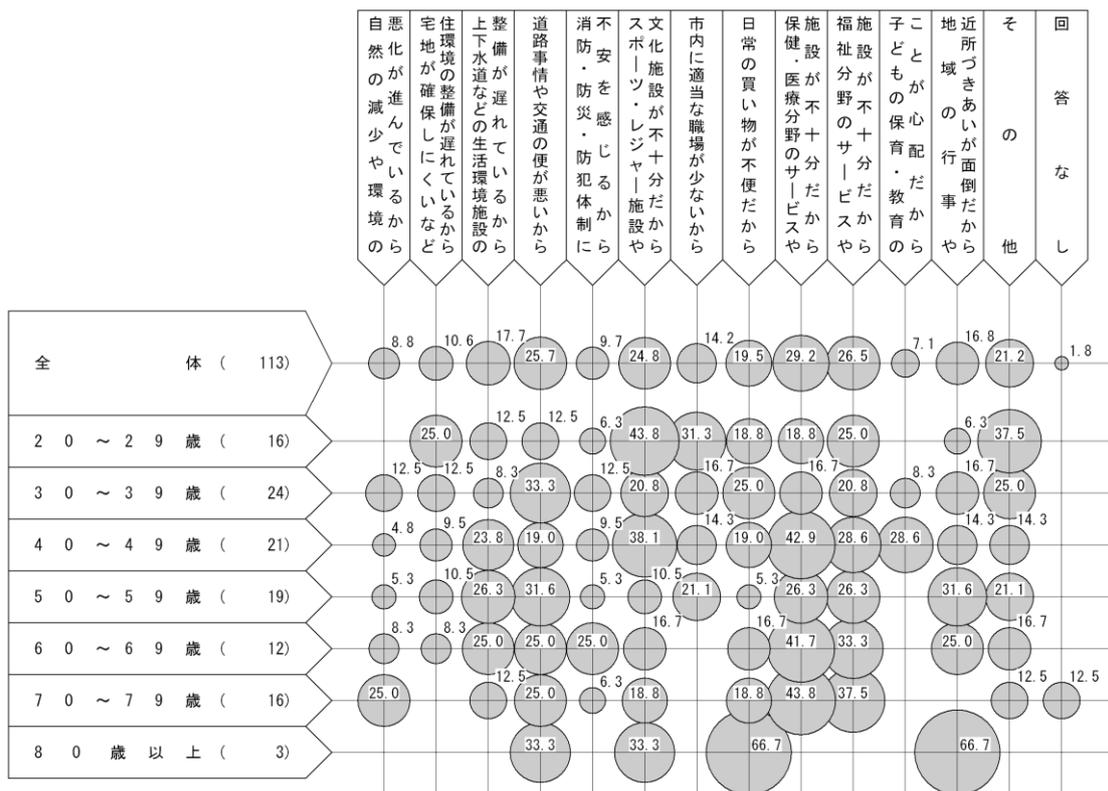
知立市に住みたくない主な理由は、保健・医療分野、福祉分野のサービスや施設が不十分である。

○知立市に住みたくない理由は、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから」が29.2%と最も多く、次いで「福祉分野のサービスや施設が不十分だから」が26.5%、「道路事情や交通の便が悪いから」が25.7%、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから」が24.8%、「日常の買い物が不便だから」が19.5%と続いています（図表2-2-1）。

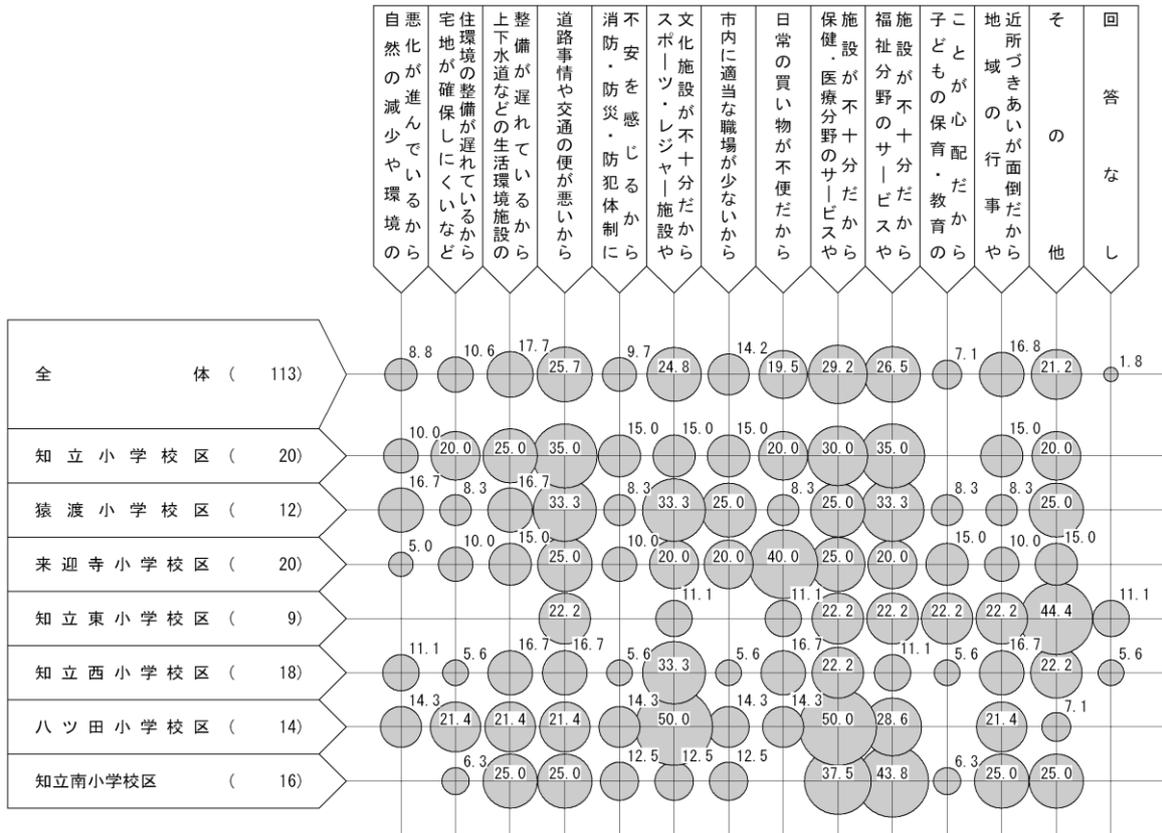
図表2-2-1 性別別知立市に住みたくない理由



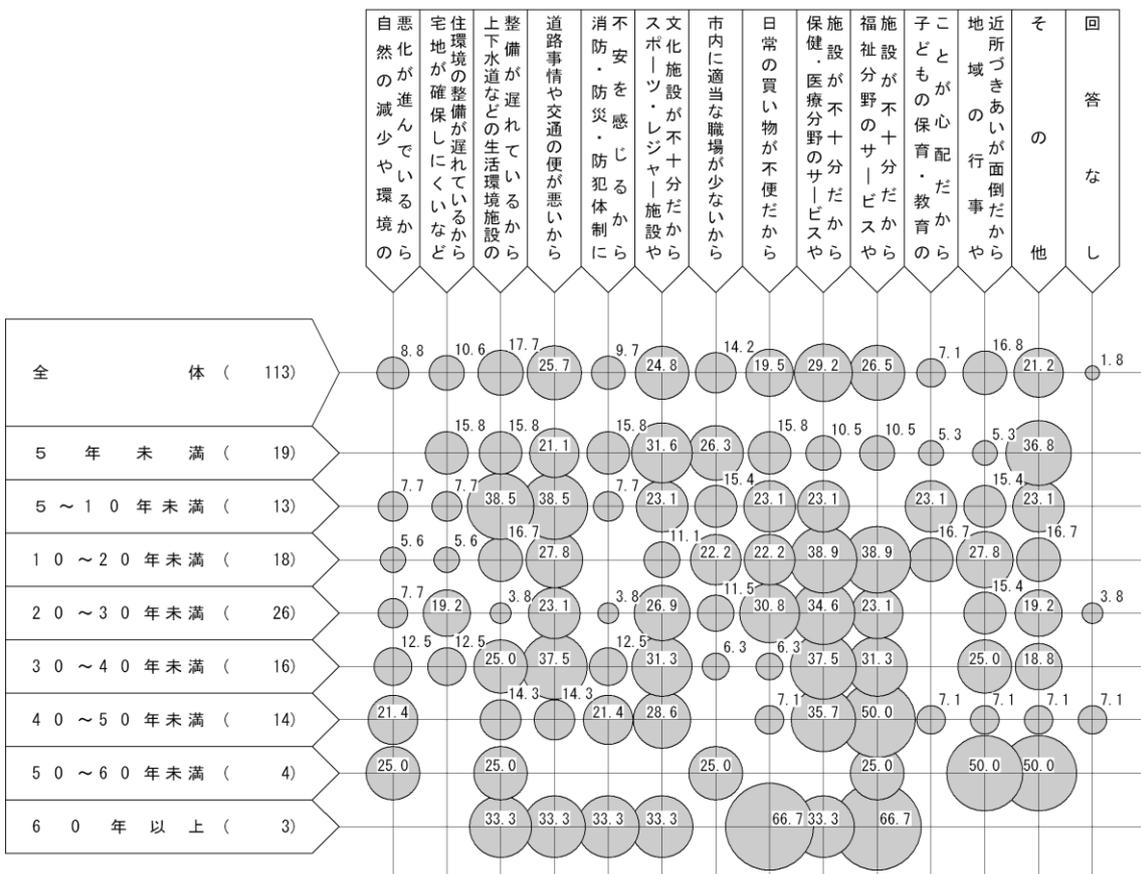
図表2-2-2 年齢別知立市に住みたくない理由



図表2-2-3 居住小学校区別知立市に住みたくない理由



図表2-2-4 居住年数別知立市に住みたくない理由



(3) 現在の知立市の印象

問3 現在の知立市の「印象」について、どのように感じますか

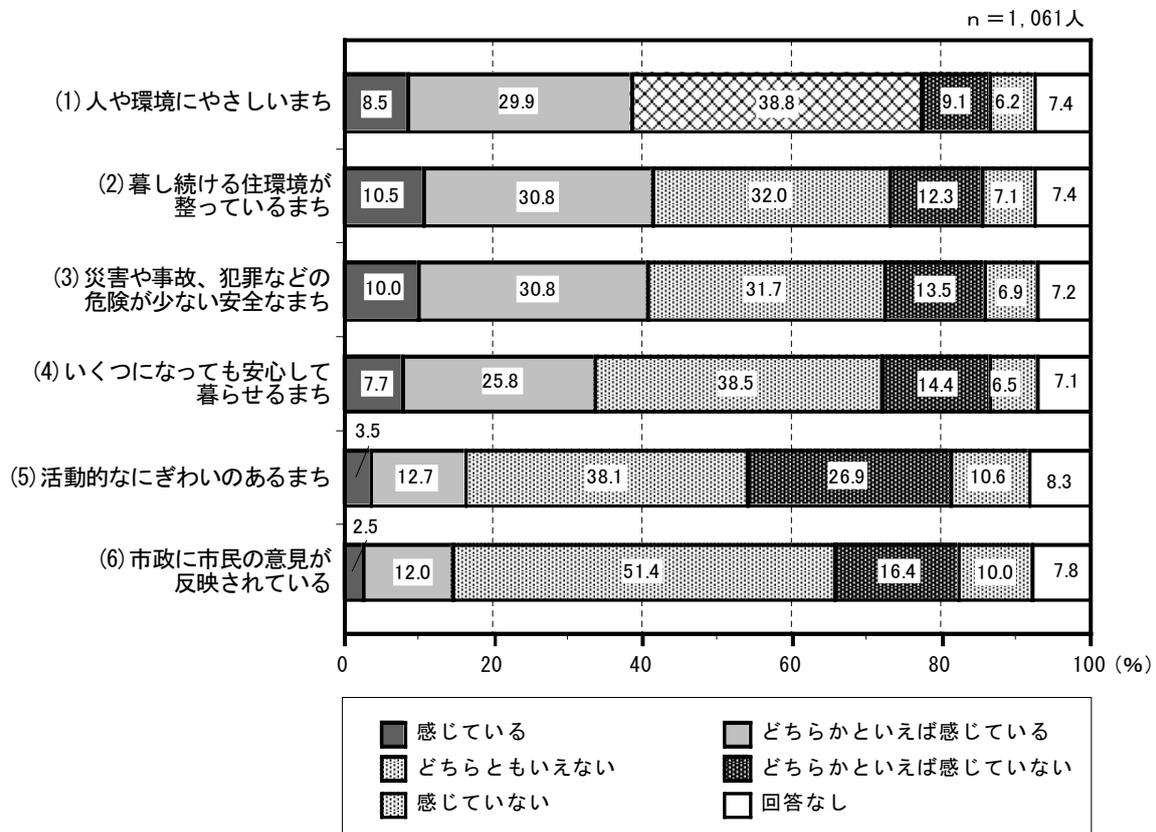
- (1) 人や環境にやさしいまちであると感じますか
- (2) 暮らし続ける住環境が整っているまちであると感じますか
- (3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちであると感じますか
- (4) いくつになっても安心して暮らせるまちであると感じますか
- (5) 活動的なにぎわいのあるまちであると感じますか
- (6) 市政に市民の意見が反映されていると感じますか

現在の知立市について、『暮らし続ける住環境が整っているまち』、『災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち』、『人や環境にやさしいまち』と感じている人が約4割である。

○現在の知立市の、それぞれの印象について「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた割合は、『暮らし続ける住環境が整っているまち』が41.3%と最も多く、次いで『災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち』が40.8%、『人や環境にやさしいまち』が38.4%、『いくつになっても安心して暮らせるまち』が33.5%、『活動的なにぎわいのあるまち』が16.2%、『市政に市民の意見が反映されている』が14.5%となっています（図表2-3-1）。

○また、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」をあわせた割合は、『活動的なにぎわいのあるまち』が37.5%で最も多く、次いで『市政に市民の意見が反映されている』が26.4%となっています。どちらも感じている人を大きく上回っています。

図表2-3-1 現在の知立市の印象

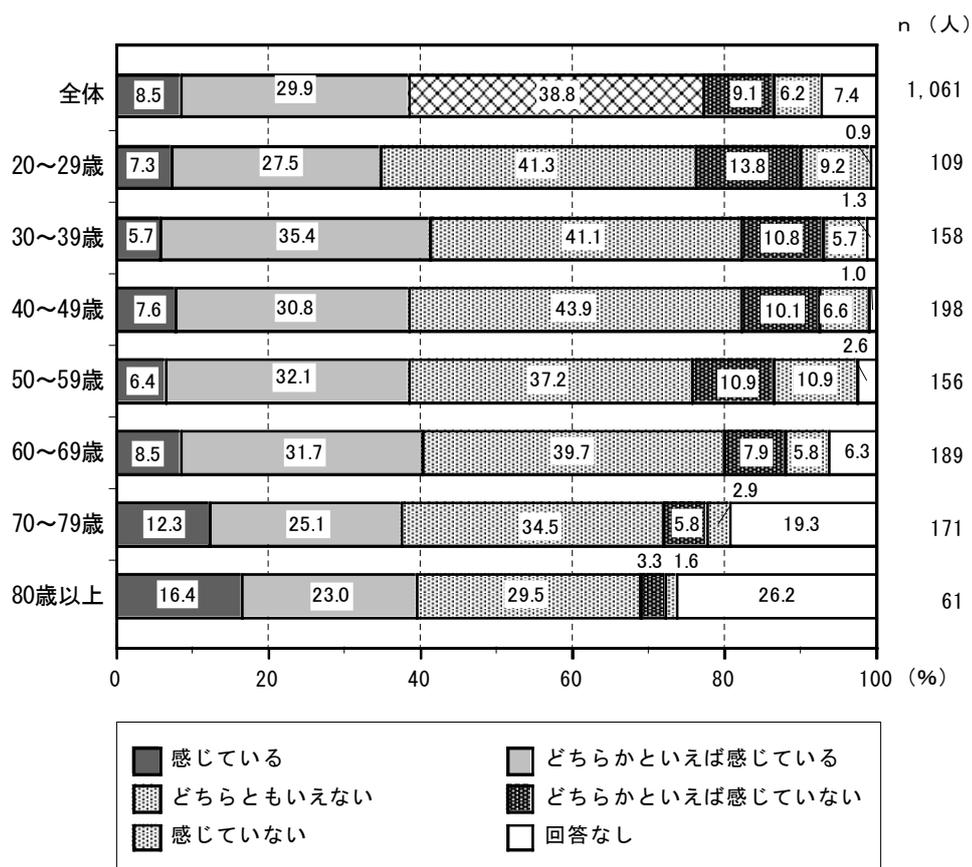


(1) 人や環境にやさしいまち

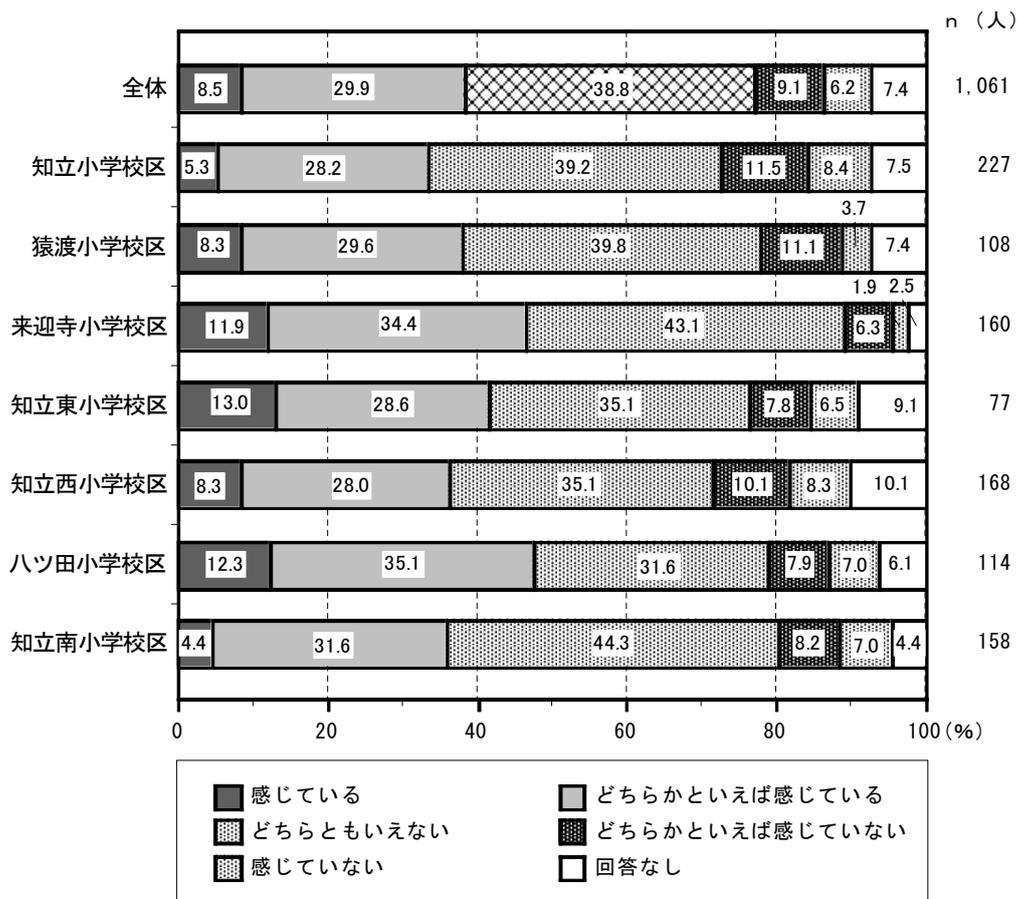
人や環境にやさしいまちだと感じている人は約4割。来迎寺小学校区や八ツ田小学校区では“感じている”が45%を超えてやや多くなっている。

- 人や環境にやさしいまちであるという印象について、「感じている」は8.5%、「どちらかといえば感じている」が29.9%で、“感じている”は38.4%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が9.1%、「感じていない」が6.2%で、“感じていない”は15.3%となっています（図表2-3-2）。
- 年齢別にみると、“感じている”は20～29歳で34.8%とやや少なくなっています。一方、“感じていない”は、20～29歳で23.0%、50～59歳で21.8%とやや多くなっています。
- 居住小学校区別にみると、来迎寺小学校区では“感じている”が46.3%と多く、“感じていない”が8.2%と少なくなっています。また、八ツ田小学校区も“感じている”が47.4%と多くなっています（図表2-3-3）。
- 一方、知立小学校区は“感じている”が33.5%とやや少なく、“感じていない”が19.9%やや多くなっています。

図表 2-3-2 年齢別知立市が人や環境にやさしいまちである印象



図表 2-3-3 居住小学校区別知立市が人や環境にやさしいまちである印象



(2) 暮らし続ける住環境が整っているまち

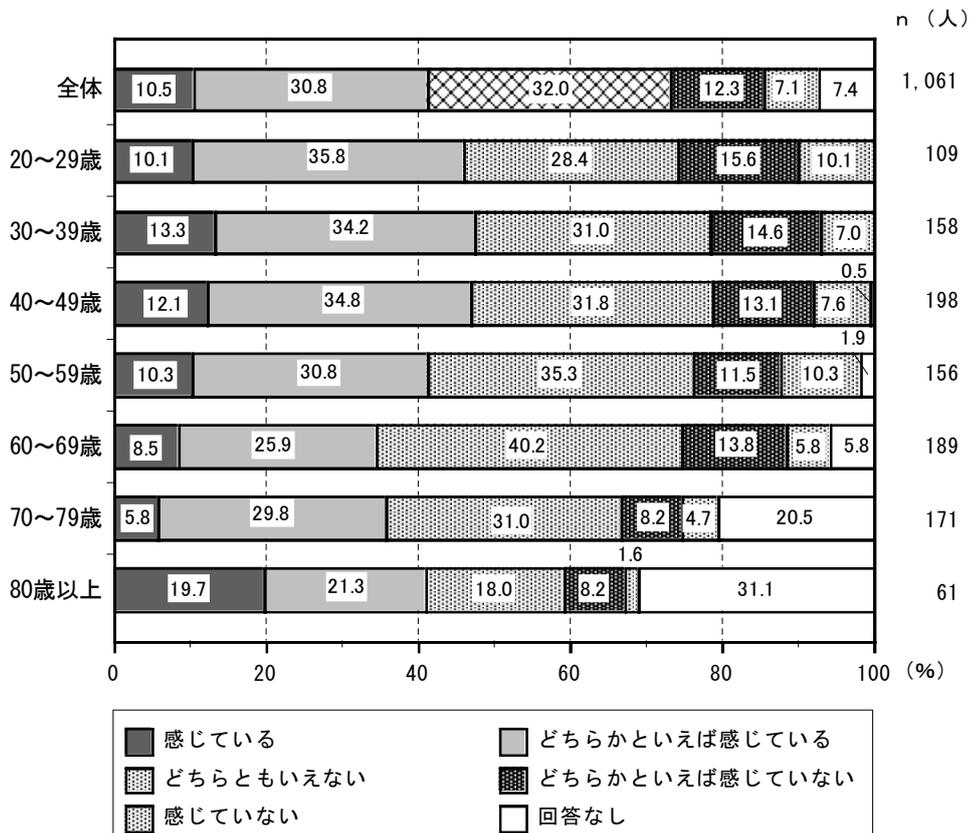
暮らし続ける住環境が整っているまちだと感じている人は約4割。知立東小学校区や八ツ田小学校区では“感じている”が45%を超えてやや多くなっている。

○暮らし続ける住環境が整っているまちである印象について、「感じている」は10.5%、「どちらかといえば感じている」が30.8%で、“感じている”は41.3%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が12.3%、「感じていない」が7.1%で、“感じていない”は19.4%となっています（図表2-3-4）。

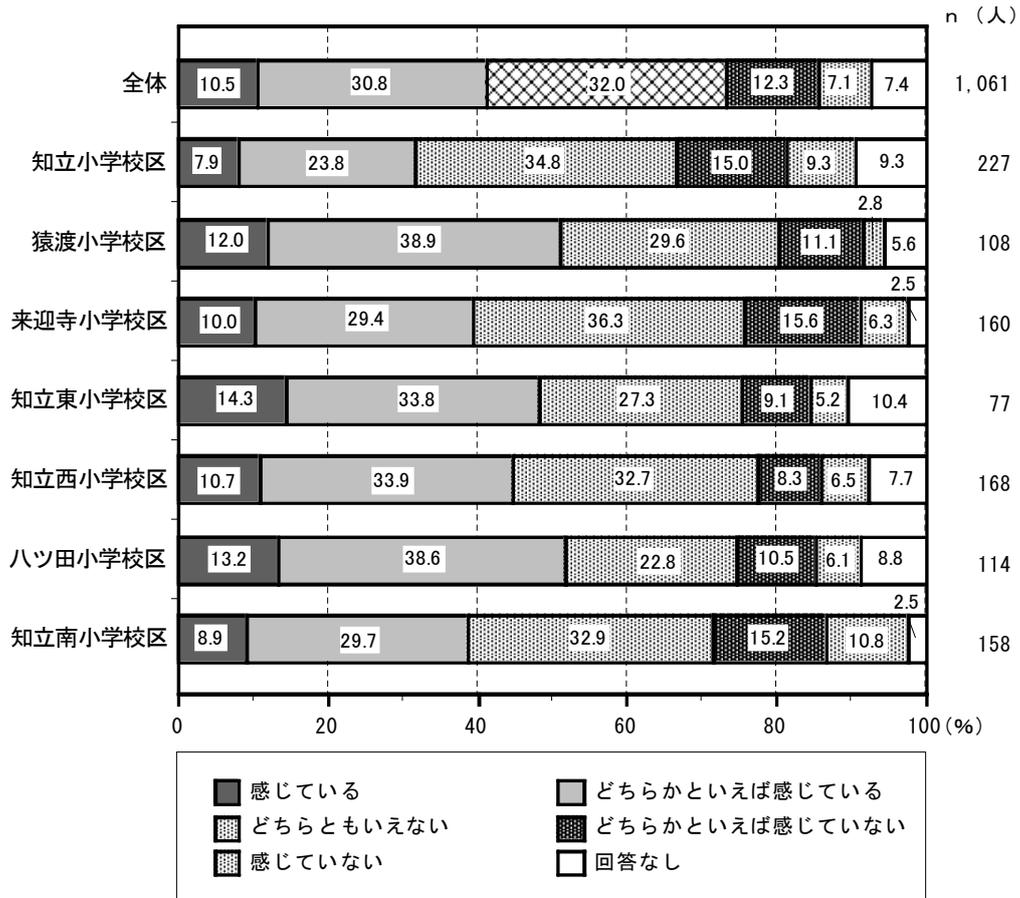
○年齢別にみると、“感じている”は30～39歳で47.5%、40～49歳で46.9%とやや多くなっています。一方、60～69歳で34.4%、70～79歳で35.6%とやや少なくなっています。

○居住小学校区別にみると、“感じている”は八ツ田小学校区、猿渡小学校区でそれぞれ、51.8%、50.9%と半数を占めて多くなっています。知立東小学校区も48.1%とやや多くなっています。一方、知立小学校区では“感じている”が31.7%と少なくなっています（図表2-3-5）。

図表 2-3-4 年齢別知立市が暮らし続ける住環境が整っているまちである印象



図表 2-3-5 居住小学校区別知立市が暮らし続ける住環境が整っているまちである印象



(3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち

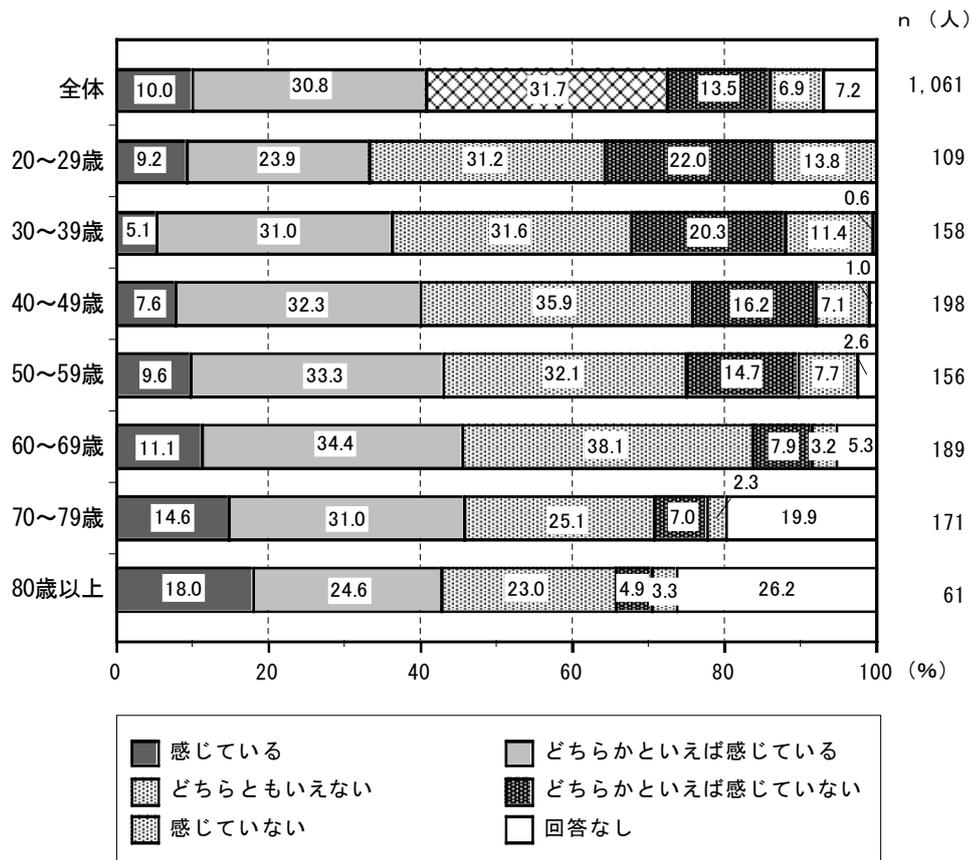
災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちだと感じている人は約4割。年齢が高い人ほどそう感じている。また、来迎寺小学校区、知立東小学校区でも安全なまちだと感じている人が約5割と多い。

○災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちである印象について、「感じている」は10.0%、「どちらかといえば感じている」は30.8%で、“感じている”は40.8%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」は13.5%、「感じていない」は6.9%で、“感じていない”は20.4%となっています（図表2-3-6）。

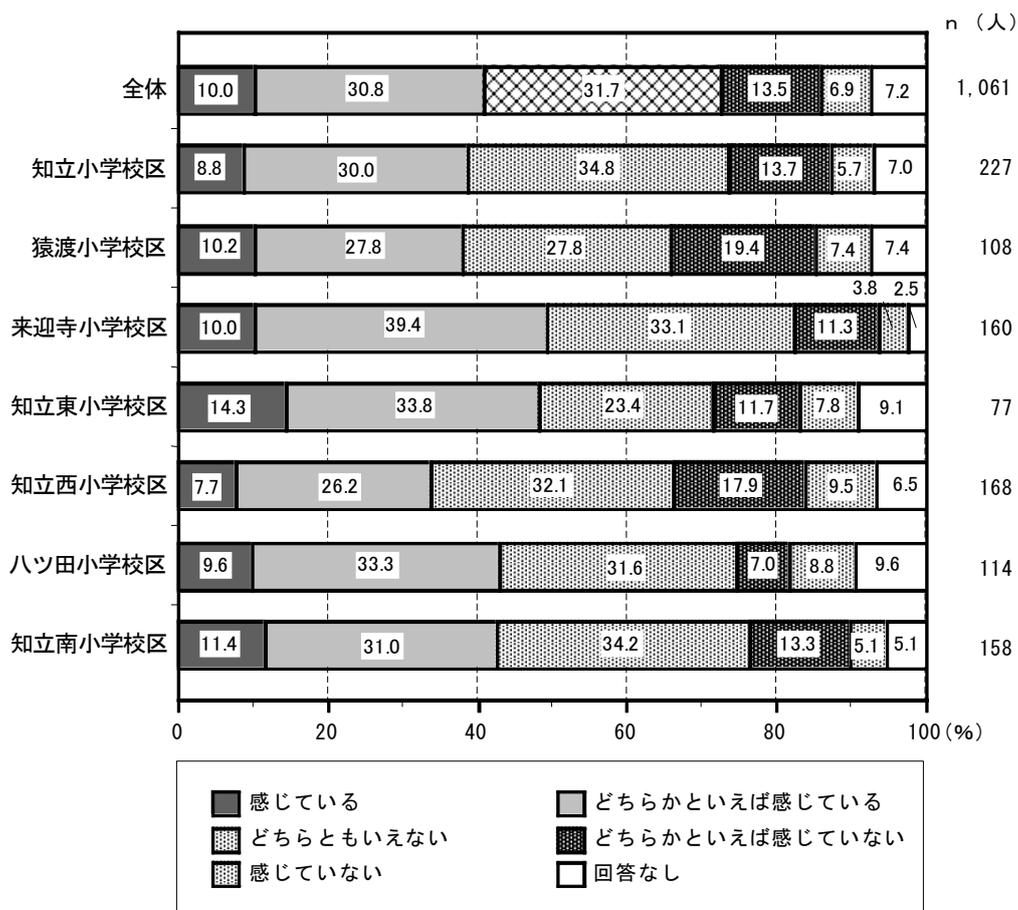
○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“感じている”が多くなっています。60～69歳、70～79歳でそれぞれ、45.5%、45.6%となっています。

○居住小学校区別にみると、“感じている”は来迎寺小学校区、知立東小学校区でそれぞれ、49.4%、48.1%と多くっており、知立西小学校区で33.9%と少なくなっています。一方、“感じていない”は知立西小学校区、猿渡小学校区でそれぞれ27.4%、26.8%と多くなっています（図表2-3-7）。

図表 2-3-6 年齢別知立市が災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちである印象



図表 2-3-7 居住小学校区別知立市が災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちである印象



(4) いくつになっても安心して暮らせるまち

いくつになっても安心して暮らせるまちと感じている人は 33.5%。一方で、感じていない人は 20.9%となっている。

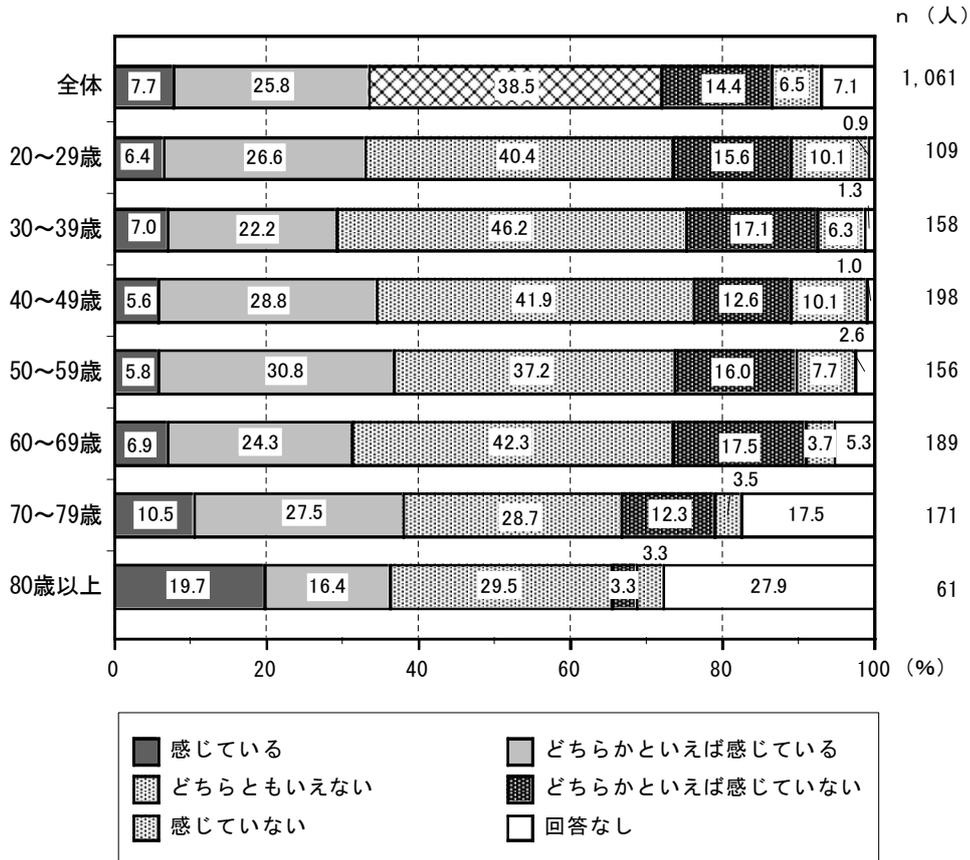
○いくつになっても安心して暮らせるまちである印象について、「感じている」が 7.7%、「どちらかといえば感じている」が 25.8%で、“感じている”は 33.5%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が 14.4%、「感じていない」が 6.5%で、“感じていない”が 20.9%となっています（図表 2-3-8）。

○年齢別にみると、20～29 歳で、“感じている”が 33.0%とやや多くなっているものの、“感じていない”も 25.7%と多くなっています。

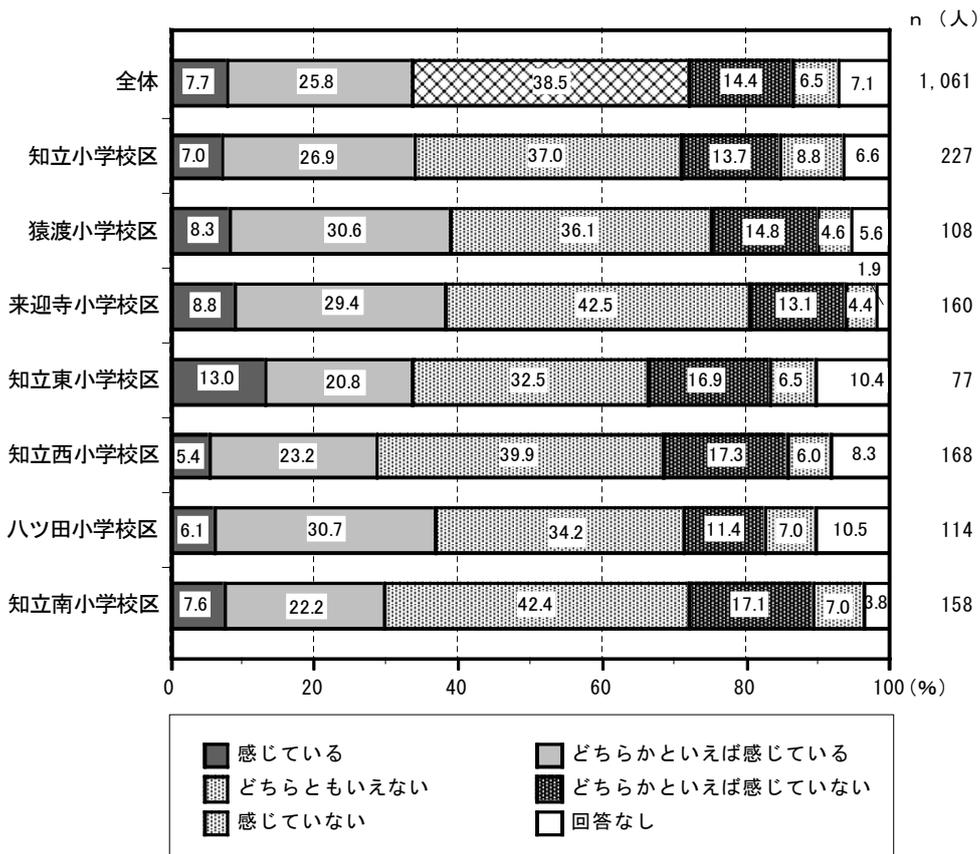
○居住小学校区別にみると、“感じている”が猿渡小学校区、来迎寺小学校区でそれぞれ、38.9%、38.2%とやや多くなっています（図表 2-3-9）。

○居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて“感じている”が多くなる傾向がみられます。50～60 年未満で 45.7%と多くなっています（図表 2-3-10）。

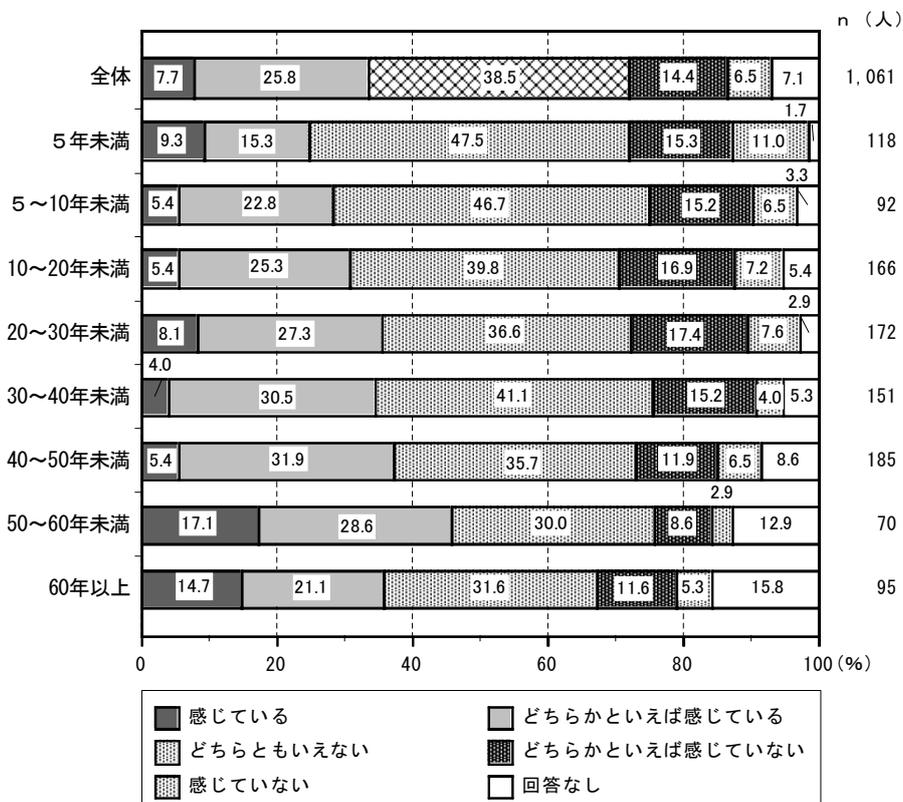
図表 2-3-8 年齢別知立市がいくつになっても安心して暮らせるまちである印象



図表 2-3-9 居住小学校区別知立市がいくつになっても安心して暮らせるまちである印象



図表 2-3-10 居住年数別知立市がいくつになっても安心して暮らせるまちである印象



(5) 活動的なにぎわいのあるまち

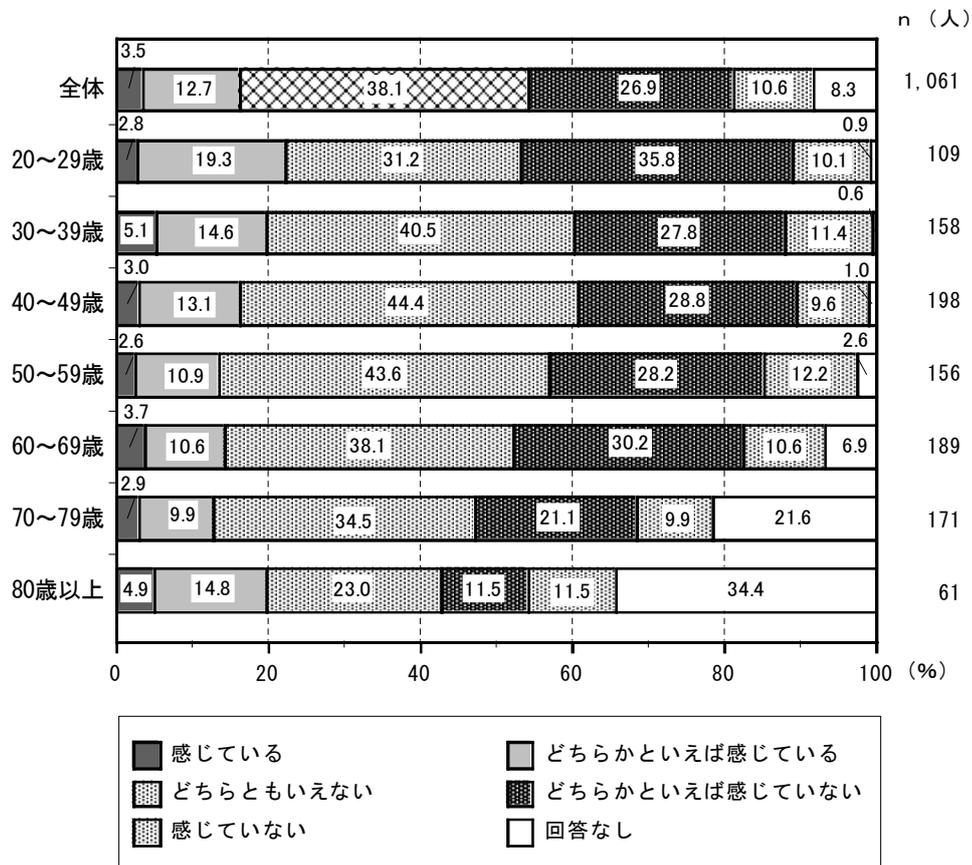
活動的なにぎわいのあるまちと感じている人は 16.2%と少ない。一方で、感じていない人は 37.5%と感じている人の2倍以上となっている。

○活動的なにぎわいのあるまちである印象について、「感じている」が 3.5%、「どちらかといえば感じている」が 12.7%で、「感じている」は 16.2%にとどまっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が 26.9%、「感じていない」が 10.6%で、「感じていない」が 37.5%を占めています。「感じている」の2倍以上となっています(図表 2-3-11)。

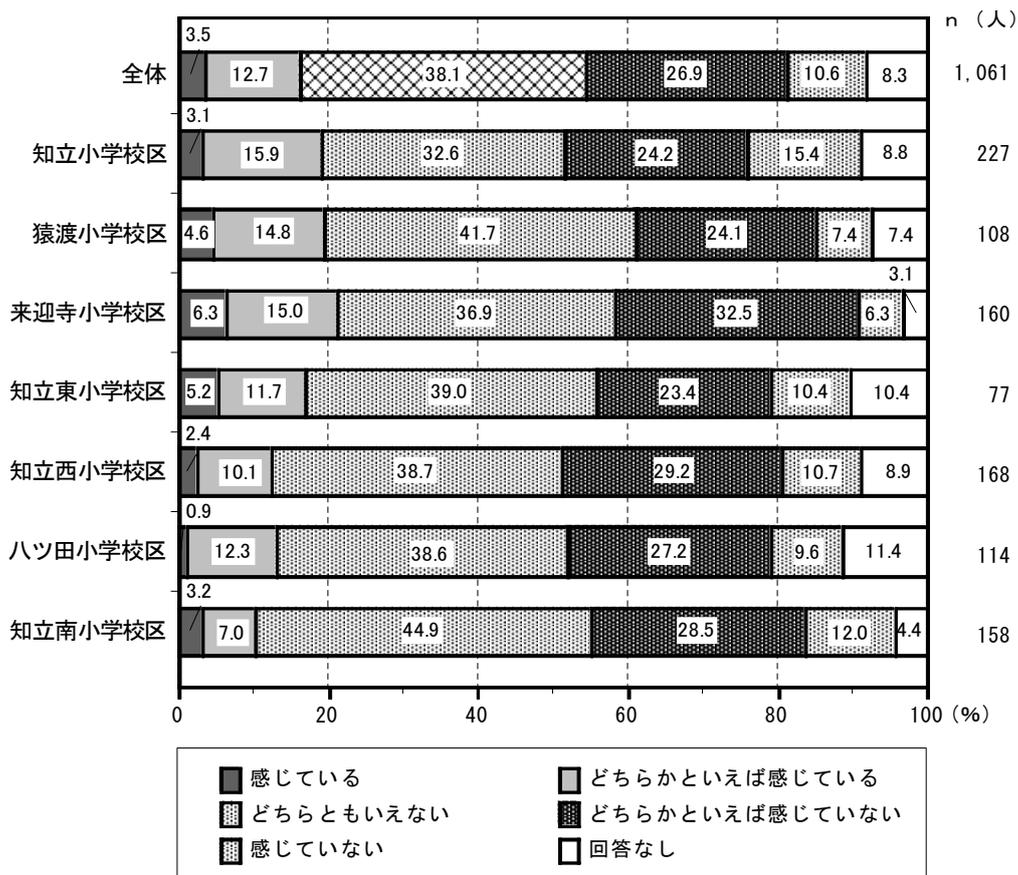
○年齢別にみると、20～29歳で、「感じている」が 22.1%とやや多くなっているものの、「感じていない」も 45.9%と多くなっています。

○居住小学校区別にみると、「感じている」が来迎寺小学校区で 21.3%とやや多くなっているものの、知立南小学校区で 10.2%と少なくなっています(図表 2-3-12)。

図表 2-3-11 年齢別知立市が活動的なにぎわいのあるまちである印象



図表 2-3-12 居住小学校区別知立市が活動的なにぎわいのあるまちである印象



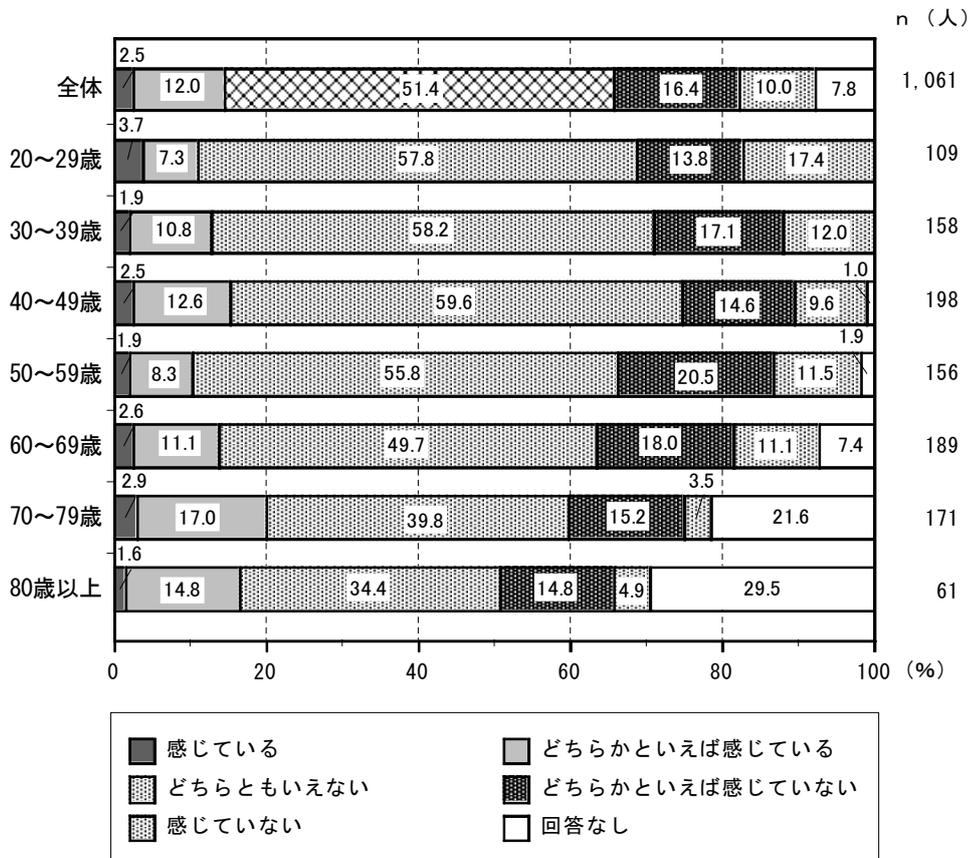
(6) 市政に市民の意見が反映されている

市政に市民の声が反映されていると感じている人は 14.5%と少ない。一方、感じていない人は 26.4%と感じている人の約2倍となっている。

○市政に市民の声が反映されている印象について、「感じている」が 2.5%、「どちらかといえば感じている」が 12.0%で、“感じている”は 14.5%にとどまっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が 16.4%、「感じていない」が 10.0%で、“感じていない”が 26.4%を占めています。“感じている”の約2倍です（図表 2-3-13）。

○年齢別にみると、“感じている”が 70～79 歳で 19.9%とやや多くなっています。また、“感じていない”は 50～59 歳で 32.0%、20～29 歳で 31.2%とやや多くなっています。

図表 2-3-13 年齢別知立市が市政に市民の意見が反映されている印象



(4) 知立市の強み・弱み

問4 知立市を他の都市と比べた時、「強み・長所」及び「弱み・短所」はどこに感じますか

○知立市の強みについては図表のとおりです。交通環境や生活環境に関するものが多くなっています。特に「交通の便が良い」や「鉄道網が充実しており、便利が良い」を強みとして挙げている人が多くなっています（図表2-4-1）。

図表2-4-1 知立市の強み

意見内容	件数	意見内容	件数
1. 交通環境について	362 件	福祉施設が充実しており、福祉に積極的に取り組んでいる	5
交通の便が良い	192	災害の心配がない	34
鉄道網が充実しており、便利が良い	97	治安が良い	14
拠点駅である知立駅がある	37	公害が無い、まちがきれい	7
広域道路や生活道路など道路網が整っており、便利である	33	行政サービスがきめ細やかである	3
コミュニティバスの便利が良い	3	生涯学習やスポーツ環境が整っている	4
2. 市の規模・立地について	76 件	4. 歴史・文化、観光資源について	68 件
市がコンパクトで移動しやすい	38	文化・伝統、歴史がある	28
大都市、大企業がある都市に隣接するなど立地がよい	25	東海道五十三次の宿場町池鯉鮒などの観光資源や名物がある	19
人口・面積など都市の規模がちょうどよく、まとまりがある	13	弘法さんや、知立祭りなどの伝統行事が続いている	21
3. 生活環境について	154 件	5. その他	29 件
静か、田舎、自然	32	地域への愛着や地域のつながり、まとまりがある	9
のどか、のんびり、穏やか	11	外国人が多く、グローバル的な町である	3
住みやすい	13	若いまちである	2
買い物、病院など、生活利便施設・住環境が整っている	11	その他	15
子育て施設や子育て支援サービスが整っている	16	合計	689 件
高齢者が元気・住みやすい	4		

○知立市の弱みについては図表のとおりです。税込・税金に関するもの、公共施設・生活利便施設に関するもの、交通の利便性や道路環境に関するものが多くなっています。特に「企業、大企業が少なく、財政が弱い」や「道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い」などを弱みとして挙げている人が多くなっています（図表 2-4-2）。

図表2-4-2 知立市の弱み

意見内容	件数	意見内容	件数
1. 駅周辺のにぎわいやまちの活気について	90 件	6. 生活環境について	71 件
駅周辺整備が進んでいない、駅周辺の魅力、にぎわいが無い	36	緑や自然が少ない	10
まちに活気がない	10	治安が悪い	18
観光資源がない、観光資源が活かされていない	21	水害が心配である	2
知名度が低い、アピールポイント、魅力に欠ける	23	ごみの収集方法が不便である、ごみ袋が高い	8
2. 税込・税金について	248 件	ごみ出しや野焼き、犬のフン、自転車マナーなど、モラル・マナーが悪い	7
企業、大企業が少なく、財政が弱い	183	上下水道整備が遅れている	17
税金が高い	59	水道代が高い	9
財政が弱く、大きなプロジェクトができなかったり、進捗が遅い	6	7. 福祉・教育環境について	44 件
3. 公共施設・生活利便施設について	138 件	保育園などが不足しているなど、子育て環境が乏しい	9
警察署や税務署、総合病院などの施設がない	52	障がい者福祉や高齢者福祉など、福祉面が弱い	15
公園、スポーツ施設が少ない。図書館は書籍が少ない	49	学力やスポーツ能力が低い	7
飲食店や商業施設、娯楽施設が少なく、不便である	37	外国人が多く、治安やコミュニケーションが不安である	13
4. 市域や人口について	31 件	8. 行政や議会について	28 件
市が狭い	25	行政力が弱い、行政サービスが行きわたっていない	16
人口が少なくなっている。人口密度が高い	6	市役所職員に元気がない、対応が悪い	7
5. 交通の利便性や道路環境について	128 件	議員が多い	5
道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い	74	9. その他	39 件
交通が不便である	24	昔の村社会が続いている	5
渋滞が多い	14	その他	34
バスが不便である	8	合計	817 件
踏切が多い	8		

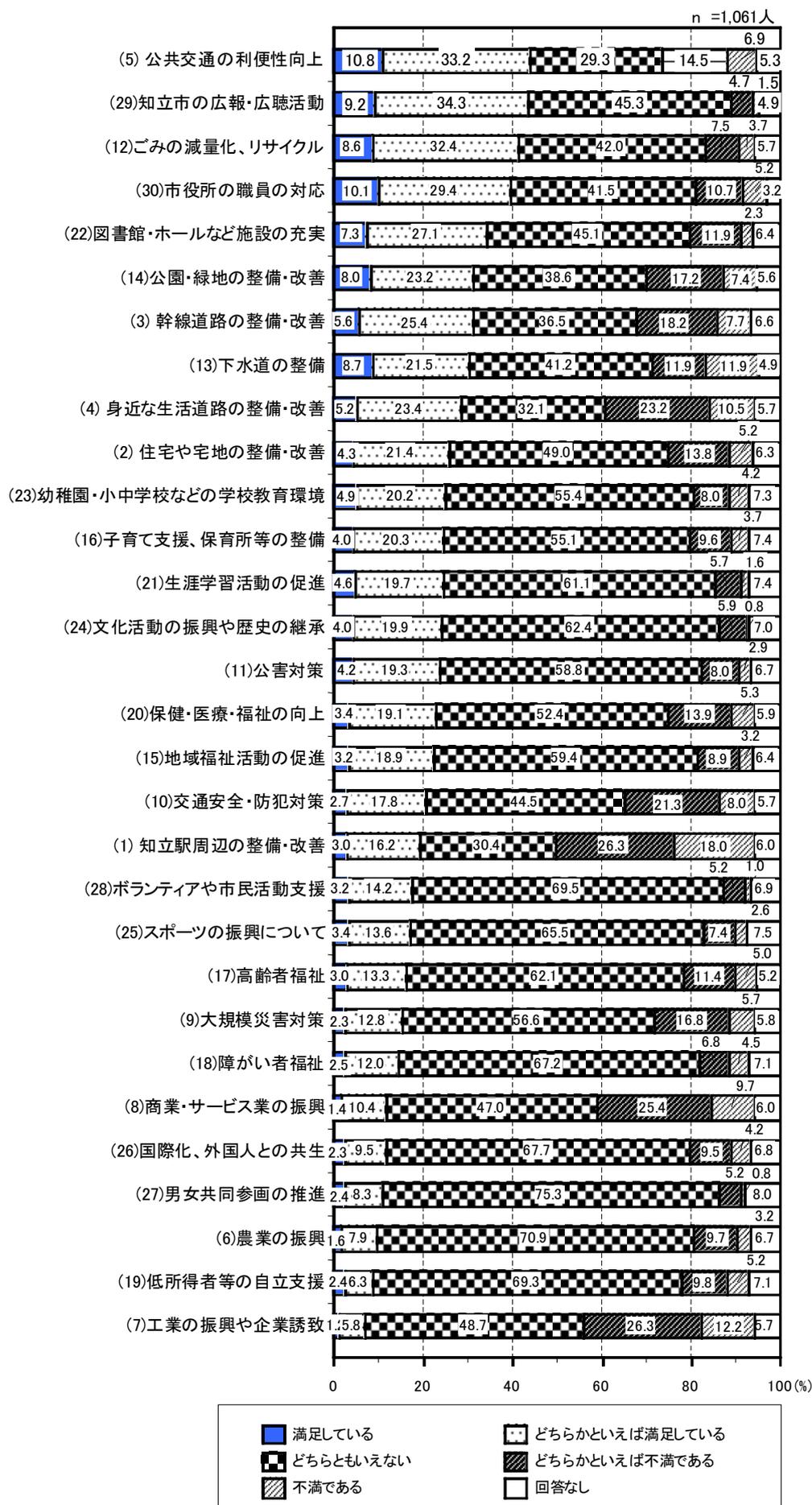
3. 知立市の取組みに対する満足度・重要度

(1) 知立市の取組みに対する満足度

問5 あなたは、知立市の取組みについて、現在「満足」していますか

- 知立市の取組みに対する満足度について、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた割合は、『公共交通の利便性向上』が 44.0%と最も多く、次いで『知立市の広報・広聴活動』が 43.5%、『ごみの減量化、リサイクル』が 41.0%、『市役所の職員の対応』が 39.5%、『図書館・ホール等施設の充実』が 34.4%と続いています（図表 3-1-1）。
- 一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた割合は、『知立駅周辺の整備・改善』が 44.3%と最も多く、次いで『工業の振興や企業誘致』が 38.5%、『商業・サービス業の振興』が 35.1%、『身近な生活道路の整備・改善』が 33.7%と続いています。

図表3-1-1 知立市の取組みに対する満足度

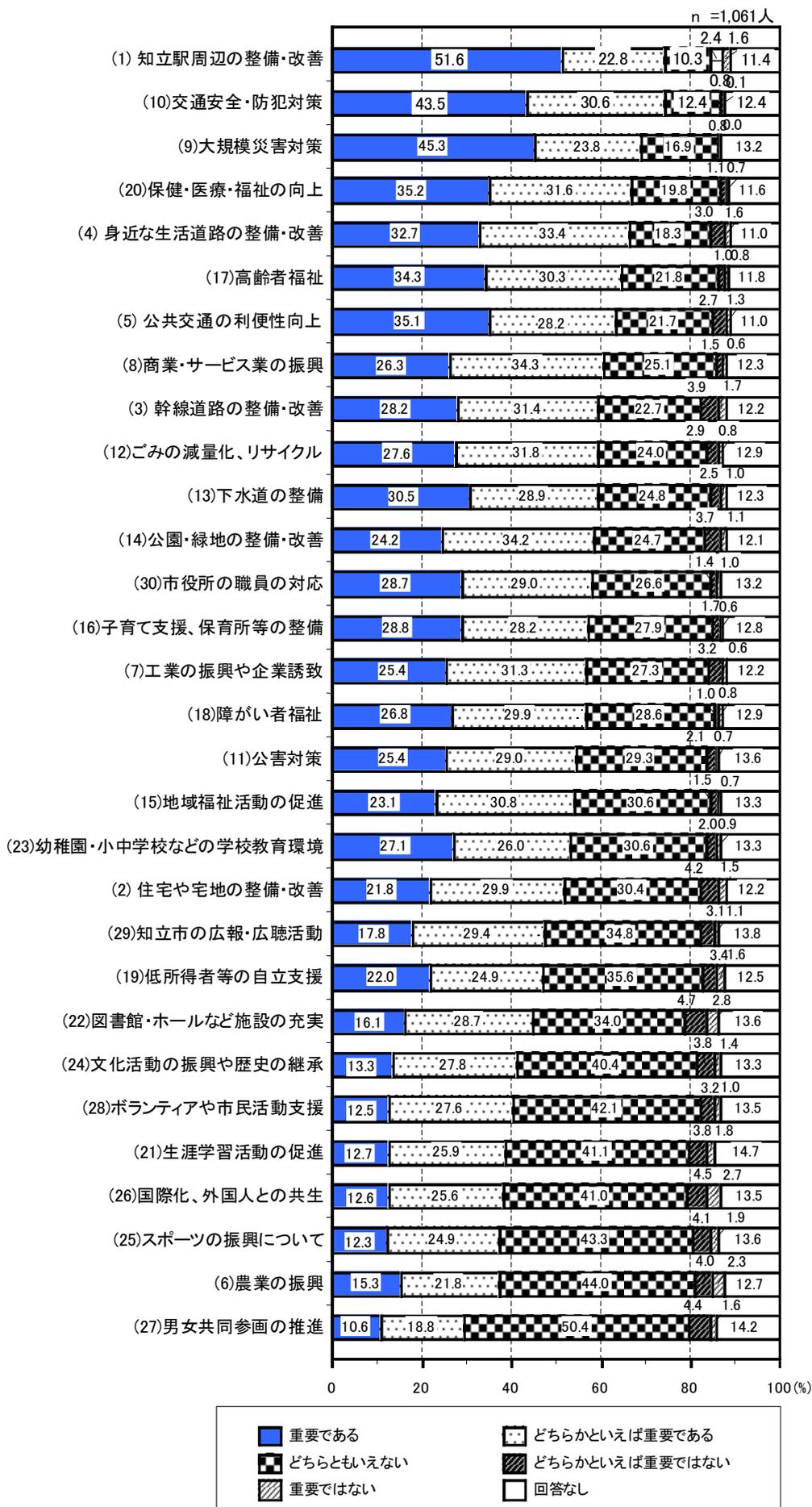


(2) 知立市の取組みに対する重要度

問5 あなたは、知立市の取組みについて、現在「重要」だと思いますか

- 知立市の取組みに対する重要度について、「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた割合は、『知立駅周辺の整備・改善』が74.4%と最も多く、次いで『交通安全・防犯対策』が74.1%、『大規模災害対策』が69.1%、『保険・医療・福祉の向上』が66.8%、『身近な生活道路の整備・改善』が66.1%と続いています（図表3-2-1）。
- また、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた割合は、『図書館・ホールなど施設の充実』が7.5%と最も多く、次いで『国際化、外国人との共生』が7.2%、『農業の振興』が6.3%、『スポーツの振興について』と『男女共同参画の推進』が6.0%と続いています。

図表3-2-1 知立市の取組みに対する重要度

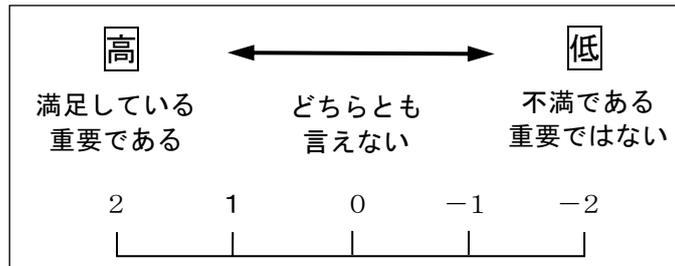


(3) 評点の計算の仕方

ここでは満足度と重要度の相関関係から、施策の今後の方向性を検討する基礎資料とします。

満足度、重要度とも図表 3-3 のとおり 5 段階で評価し、施策ごとに平均値を出しています。この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行いました。

図表3-3 満足度・満足度の数値



満足度の平均得点

= {「満足している」の回答者数×(+2点) + 「どちらかといえば満足している」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「どちらかといえば不満である」の回答者数×(-1点) + 「不満である」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

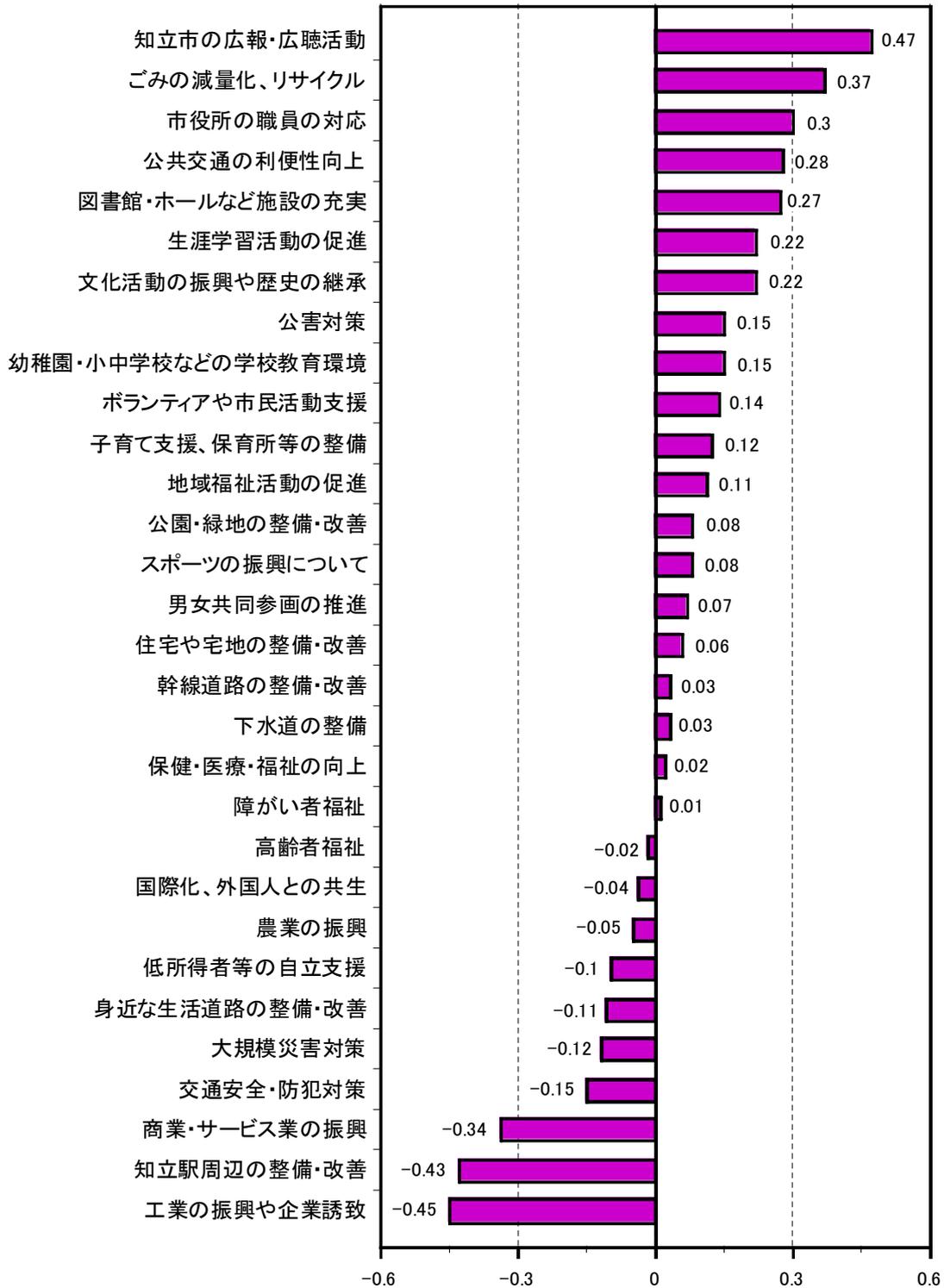
重要度の平均得点

= {「重要である」の回答者数×(+2点) + 「どちらかといえば重要である」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「どちらかといえば重要ではない」の回答者数×(-1点) + 「重要ではない」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

(4) 満足度と重要度の評点

○満足度の評点の平均値は 0.05 で、各施策の満足度の評点は図表の通りです。

図表3-4-1 満足度の評点



○重要度の評点の平均値は 0.85 で、各施策の重要度の評点は図表の通りです。

図表3-4-2 重要度の評点



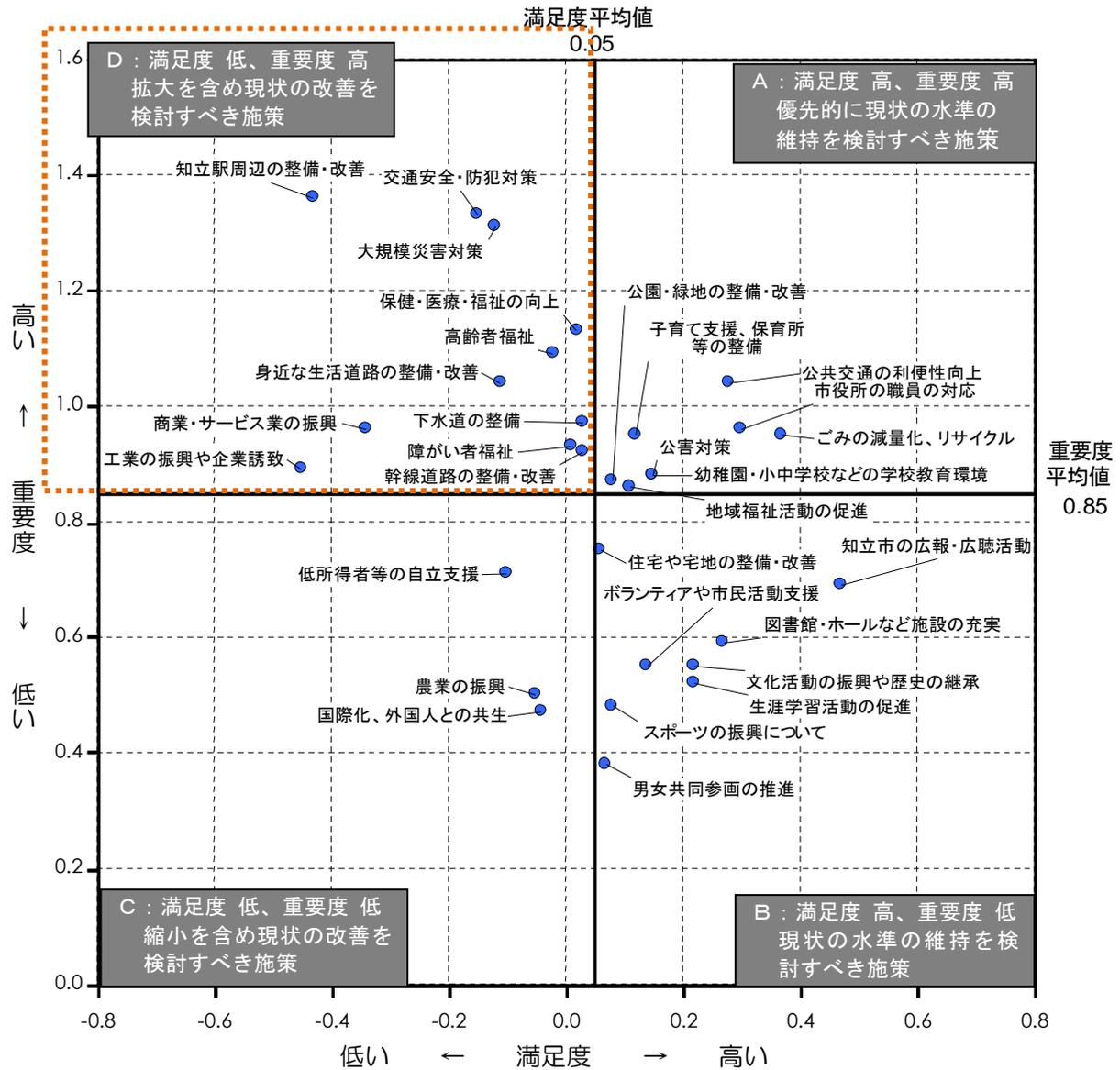
(5) 満足度と重要度の関係

図表 3-5-1 は、重要度を縦軸、満足度を横軸とし、各施策の相関関係を表した図です。

縦横の平均線（縦：重要度平均値 0.85、横：満足度平均 0.05）で区切ることによって4つの領域に分けることができます。

各施策の満足度と重要度の相関関係は図表の通りです。

図表3-5-1 知立市の取組みに対する重要度・満足度



4. 知立市民の生活の様子

(1) 災害時の避難路・避難場所の認知度

問6 あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか

災害時の避難路・避難場所の認知度は約7割。

20～39歳の若い人や80歳以上の人、知立市での居住年数が5年未満の人の認知度が低くなっている。

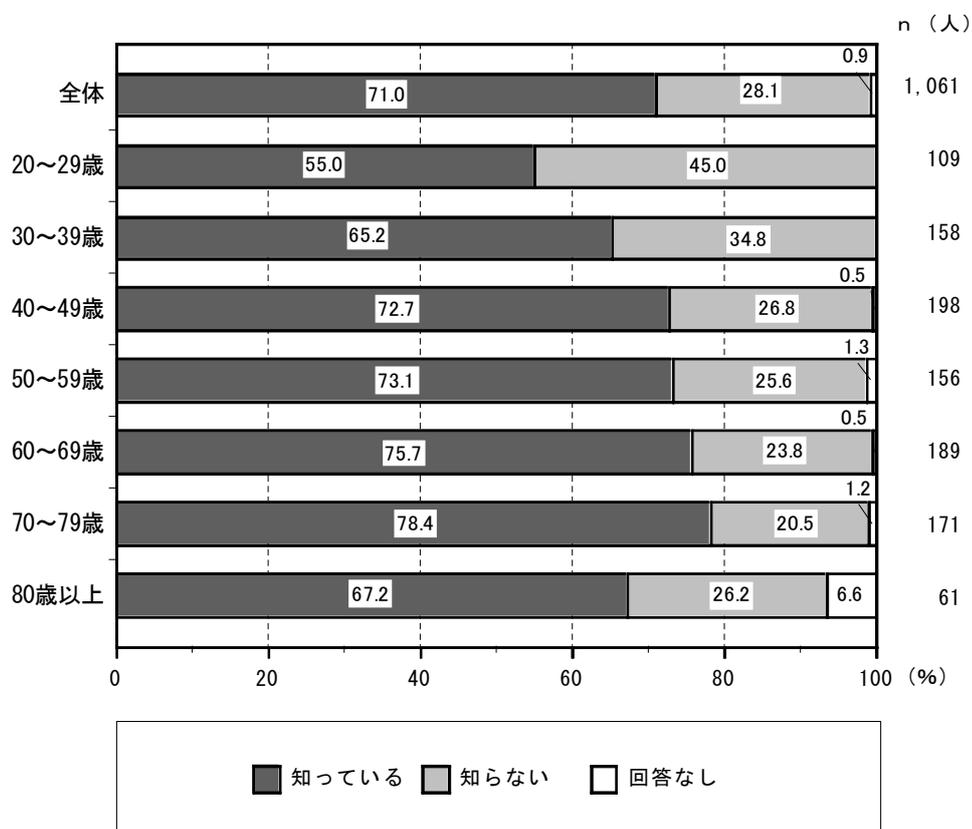
○災害時の避難路・避難場所について、「知っている」は71.0%、「知らない」は28.1%となっています（図表4-1-1）。

○年齢別にみると、20～39歳の若い世代、80歳以上で認知度が低くなっています。「知っている」は80歳以上で67.2%、30～39歳で65.2%となっており、特に20～29歳で55.0%と最も少なくなっています。一方、40～79歳では7割を超えており、特に70～79歳では78.4%と最も多くなっています。

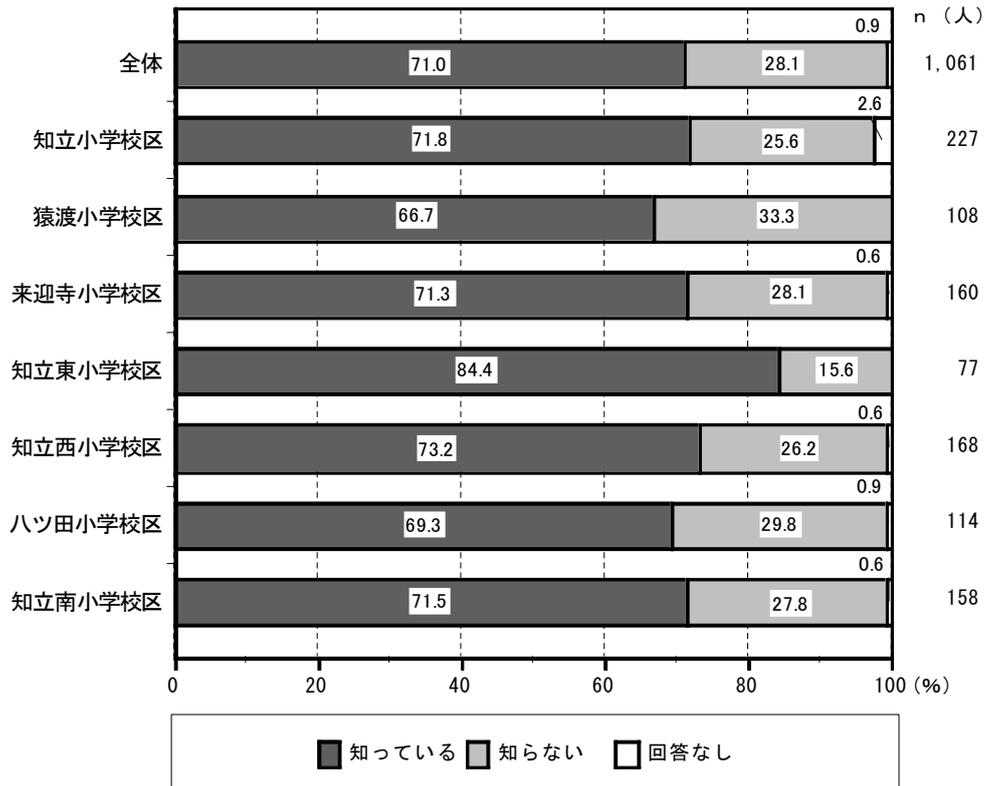
○居住小学校区別にみると、「知っている」は多くの小学校区で7割前後となっていますが、猿渡小学校区では66.7%とやや少なくなっています。一方、知立東小学校区で84.4%と飛びぬけて多くなっています（図表4-1-2）。

○居住年数別にみると、知立市に5年以上居住している人は「知っている」が65～80%となっていますが、5年未満の人は「知っている」が38.1%と極めて少なくなっています（図表4-1-3）。

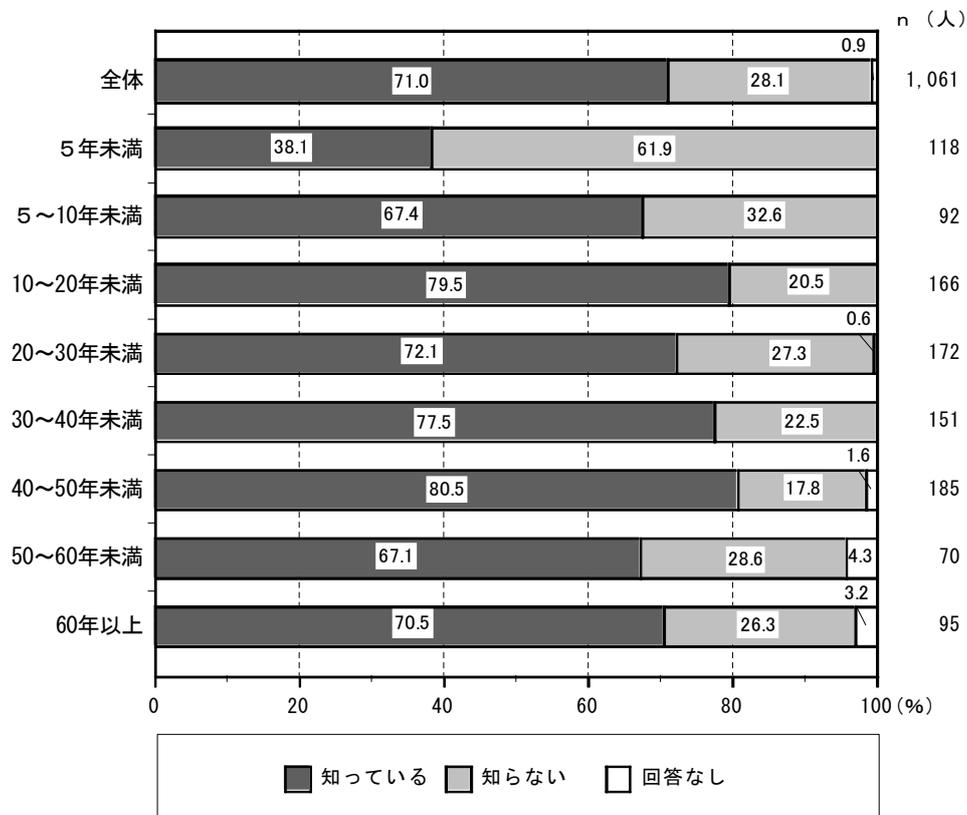
図表 4-1-1 年齢別災害時の避難路・避難場所の認知度



図表 4-1-2 居住小学校区別災害時の避難路・避難場所の認知度



図表 4-1-3 居住年数別災害時の避難路・避難場所の認知度



(2) 市内の交通安全環境に関する満足度

問7 あなたは、市内の信号の設置や交差点の改善など、交通事故からの安全確保について満足していますか

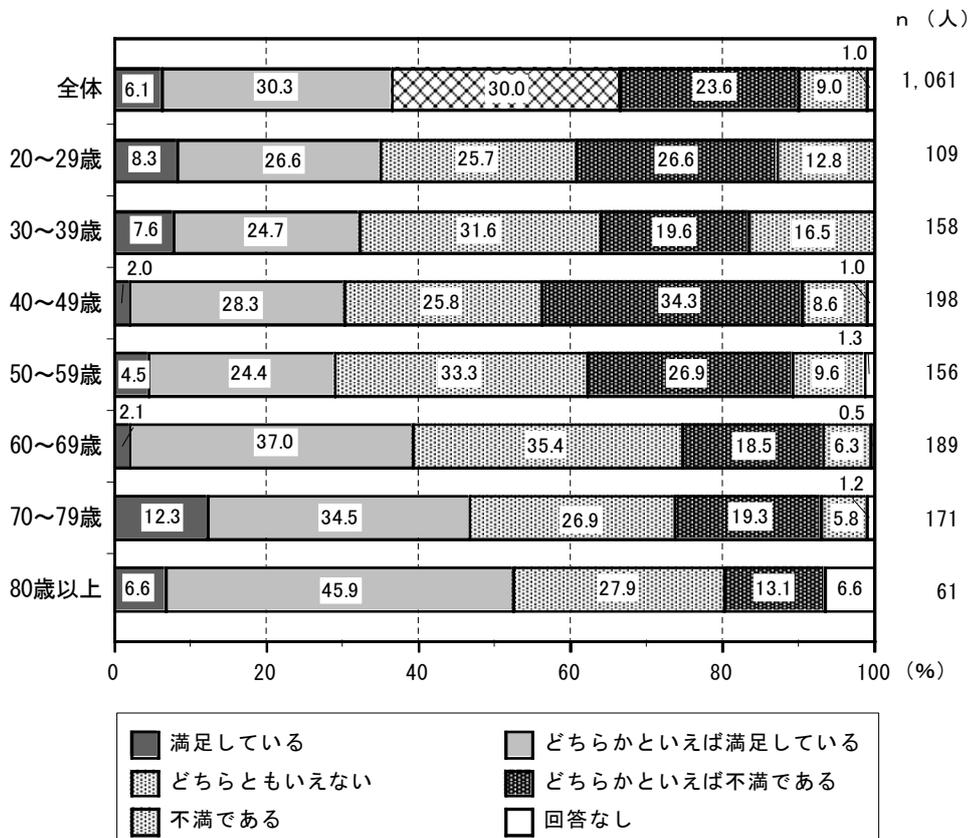
市内の交通安全環境に関して満足している人は36.4%。特に、若い人の満足度が低くなっている。

○市内の交通安全環境に関する満足度は、「満足している」が6.1%、「どちらかといえば満足している」が30.3%、あわせて“満足している”が36.4%となっており、高いとは言えない状況です。また、「満足していない」が9.0%、「どちらかといえば満足していない」が23.6%、あわせて“満足していない”が32.6%となっており、満足している人と満足していない人が同程度の割合となっています（図表4-2-1）。

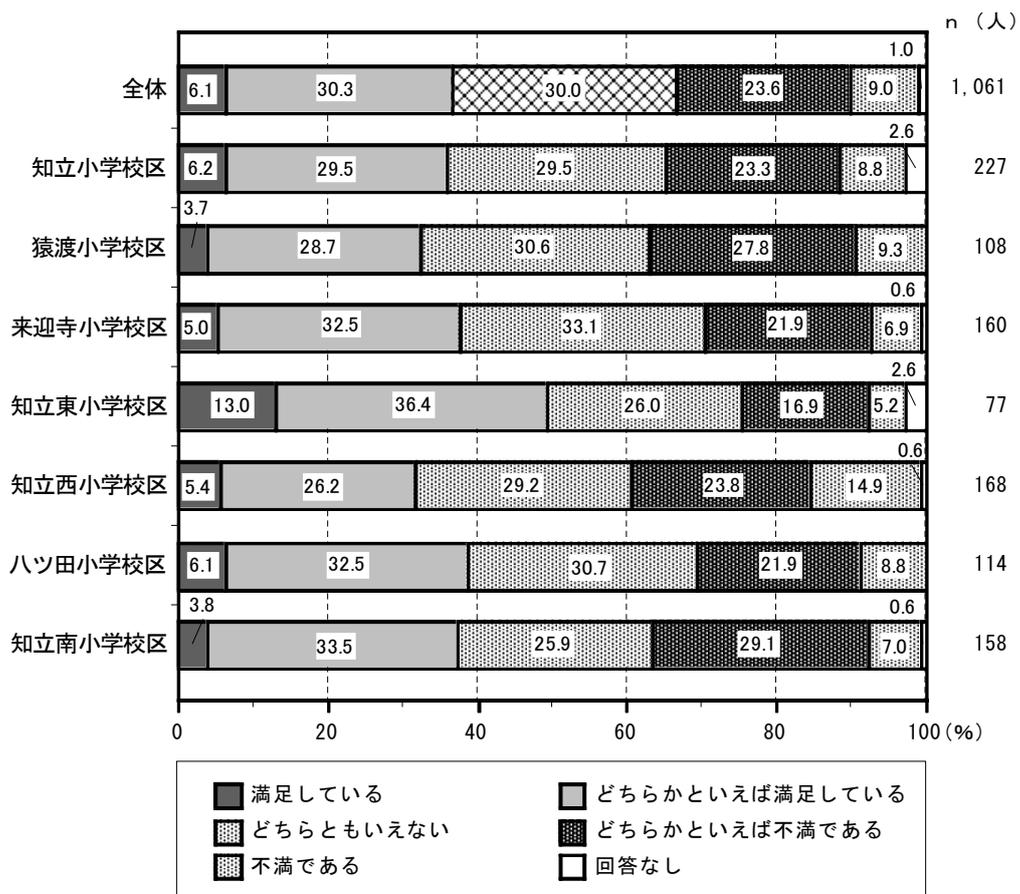
○年齢別にみると、満足度は20～59歳において低く、70歳以上で高くなっています。特に、40～49歳で“満足している”が30.3%であるのに対して“満足していない”が42.9%と12.6ポイント高く、50～59歳で“満足している”が28.9%に対して“満足していない”が36.5%と7.6ポイント高くなっています。一方、“満足している”は70～79歳で46.8%、80歳以上で52.5%と高くなっています。

○居住小学校区別にみると、“満足している”が知立東小学校区で49.4%と最も多くなっています。一方、知立西小学校区では“満足している”が31.6%と少なく、“満足していない”が38.7%と多くなっています（図表4-2-2）。

図表4-2-1 年齢別市内の交通安全環境に関する満足度



図表 4-2-2 居住小学校区別市内の交通安全環境に関する満足度



(3) 環境に配慮した生活の状況

問8 あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしてい
ますか

環境に配慮した生活をしている人は75.0%。

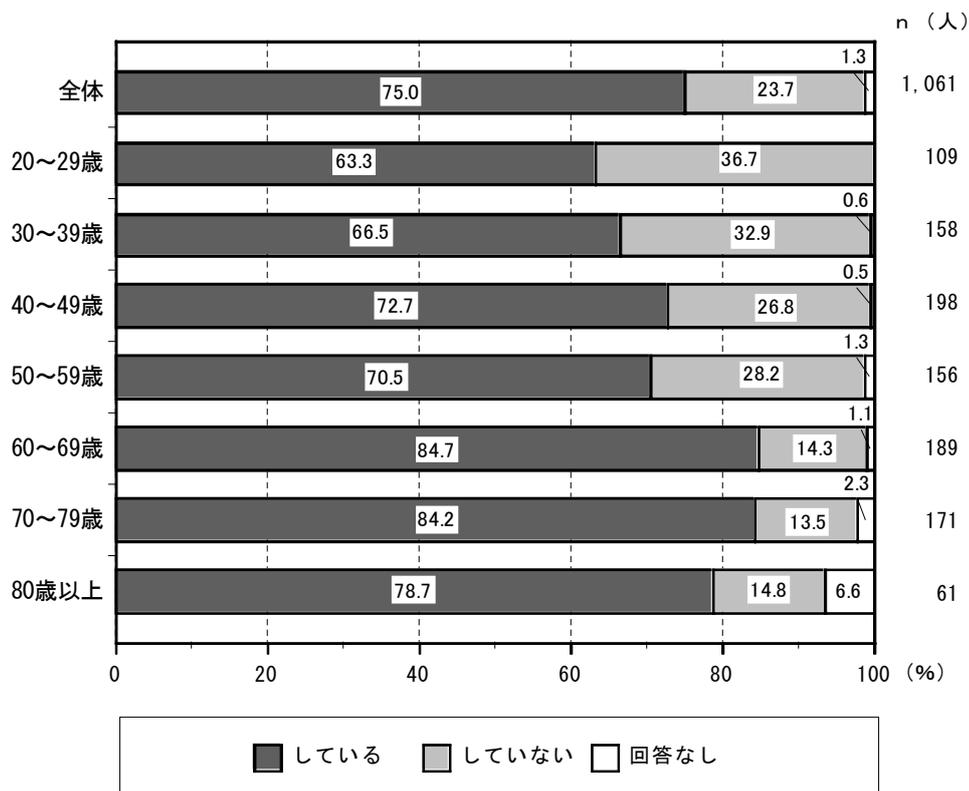
60・70歳代で約85%と多く、40・50歳代で70%前後、20・30歳代で65%前後と、若い人よりも年齢の高い人の方が環境に配慮した生活をしているようである。

○環境に配慮した生活について、75.0%の人が「している」と回答しています（図表4-3-1）。

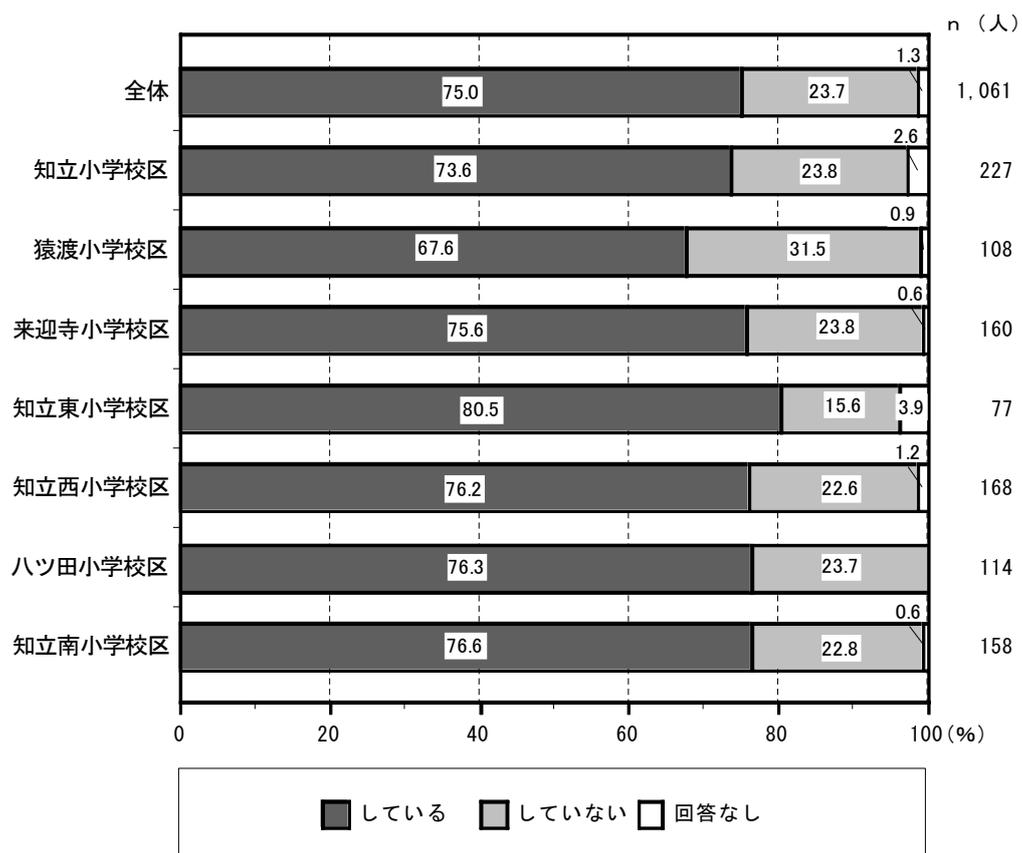
○年齢別にみると、「している」は、60～69歳で84.7%と最も多く、次いで70～79歳で84.2%となっています。一方、20～29歳で63.3%と最も少なく、30～39歳も66.5%と少なくなっています。

○居住小学校区別にみると、「している」は知立東小学校区で80.5%と最も多く、猿渡小学校区で67.6%と最も少なくなっています（図表4-3-2）。

図表 4-3-1 年齢別環境に配慮した生活の状況



図表 4-3-2 居住小学校区別環境に配慮した生活の状況



(4) 日頃の生涯学習活動の状況

問9 あなたは、日頃、生涯学習活動（外国語、歴史などを学ぶ取組み）をしていますか

日頃、生涯学習活動をしている人は16.6%にとどまっている。

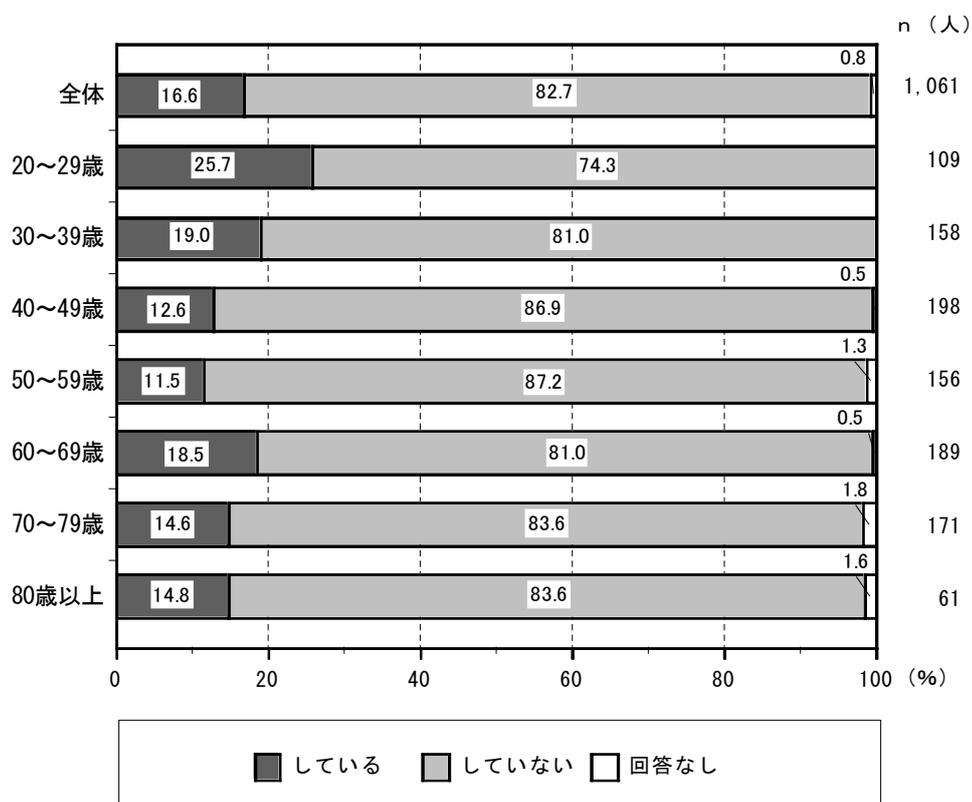
20歳代は25.7%とやや多くなっているが、40・50歳代は12.6%、11.5%と少ない状況である。

○日頃の生涯学習活動の状況について、「している」と回答した人は16.6%にとどまっており、82.7%の人は「していない」状況です（図表4-4-1）。

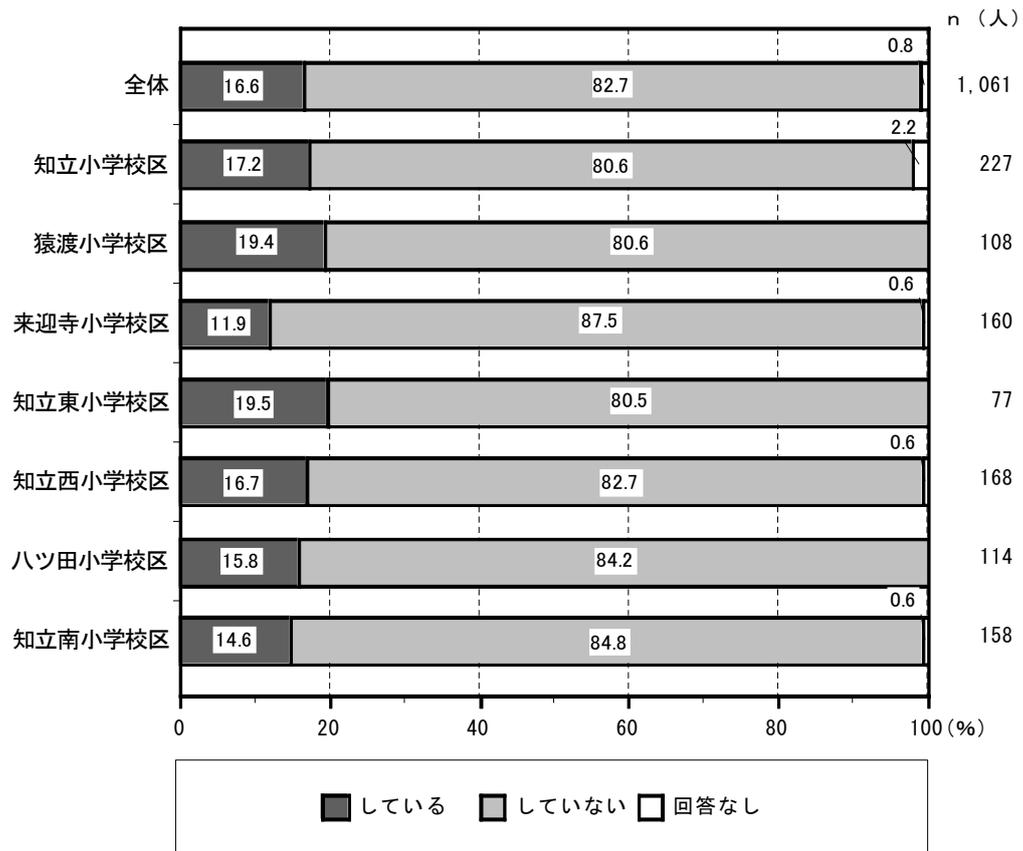
○年齢別にみると、「している」は20～29歳で25.7%と最も多くなっています。一方で、40～49歳、50～59歳ではそれぞれ、12.6%、11.5%と少なくなっています。

○居住小学校区別にみると、「している」は来迎寺小学校区では11.9%とやや少なくなっています（図表4-4-2）。

図表 4-4-1 年齢別日頃の生涯学習活動の状況



図表 4-4-2 居住小学校区別日頃の生涯学習活動の状況



(5) 日頃の芸術・文化活動への参加状況

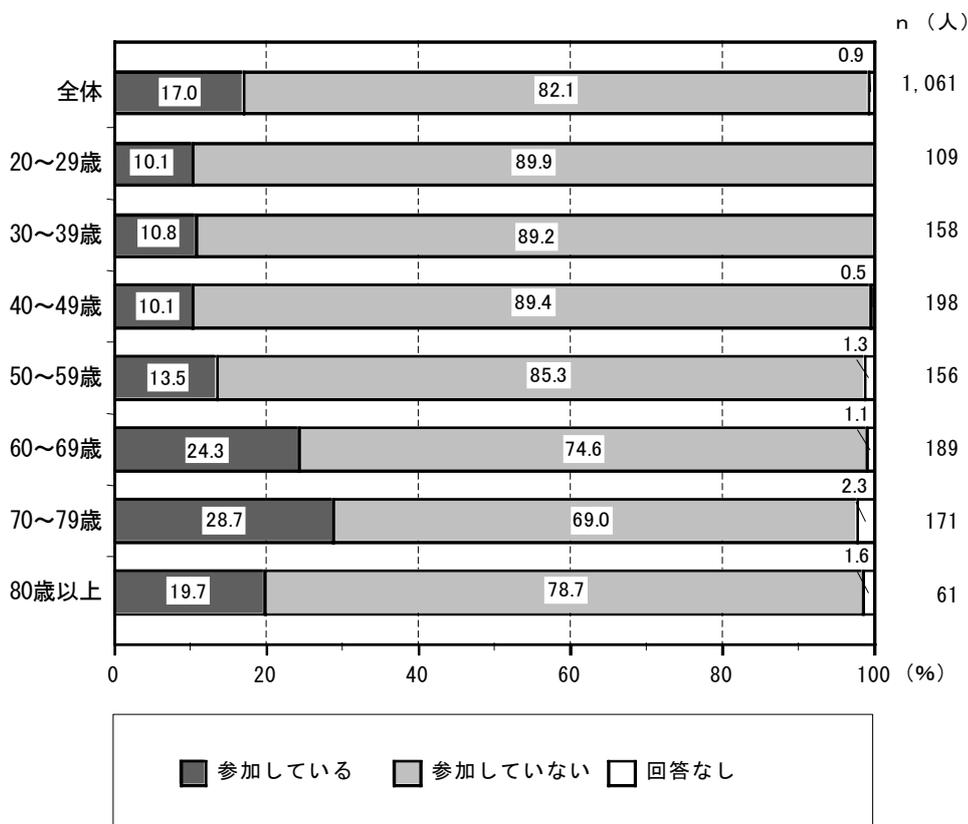
問10 あなたは、日頃、芸術・文化活動に参加していますか

日頃、芸術・文化活動に参加している人は17.0%にとどまっている。60・70歳代では約25%となっているものの、若い人で参加している人は少ない。

○日頃の芸術・文化活動について、「参加している」と回答した人は17.0%にとどまっています(図表4-5-1)。

○年齢別にみると、20～50歳代の参加状況は1割前後と少ない状況ですが、60～69歳、70～79歳はそれぞれ、24.3%、28.7%と多くなっています。

図表 4-5-1 年齢別日頃の芸術・文化活動への参加状況



(6) 人権教育・啓発活動への参加状況

問11 あなたは、地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加していますか

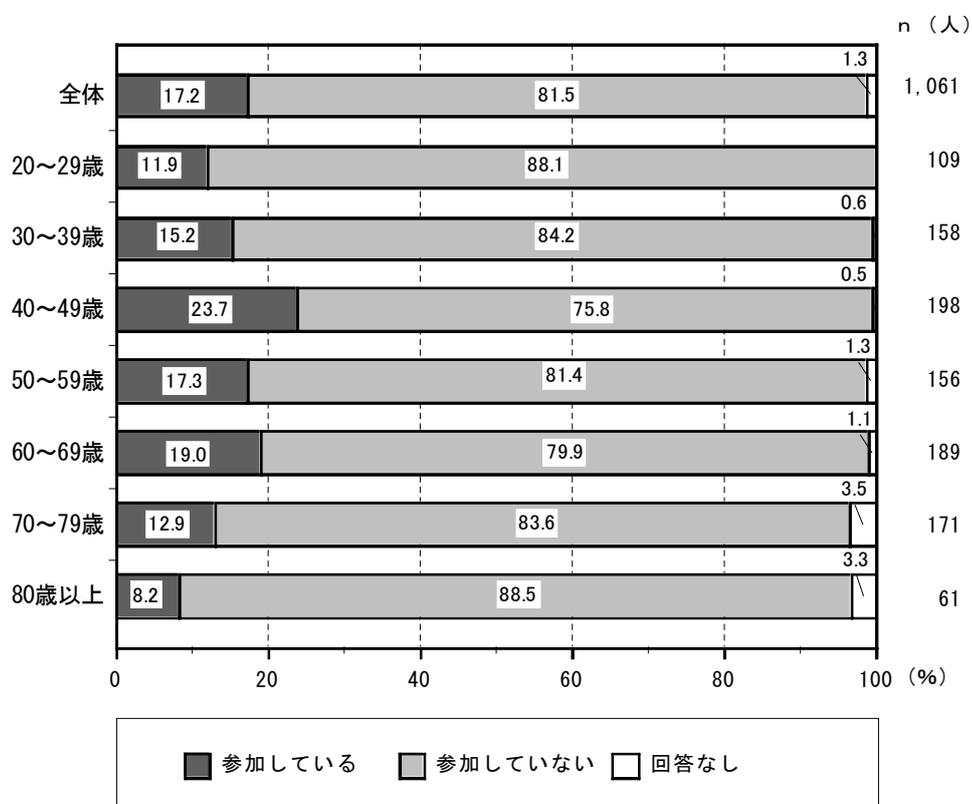
人権教育・啓発活動に参加している人は17.2%。40歳代や知立東小学校区で約23%とやや多くなっている。

○人権教育・啓発活動について、「参加している」は17.2%となっています（図表4-6-1）。

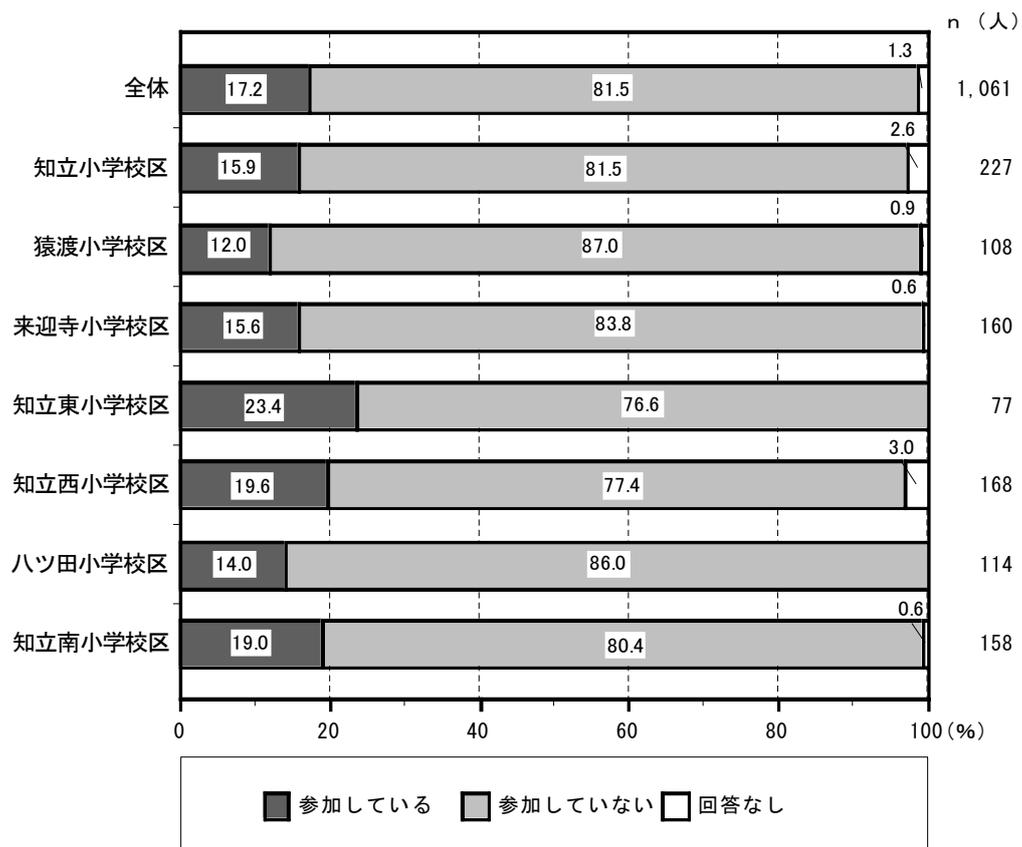
○年齢別にみると、「参加している」は40～49歳で23.7%とやや多くなっていますが、80歳以上、20～29歳、70～79歳ではそれぞれ、8.2%、11.9%、12.9%と少なくなっています。

○居住小学校区別にみると、「参加している」は知立東小学校区において23.4%とやや多くなっています。一方、猿渡小学校区では12.0%とやや少なくなっています（図表4-6-2）。

図表 4-6-1 年齢別人権教育・啓発活動への参加状況



図表 4-6-2 居住小学校区別人権教育・啓発活動への参加状況



(7) この1年間の人権侵害された経験の有無

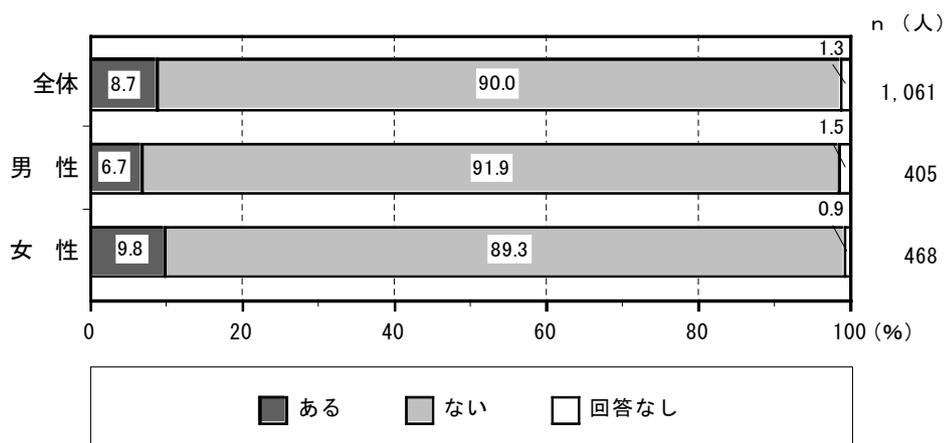
問12 あなたは、この1年間、差別やいじめなど、人権を侵害されたと感じたことがありますか

この1年間で人権侵害された経験が「ある」は8.7%。

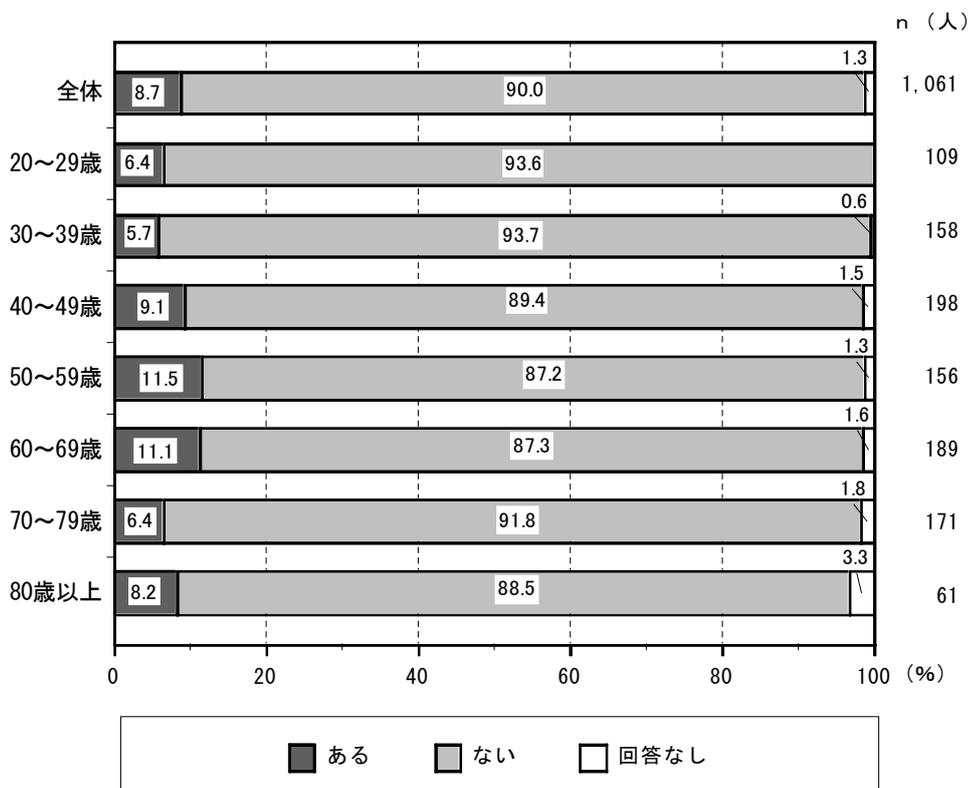
○この1年間の人権侵害された経験について「ある」が8.7%となっています(図表4-7-1)。

○性別、年齢別、居住小学校区別にみると、大きな違いは見られません。

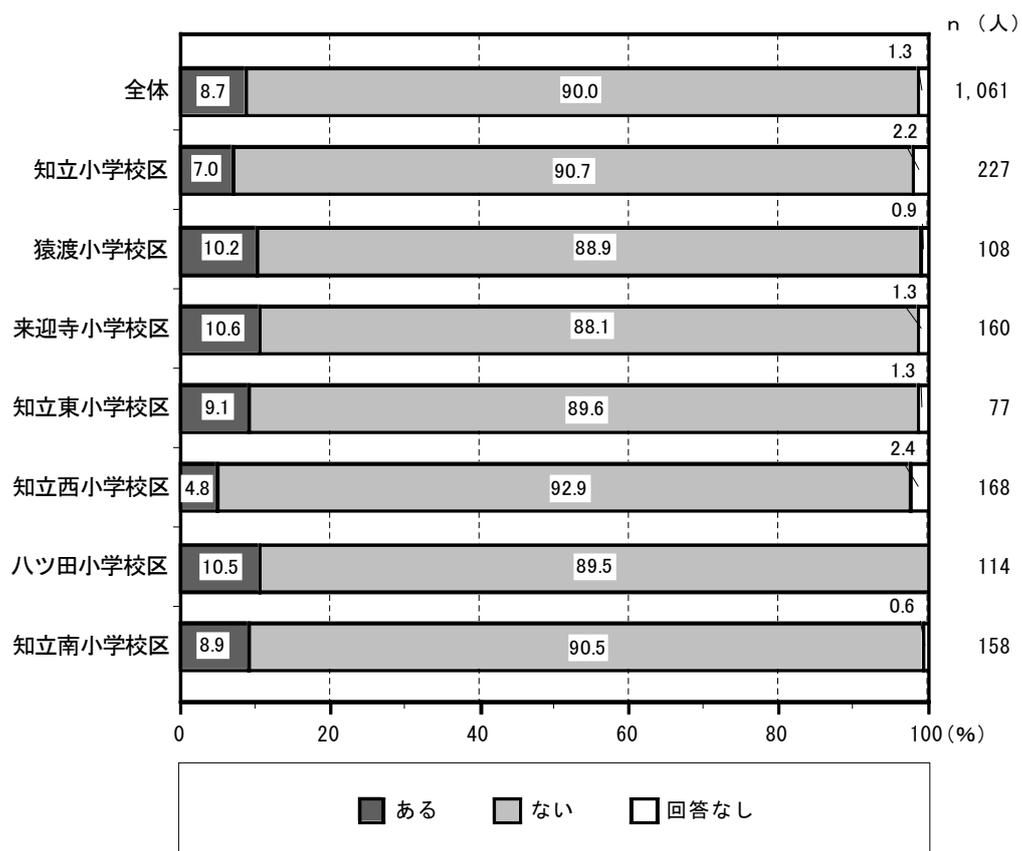
図表 4-7-1 性別この1年間の人権侵害された経験の有無



図表 4-7-2 年齢別この1年間の人権侵害された経験の有無



図表 4-7-3 居住小学校区別この1年間の人権侵害された経験の有無



(8) 地域のコミュニティ活動への参加状況

問13 あなたは、日頃、地域のコミュニティ活動（自治会の活動など）に参加していますか

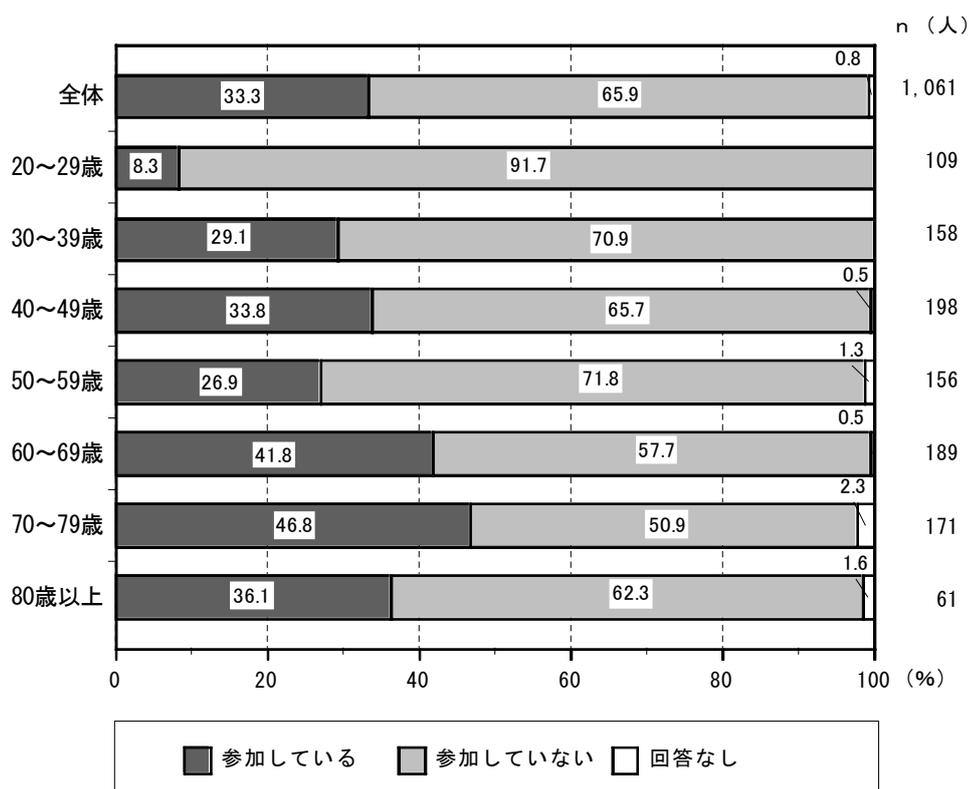
地域のコミュニティ活動に参加している人は 33.3%。20 歳代で参加している人は少なく、60・70 歳代で参加している人が多い。また、居住小学校区別にみると、来迎寺小学校で参加している人が多く、知立東小学校区、八ツ田小学校区で少なくなっている。

○地域のコミュニティ活動への参加状況について、「参加している」は 33.3%となっています（図表 4-8-1）。

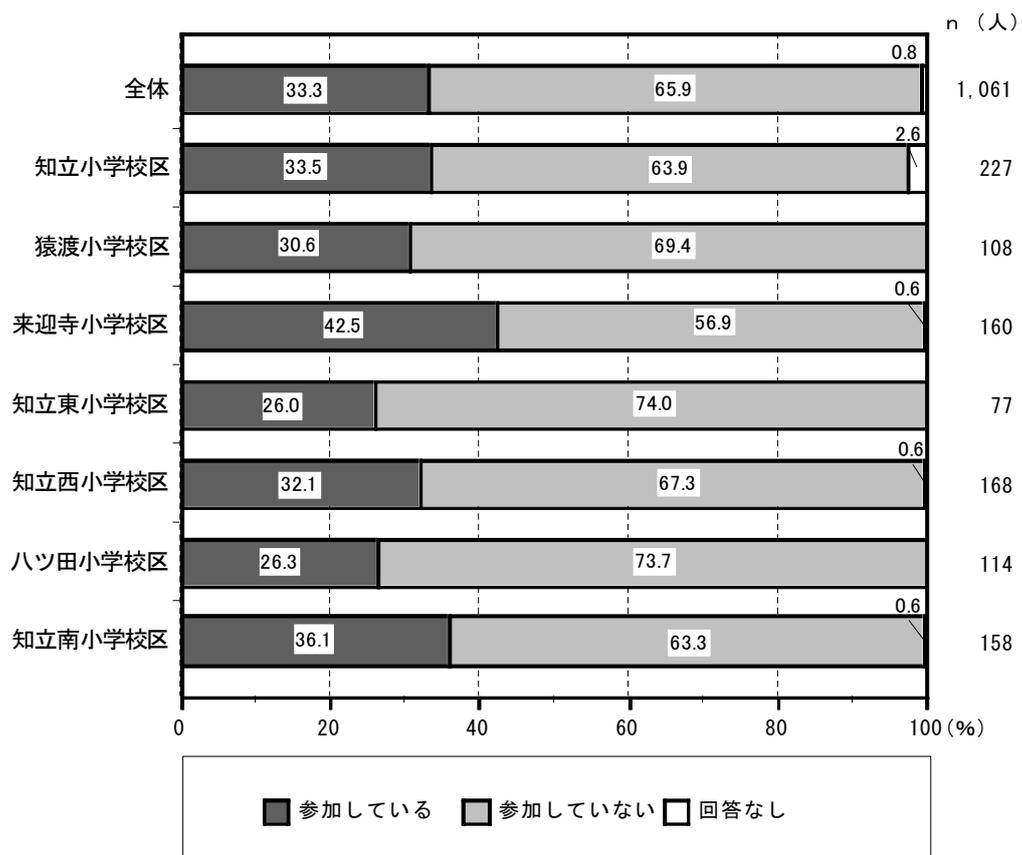
○年齢別にみると、「参加している」は 20～29 歳で 8.3%と極めて少なくなっています。また、60～69 歳、70～79 歳はそれぞれ、41.8%、46.8%と多くなっています。

○居住小学校区別にみると、「参加している」は来迎寺小学校区で 42.5%と最も多くなっています。一方で、知立東小学校区、八ツ田小学校区ではそれぞれ、26.0%、26.3%と少なくなっています（図表 4-8-2）。

図表 4-8-1 年齢別地域のコミュニティ活動への参加状況



図表 4-8-2 居住小学校区別「日頃、地域のコミュニティ活動に参加している」



(9) 市民サービスの向上に対する市役所の努力の評価

問14 あなたは、市役所が市民サービスの向上に努力していると思いますか

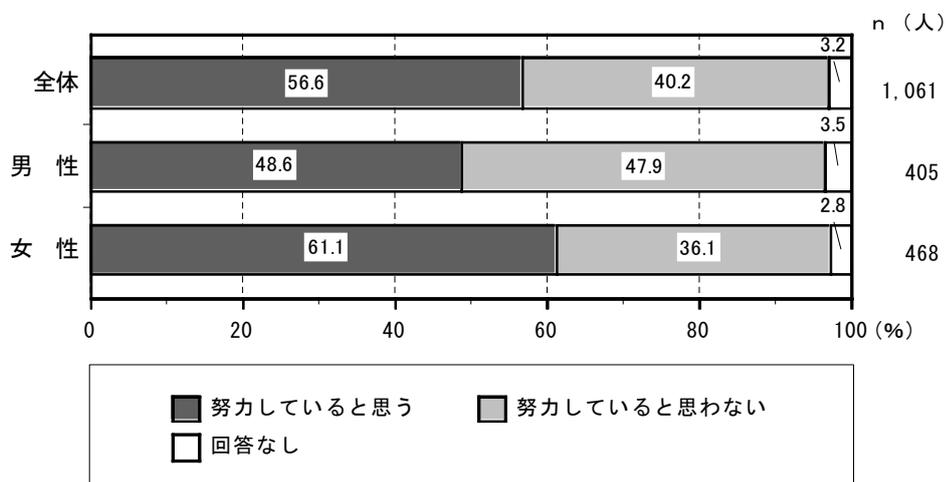
市民サービスの向上に対して、市役所が努力していると思っている人は56.6%。女性や70歳以上の方が「努力していると思う」と評価している。

○市民サービスの向上に対する市役所の努力について、「努力していると思う」は56.6%となっています(図表4-9-1)。

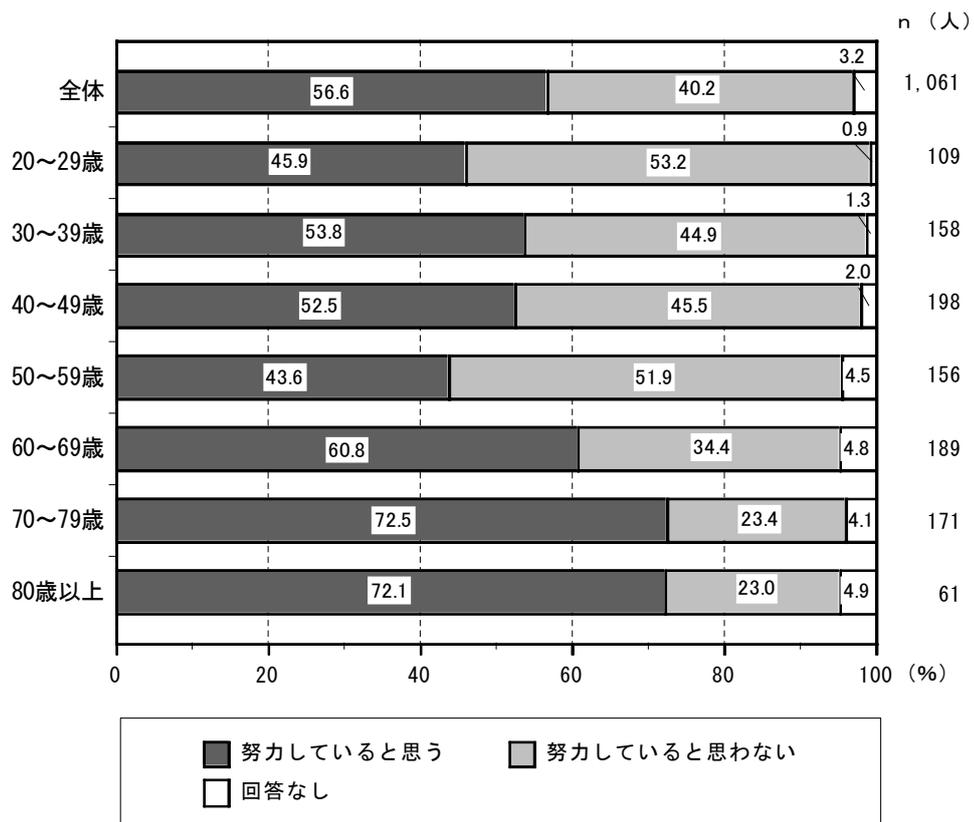
○性別にみると、「努力していると思う」は男性で48.6%、女性で61.1%と、女性の方が評価しています。

○年齢別にみると、「努力していると思う」は60歳以上で多くなっており、特に70~79歳で72.5%、80歳以上で72.1%と多くなっています。一方で、20~29歳では45.9%、50~59歳では43.6%と少なくなっています(図表4-9-2)。

図表4-9-1 性別市民サービスの向上に対する市役所の努力の評価



図表 4-9-2 年齢別市民サービスの向上に対する市役所の努力の評価



5. 協働のまちづくり

(1) 協働のまちづくりへの参画の意向

問15 あなたは市民・市議会・市（行政）による「協働のまちづくり」に関わりたいと思いますか

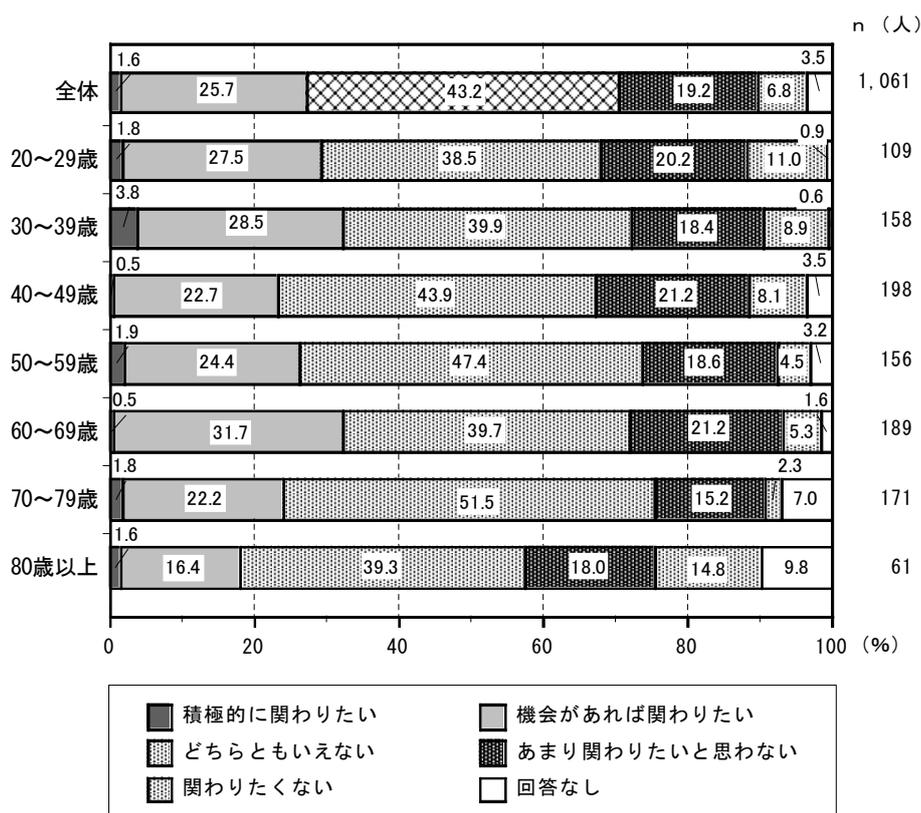
協働のまちづくりに「積極的に関わりたい」と思っている人は1.6%、「機会があれば関わりたい」人をあわせて27.3%が関わりたいと考えている。

○協働のまちづくりへの参画の意向は、「積極的に関わりたい」が1.6%、「機会があれば関わりたい」が25.7%で、あわせて27.3%の人が“関わりたい”と考えています（図表5-1-1）。

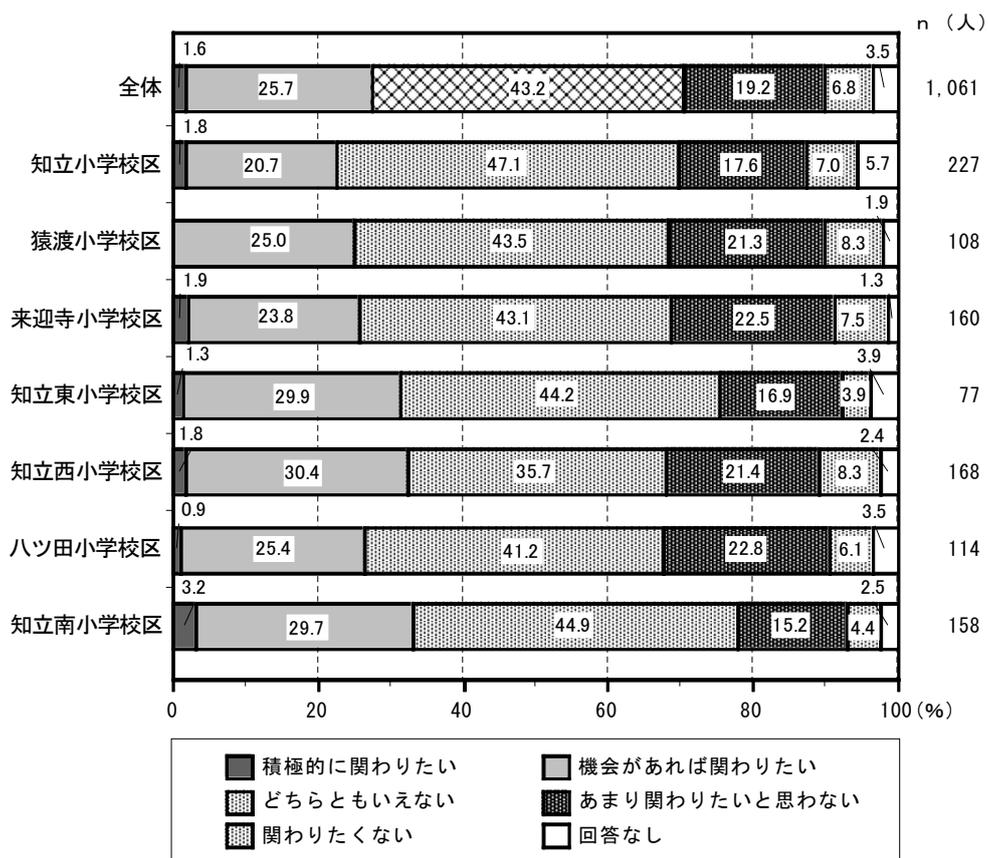
○年齢別にみると、“関わりたい”は30～39歳と60～69歳でそれぞれ、32.3%、32.2%と多くなっています。一方、40～49歳と70～79歳では23.2%、24.0%と少なくなっています。

○居住小学校区別にみると、“関わりたい”は知立南小学校区で32.9%と最も多く、次いで知立西小学校区で32.2%、知立東小学校区で31.2%となっています（図表5-1-2）。

図表 5-1-1 年齢別協働のまちづくりへの参画の意向



図表 5-1-2 居住小学校区別協働のまちづくりへの参画の意向



(2) 参画したい協働のまちづくりの分野

問 15-1 「協働のまちづくり」に関わる場合どのような分野で関わりたいと思いますか

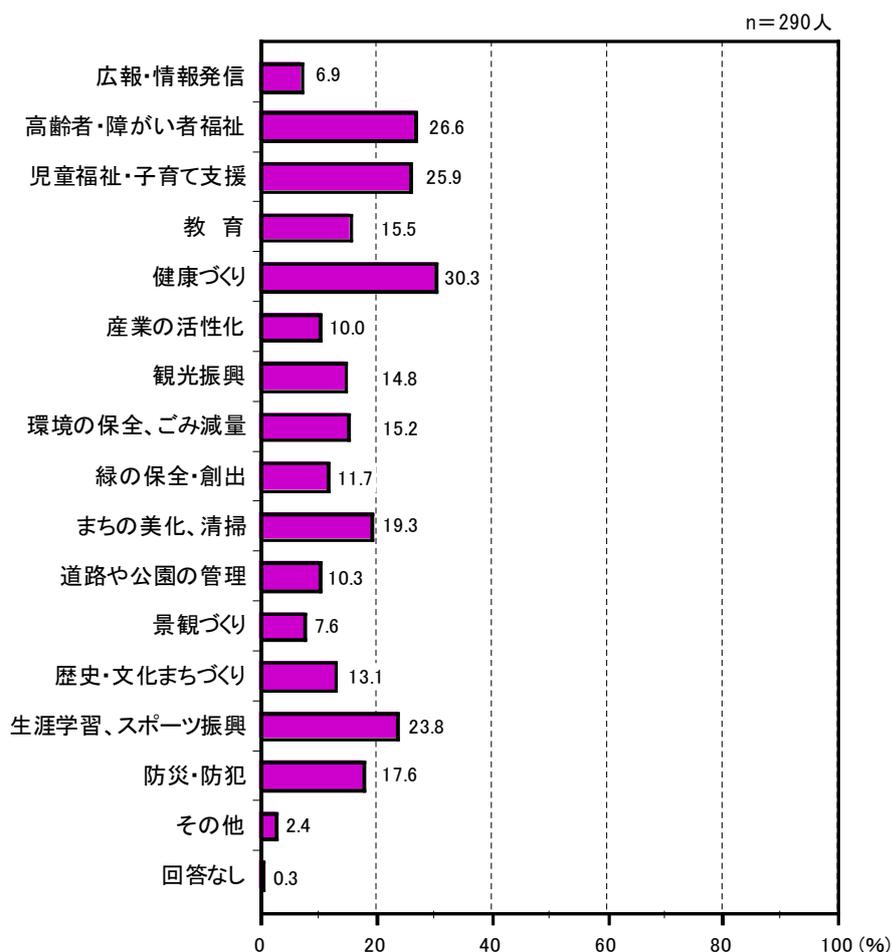
協働のまちづくりに関わる場合の分野について、「健康づくり」、「高齢者・障がい者福祉」、「児童福祉・子育て支援」などの福祉関係が多い。

若い人は「児童福祉・子育て支援」を、年齢の高い人は「健康づくり」、「高齢者・障がい者福祉」に関わりたいと考えている。40・50歳代では「生涯学習、スポーツ振興」が多い。

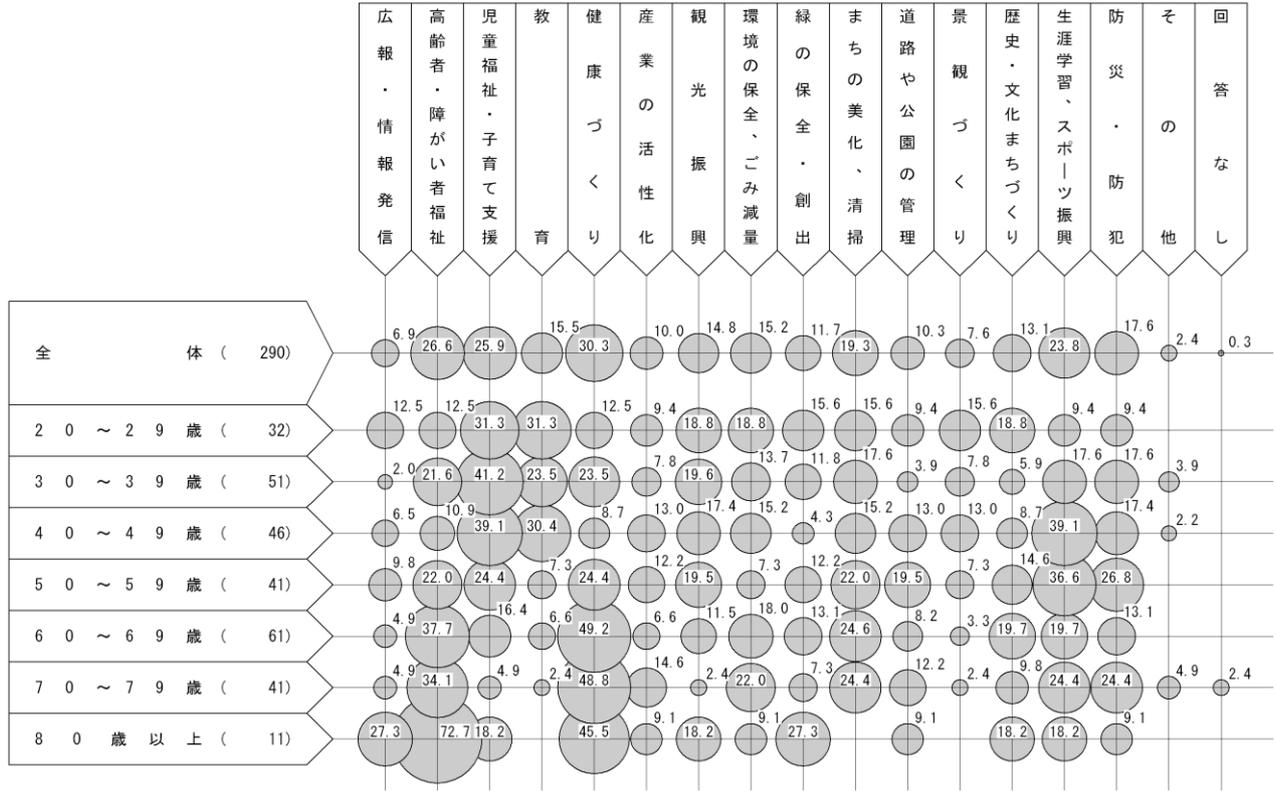
○協働のまちづくりに関わる場合の分野について、「健康づくり」が30.3%と最も多く、次いで「高齢者・障がい者福祉」が26.6%、「児童福祉・子育て支援」が25.9%、「生涯学習、スポーツ振興」が23.8%と続いています（図表 5-2-1）。

○年齢別にみると、49歳以下では「児童福祉・子育て支援」や「教育」が多く、40・50歳代では「生涯学習・スポーツ振興」、60歳以上では「健康づくり」、「高齢者・障がい者福祉」が多い傾向がみられます（図表 5-2-2）。

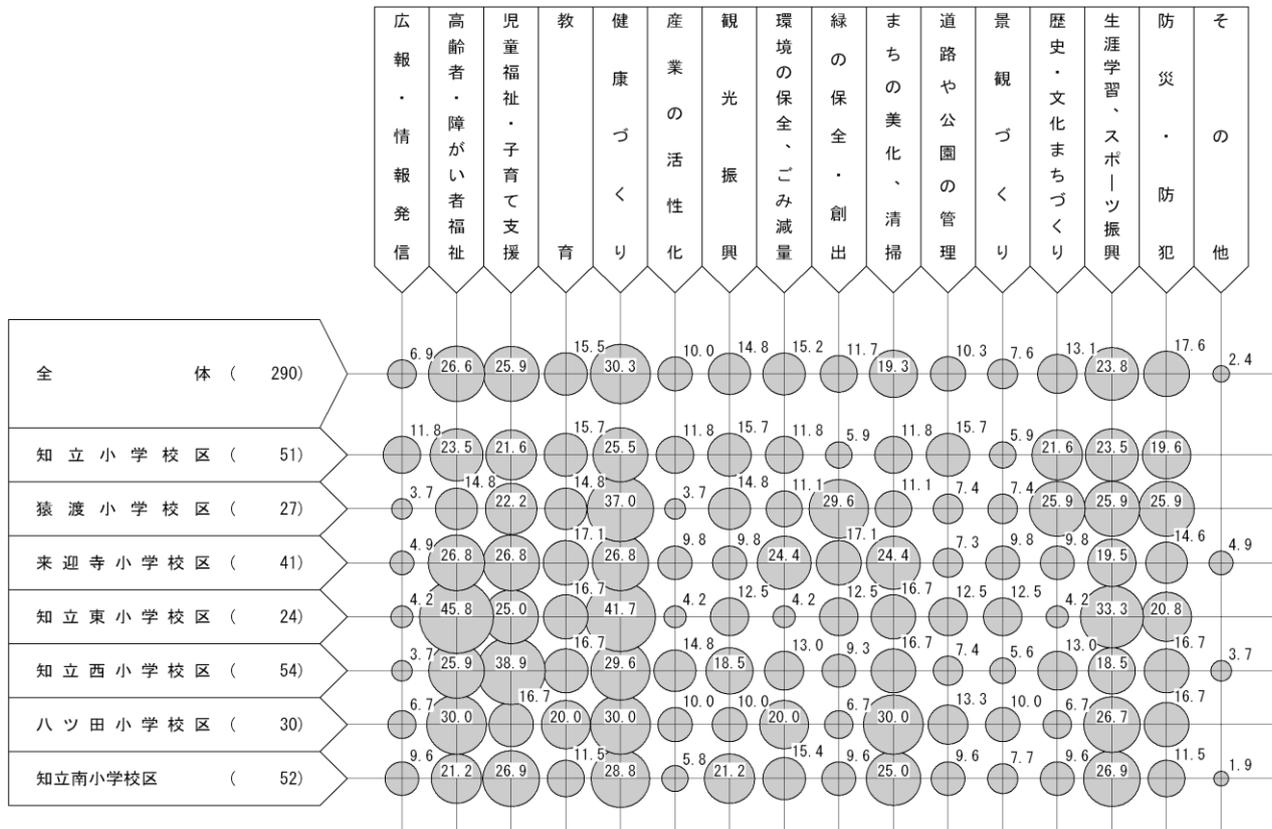
図表 5-2-1 参画したい協働のまちづくりの分野



図表 5-2-2 年齢別参画したい協働のまちづくりの分野



図表 5-2-3 居住小学校区別参画したい協働のまちづくりの分野



(3) 協働のまちづくりに参画したくない理由

問 15-2 「協働のまちづくり」に関わりたくないと思う理由は何ですか

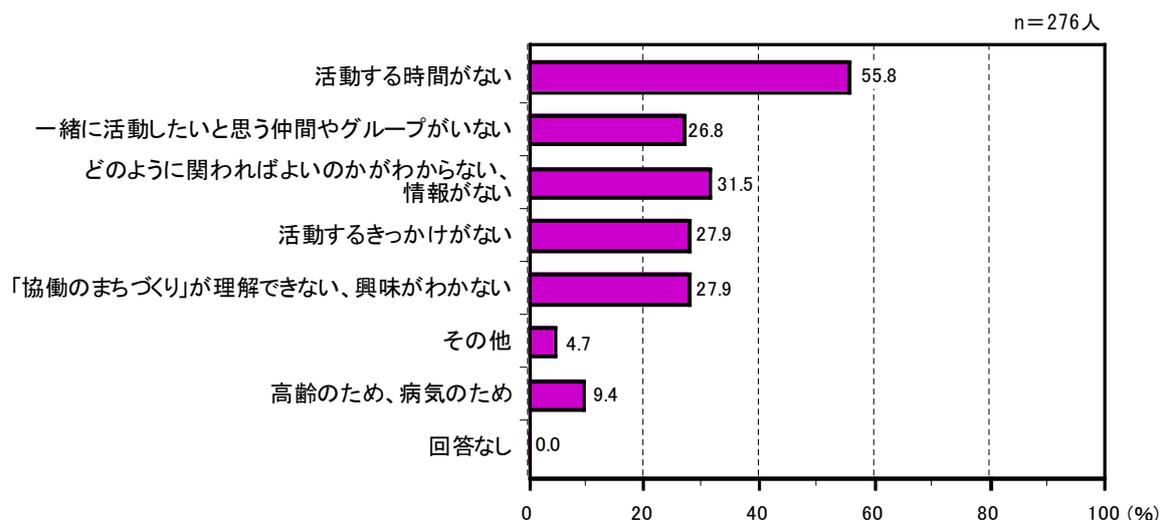
協働のまちづくりに参画したくない理由は、「活動する時間がない」が 55.8%と多く、特に男性や若い人に多くなっている。

○協働のまちづくりに参画したくない理由は、「活動する時間がない」が 55.8%と最も多く、次いで「どのように関わればよいのかがわからない、情報がない」が 31.5%、「活動するきっかけがない」と「『協働のまちづくり』が理解できない、興味がわからない」が 27.9%、「一緒に活動したいと思う仲間やグループがない」が 26.8%となっています（図表 5-3-1）。

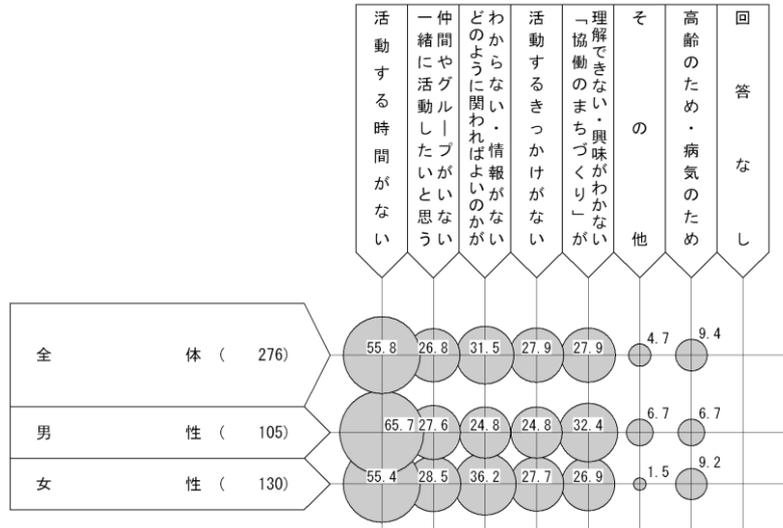
○性別にみると、男性は「活動する時間がない」が 65.7%と多く、次いで「『協働のまちづくり』が理解できない・興味がわからない」が 32.4%となっています。一方、女性は同じく「活動する時間がない」が 55.4%と最も多いものの、次いで「どのように関わればよいのかがわからない・情報がない」が 36.2%となっています（図表 5-3-2）。

○年齢別にみると、若い人ほど「活動する時間がない」が多い傾向がみられます（図表 5-3-3）。

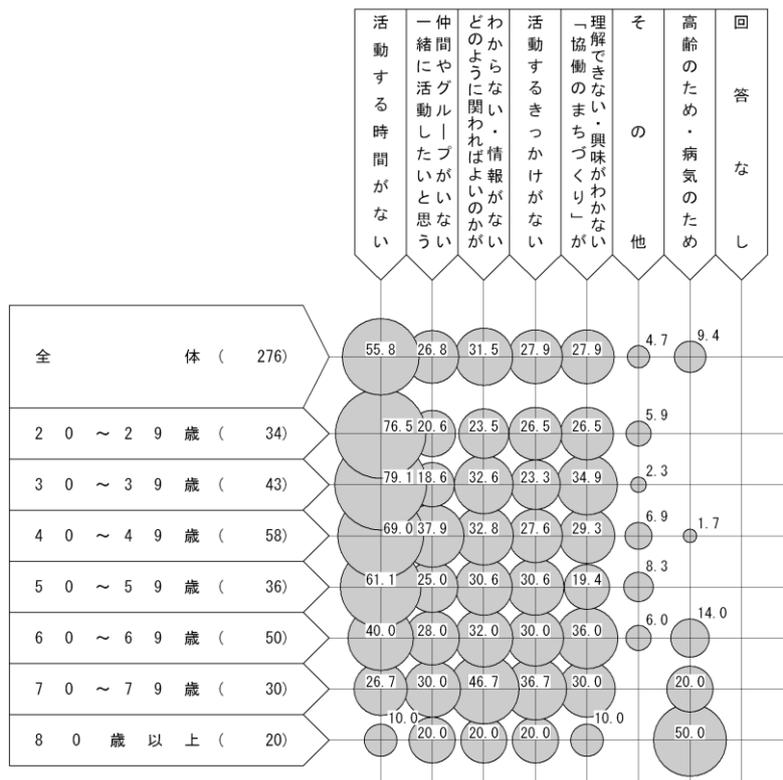
図表 5-3-1 協働のまちづくりに参画したくない理由



図表 5-3-2 性別別協働のまちづくりに参画したくない理由



図表 5-3-3 年齢別協働のまちづくりに参画したくない理由



6. 知立市総合計画

(1) 知立市総合計画の認知度

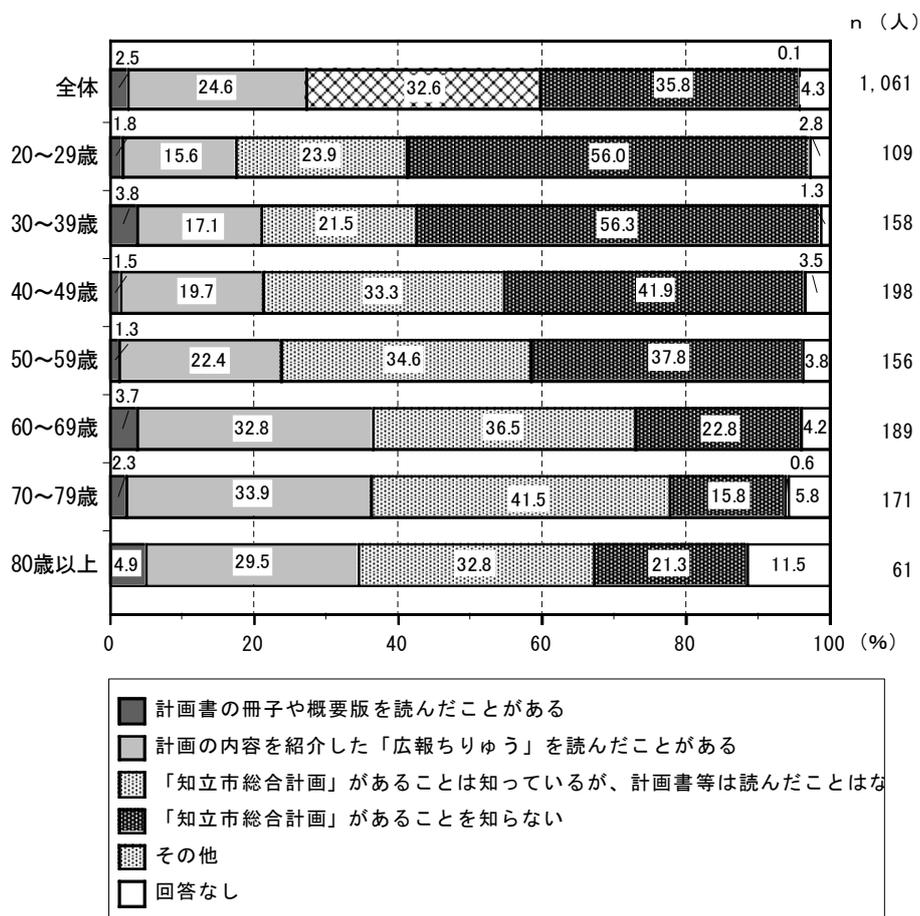
問16 あなたは、「知立市総合計画」を知っていますか。

知立市総合計画の存在を知っている人は59.9%。しかし、読んだことがある人や、内容を紹介した「広報ちりゅう」を読んだことがある人は27.1%となっている。

○知立市総合計画の認知度について、「『知立市総合計画』があることを知らない」は35.8%となっており、59.9%の人は総合計画の事を知っています（図表6-1-1）。

○「計画書の冊子や概要版を読んだことがある」は2.5%とごくわずかで、「計画の内容を紹介した『広報ちりゅう』を読んだことがある」が24.6%、「『知立市総合計画』があることは知っているが、計画書等は読んだことはない」が32.6%となっています。

図表 6-1-1 年齢別知立市総合計画の認知度



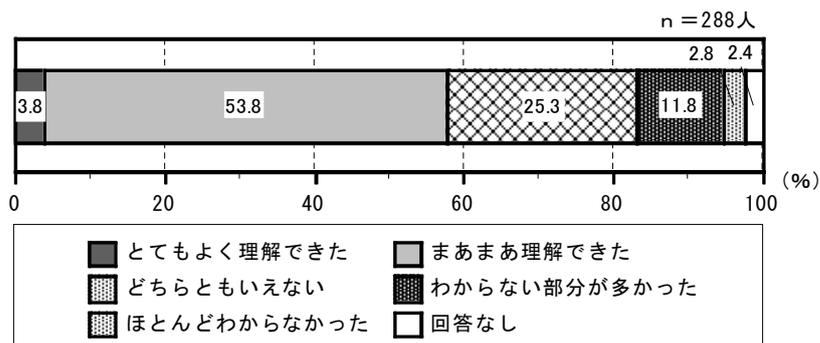
(2) 知立市総合計画の内容の理解度

問16-1 「知立市総合計画」の内容は理解できましたか

知立市総合計画を読んだ人のうち 57.6%の人が内容を理解できている。

○知立市総合計画の理解度について、「とてもよく理解できた」は3.8%、「まあまあ理解できた」は53.8%で、あわせて57.6%の人は“理解できた”と回答しています(図表6-2-1)。

図表 6-2-1 知立市総合計画の内容の理解度



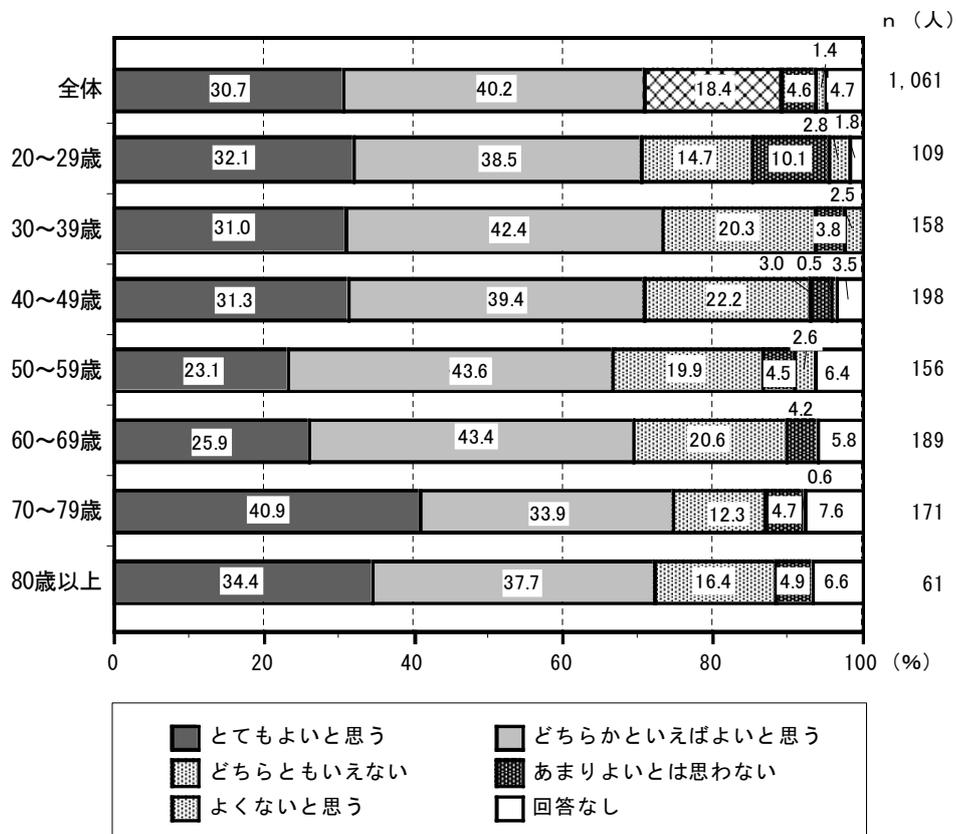
(3) 現在の知立市の将来像の評価

問17 現在の知立市総合計画における都市の将来像は『輝くまち みんなの知立』となっています。この将来像についてどう思いますか

現在の知立市の将来像について約7割の人が“よい”と評価している。

- 現在の知立市の将来像について、「とてもよいと思う」は 30.7%、「どちらかといえばよいと思う」は 40.2%で、あわせて 70.9%の人が“よい”と評価しています（図表 6-3-1）。
- 年齢別にみると、「とてもよいと思う」が 70～79 歳で 40.9%と多くなっており、50～59 歳、60～69 歳でそれぞれ 23.1%、25.9%と少なくなっています。

図表 6-3-1 年齢別現在の知立市の将来像の評価



(4) 知立市の将来像に込めたい思い

問18 次期の総合計画において知立市の将来像を設定する場合、どのような言葉を使うとよいと思いますか

将来像に込めたい思いについて、「つながり・絆・みんな・笑顔」や「安全・安心」、「住みよさ」、「未来・夢」などの言葉を使ってはどうかという意見が多い。

○将来像に込めたい思いについて、「つながり・絆・みんな・笑顔」などのキーワードが盛り込まれた意見は44件と最も多く、次いで「安全・安心」が40件、「住みよさ」が38件、「未来・夢」が30件、「活力・元気」が21件と続いています（図表6-4-1）。

図表 6-4-1 知立市の将来像に込めたい思い

	キーワード	市民(件)
1	つながり・絆・みんな・笑顔	44
2	安全・安心	40
3	住みよさ	38
4	未来・夢	30
5	活力・元気	21
6	高齢者・子ども・福祉	13
7	歴史・文化	13
8	具体的な表現に	13
9	実現性・継続性	12
10	協働・市民主体	12
11	愛着・誇り・郷土	7
	その他	40

7. 自由意見

分類内容		件数
1. 市街地や道路について		73 件
1	知立駅周辺の整備・改善	34
2	住宅や宅地の整備・改善	2
3	幹線道路の整備・改善	14
4	身近な生活道路の整備・改善	8
5	公共交通の利便性向上	8
6	歩道の整備・改善	6
7	その他	1
2. 産業について		22 件
1	工業の振興や企業誘致	4
2	商業・サービス業の振興	7
3	観光推進・PR	11
3. 生活環境について		68 件
1	大規模災害対策	5
2	交通安全	17
3	公害対策	1
4	ごみの減量化、リサイクル	11
5	下水道の整備	8
6	公園・緑地の整備・改善	5
7	防犯対策	21
4. 健康・医療・福祉について		27 件
1	地域福祉活動の促進	1
2	子育て支援、保育所等の整備	9
3	高齢者福祉	12
4	障がい者福祉	1
5	低所得者等の自立支援	1
6	保健・医療・福祉の向上	2
7	その他	1

分類内容		件数
5. 教育・文化・市民活動について		31 件
1	生涯学習活動の促進	1
2	図書館・ホールなど施設の充実	5
3	幼稚園・小中学校などの学校 教育環境	8
4	文化活動の振興や歴史の継承	3
5	スポーツの振興について	4
6	国際化、外国人との共生	2
7	ボランティアや市民活動支援	3
8	その他	5
6. 市役所について		176 件
1	知立市の広報・広聴活動	20
2	市役所の職員の対応	9
4	財政運営・行政について	81
5	人事・職員について	16
6	市職員の待遇について	6
7	公共施設	15
8	総合計画	9
9	その他	3
7. アンケートへの意見		8 件
8. その他		8 件
合計		413 件

II 職員アンケート

0. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、平成 27 年度からの「第 6 次知立市総合計画」の策定の基礎資料として、現時点での市政の検証を行うため実施しました。

(2) 調査の概要

本調査は、平成 25 年度の知立市正規職員 447 人を対象に調査を実施しました。調査概要は、下表に示すとおりです。

図表 0 調査の配布・回収結果

調査対象	平成 25 年度正規職員 447 人		
抽出方法	悉皆調査	調査方法	メールによる配布・回収
調査時期	平成 25 年 10 月		
配布数	447 人	回収数	317 票
回収率	70.9%		

(3) 報告書の見方

- グラフは、帯グラフ、横棒グラフの 2 種類を必要に応じて使い分けています。
- 図中の構成比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0%になりません。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表しています。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

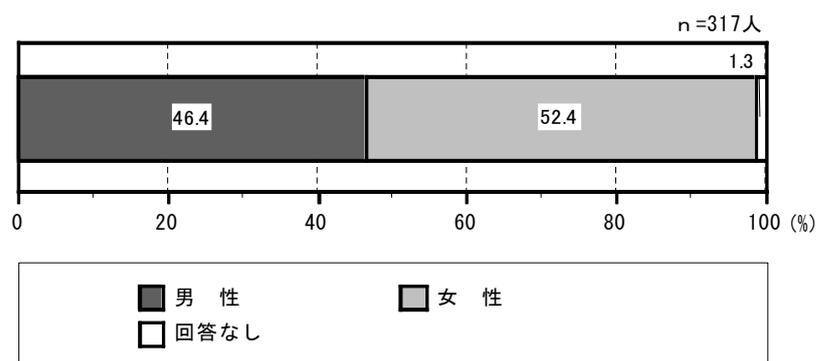
1. 回答者のプロフィール

(1) 性別

問1 (1) あなたの性別について教えてください

○回答者の性別は、「男性」が46.4%、「女性」が52.4%となっています。(図表 1-1)。

図表 1-1 性別

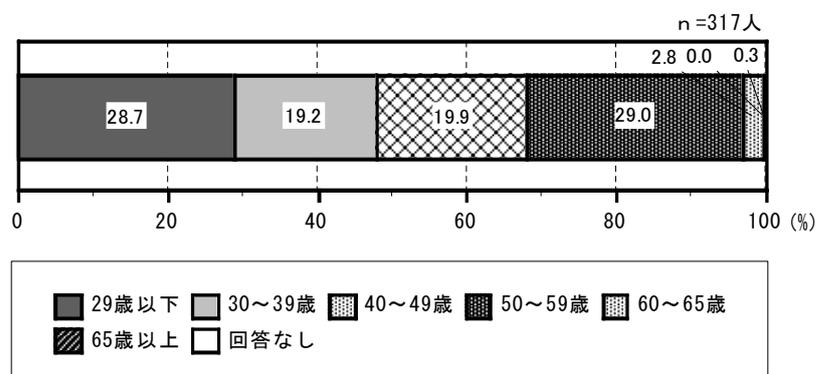


(2) 年齢

問1 (2) あなたの年齢について教えてください

○回答者の年齢は、「50～59歳」が29.0%と最も多く、次いで「29歳以下」が28.7%、「40～49歳」が19.9%、「30～39歳」が19.2%と続いています(図表 1-2)。

図表 1-2 年齢



(3) 現住所・居住年数

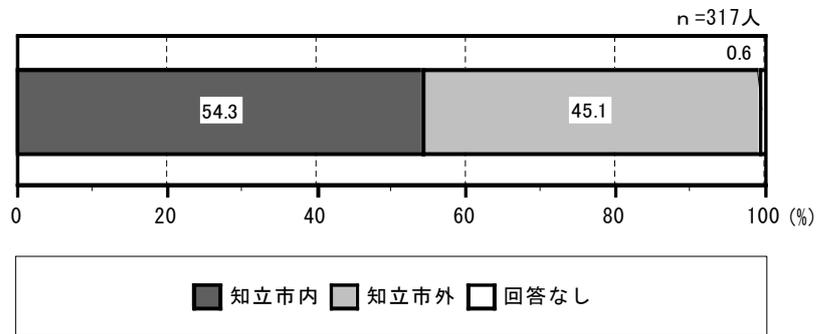
問1 (3) あなたの現住所について教えてください

問1 (3-1) あなたの知立市での居住年数について教えてください

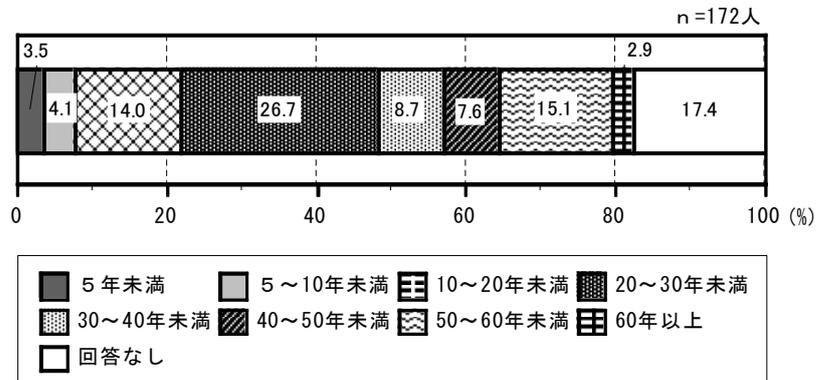
○回答者の現住所は、「知立市内」が 54.3%であり、「知立市外」が 45.1%となっています (図表 1-3-1)。

○知立市内に住んでいる人に居住年数をたずねたところ、「20～30年未満」が 26.7%と最も多く、ついで「50～60年未満」が 15.1%となっています (図表 1-3-2)。

図表 1-3-1 現住所



図表 1-3-2 知立市での居住年数

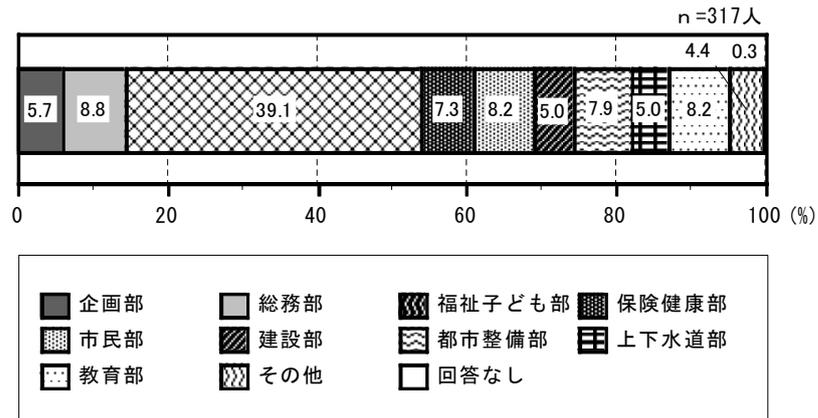


(4) 所属部

問1 (4) あなたの所属部について教えてください

○回答者の所属部署は、「福祉子ども部」が39.1%と最も多く、その他の部署は5～8%程度となっています(図表1-4)。

図表 1-4 所属部



2. 知立市の印象

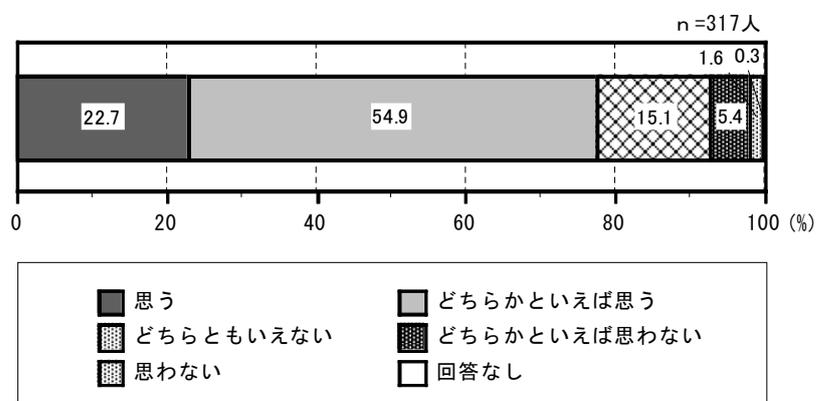
(1) 知立市の暮らしやすさ

問2 知立市は「暮らしやすい都市」と思えますか

○知立市の暮らしやすさについて、「思う」は 22.7%、「どちらかといえば思う」は 54.9%で、あわせて 77.6%の人が“暮らしやすい”と思っています（図表 2-1-1）。

○知立市が暮らしやすいと思わない理由は、「道路事情や交通の便が悪いから」が 14 件と最も多く、次いで「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから」が 12 件と多くなっています（図表 2-1-2）。

図表 2-1-1 知立市の暮らしやすさ



図表 2-1-2 知立市が暮らしやすいと思わない理由

カテゴリ	件数	割合 (%)
自然の減少や環境の悪化が進んでいるから	4	18.2
宅地が確保しにくいなど、住環境の整備が遅れているから	4	18.2
上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから	7	31.8
道路事情や交通の便が悪いから	14	63.6
消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	1	4.5
スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから	12	54.5
市内に適当な職場が少ないから	1	4.5
日常の買い物が不便だから	3	13.6
保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから	3	13.6
福祉分野のサービスや施設が不十分だから	5	22.7
子どもの保育・教育のことが心配だから	0	0
地域の行事や近所づきあいが面倒だから	2	9.1
その他	3	13.6
回答なし	0	0
全体	22	100

(2) 現在の知立市の印象

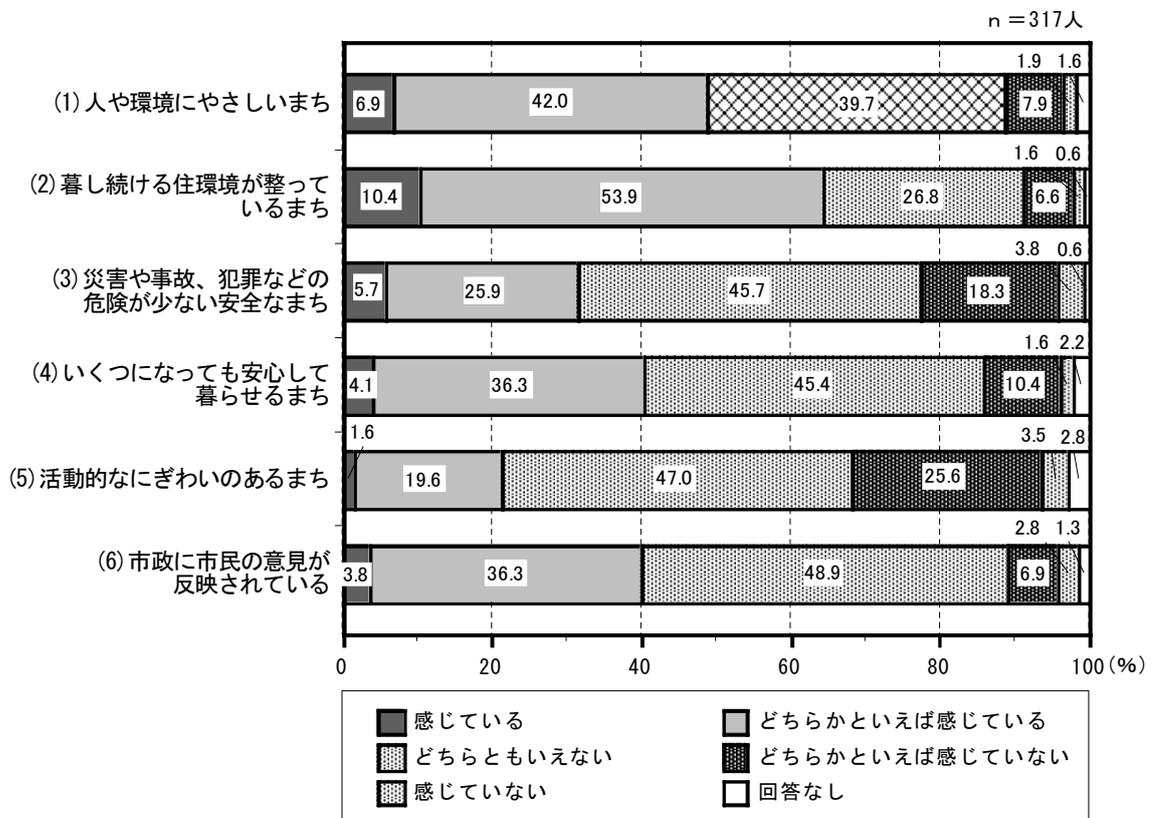
問3 現在の知立市の「印象」について、どのように感じますか

- (1) 人や環境にやさしいまちであると感じますか
- (2) 暮らし続ける住環境が整っているまちであると感じますか
- (3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちであると感じますか
- (4) いくつになっても安心して暮らせるまちであると感じますか
- (5) 活動的なにぎわいのあるまちであると感じますか
- (6) 市政に市民の意見が反映されていると感じますか

○現在の知立市の、それぞれの印象について「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた割合は、『暮らし続ける住環境が整っているまち』が64.3%と最も多く、次いで『人や環境にやさしいまち』が48.9%、『いくつになっても安心して暮らせるまち』が40.4%、『市政に市民の意見が反映されている』が40.1%となっています（図表2-2-1）。

○また、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」をあわせた割合は、『活動的なにぎわいのあるまち』が29.1%で最も多く、次いで『災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち』が22.1%となっています。

図表 2-2-1 知立市の印象



(3) 知立市の強み・弱み

問4 知立市を他の都市と比べた時、「強み・長所」及び「弱み・短所」はどこに感じますか

○知立市の強みについては図表のとおりです。市民と同様に、交通環境に関するものが多くなっています。また、市の規模に関するものも多くなっています。特に「交通の便が良い」や「市域が狭く、コンパクトにまとまっている」を強みとして挙げている人が多くなっています（図表2-3-1）。

図表2-3-1 知立市の強み

意見内容	件数	意見内容	件数
1. 交通環境について	166 件	4. 歴史・文化、観光資源について	33 件
交通の便が良い	119	文化・伝統、歴史がある	13
広域道路や生活道路など道路網が整っており、便利である	19	東海道五十三次の宿場町池鯉鮒などの観光資源や名物がある	20
拠点駅 知立駅があり、特急もとまる	17	5. 市民や町内会活動について	12 件
鉄道網が充実しており、便利が良い	11	市民の協力性が高く、町内会活動が活発である	3
2. 市の規模、行政運営について	74 件	知立への愛着が強い、地域のつながりが強い	6
市域が狭く、コンパクトにまとまっている	48	外国人が多く、国際色が強い	3
市がコンパクトで、一体的に、迅速に行政運営を進めやすい	21	6. その他	11 件
市域が狭く、地域間格差があまりない	5	その他	11
3. 生活環境について	53 件	合計	349 件
子育て環境が整っており、子育て支援が充実している	21		
親しみやすい、静かで住みやすいまちである	7		
公共施設の利便性が高い	6		
公園が多く、きれいに管理されている	5		
災害時の被害の心配が少ない	7		
買い物、病院など、生活利便施設・住環境が整っている	5		
駅周辺整備事業が行われ、生活利便性が向上する	2		

○知立市の弱みについては図表のとおりです。市民と同様に、税金・税関に関するものが多くなっています。また、駅周辺のにぎわいに関することや、道路環境に関するものが多くなっています。特に「企業、大企業がなく、財政が弱い」や「道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い」などを弱みとして挙げている人が多く、市民と同様の結果となっています（図表 2-3-2）。

図表2-3-2 知立市の弱み

意見内容	件数	意見内容	件数
1. 駅周辺のにぎわいやまちの活気について	66 件	5. 道路環境や生活インフラの整備について	42 件
駅周辺整備が進んでいない、駅周辺の魅力、にぎわいが無い	14	道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い	29
まちに活気がない	7	交通環境、地域内移動環境が整っていない	5
飲食店や商業施設、映画館など集客施設がない	13	渋滞が多い	4
知名度が低い、アピールポイント、魅力に欠ける	18	上下水道などインフラが整っていない	2
観光資源・特産品などが無い、観光資源が活かされていない	14	区画整理がきちんとされていない	2
2. 税金・税関について	84 件	6. 生活環境について	22 件
企業、大企業が少なく、財政が弱い	40	子育て環境、子どもの遊び場が少ない	3
財政が弱い	26	子育てサービスが過剰である	1
近隣都市と比較されて、財政力が弱く、行政サービスが整っていないイメージがある	16	自然が少ない	3
税金が高い	2	外国人が多い	9
3. 公共施設・生活利便施設について	14 件	人の出入りが多く、市民のまとまりが良くない	6
警察署や税務署、総合病院などの施設がない	6	7. まちづくり、市政運営について	24 件
公園、スポーツ施設、図書館等の公共施設が少ない	8	市民の声を聞きすぎている	2
4. 市域や土地利用について	32 件	市民の声がまちづくりに活かされていない	1
市が狭い	14	強みを生かし切れていない、特徴的な施策がない	10
市が狭く、通り抜けされてしまう	10	身の丈、実状にあった行政運営になっていない	11
市が狭く、土地利用、産業振興に制限がある	8	8. その他	16 件
		合計	300 件

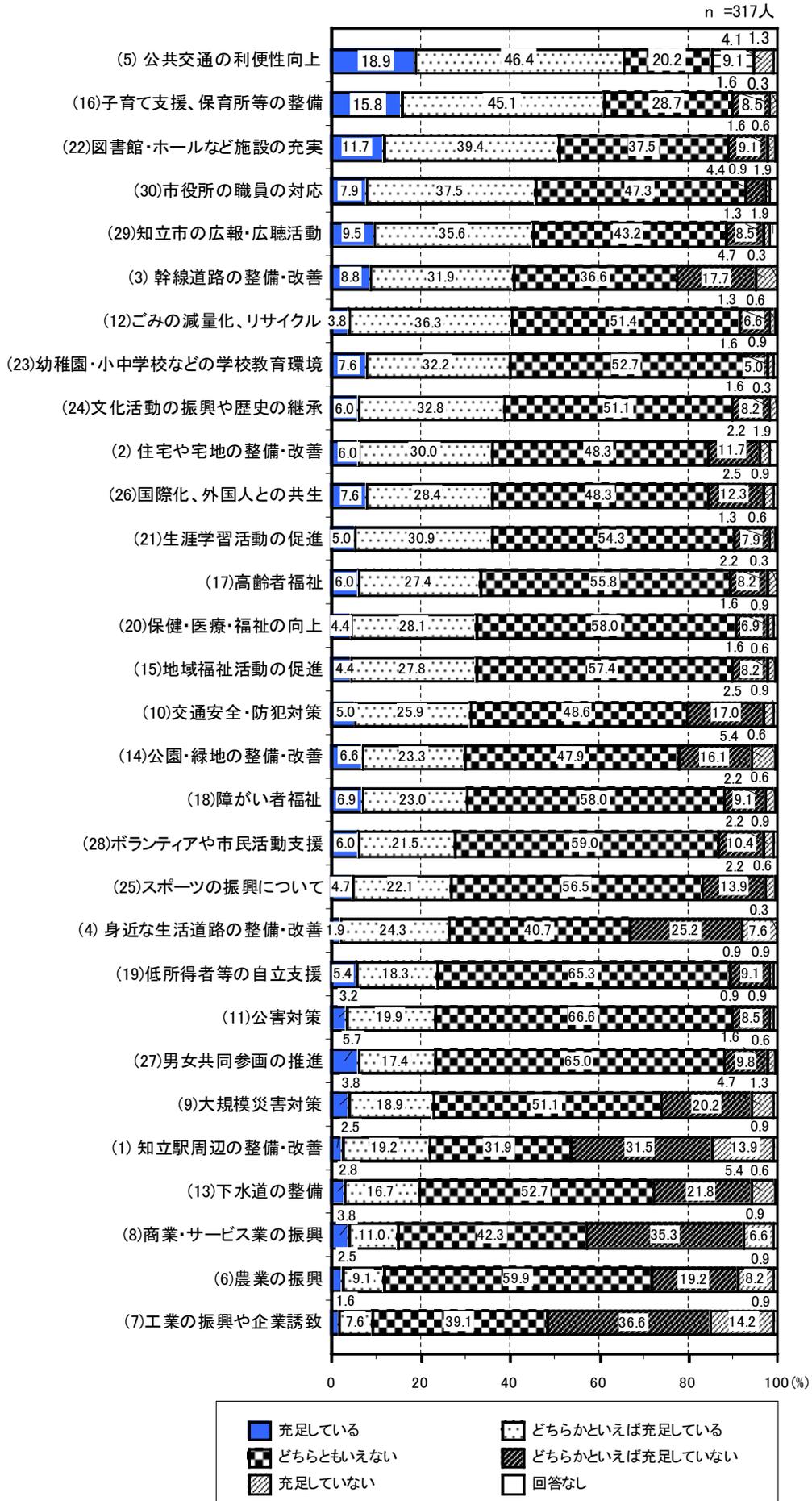
3. 知立市のまちづくり

(1) 知立市の取組みの充足度

問5 あなたは、以下の知立市の取り組みについて、現在「充足」していると思いますか

- 知立市の取組みに対する充足度について、「充足している」と「どちらかといえば充足している」をあわせた割合は、『公共交通の利便性向上』が 65.3%と最も多く、次いで『子育て支援、保育所等の整備』が 60.9%、『図書館・ホールなど施設の充実』が 51.1%、『市役所の職員の対応』が 45.4%、『知立市の広報・広聴活動』が 45.1%と続いています（図表 3-1）。
- 一方、「どちらかといえば充足していない」と「充足していない」をあわせた割合は、『工業の振興や企業誘致』が 50.8%と最も多く、次いで『知立駅周辺の整備・改善』が 45.4%、『商業・サービス業の振興』が 41.9%、『身近な生活道路の整備・改善』が 32.8%と続いています。

図表 3-1 知立市の取組みの充足度

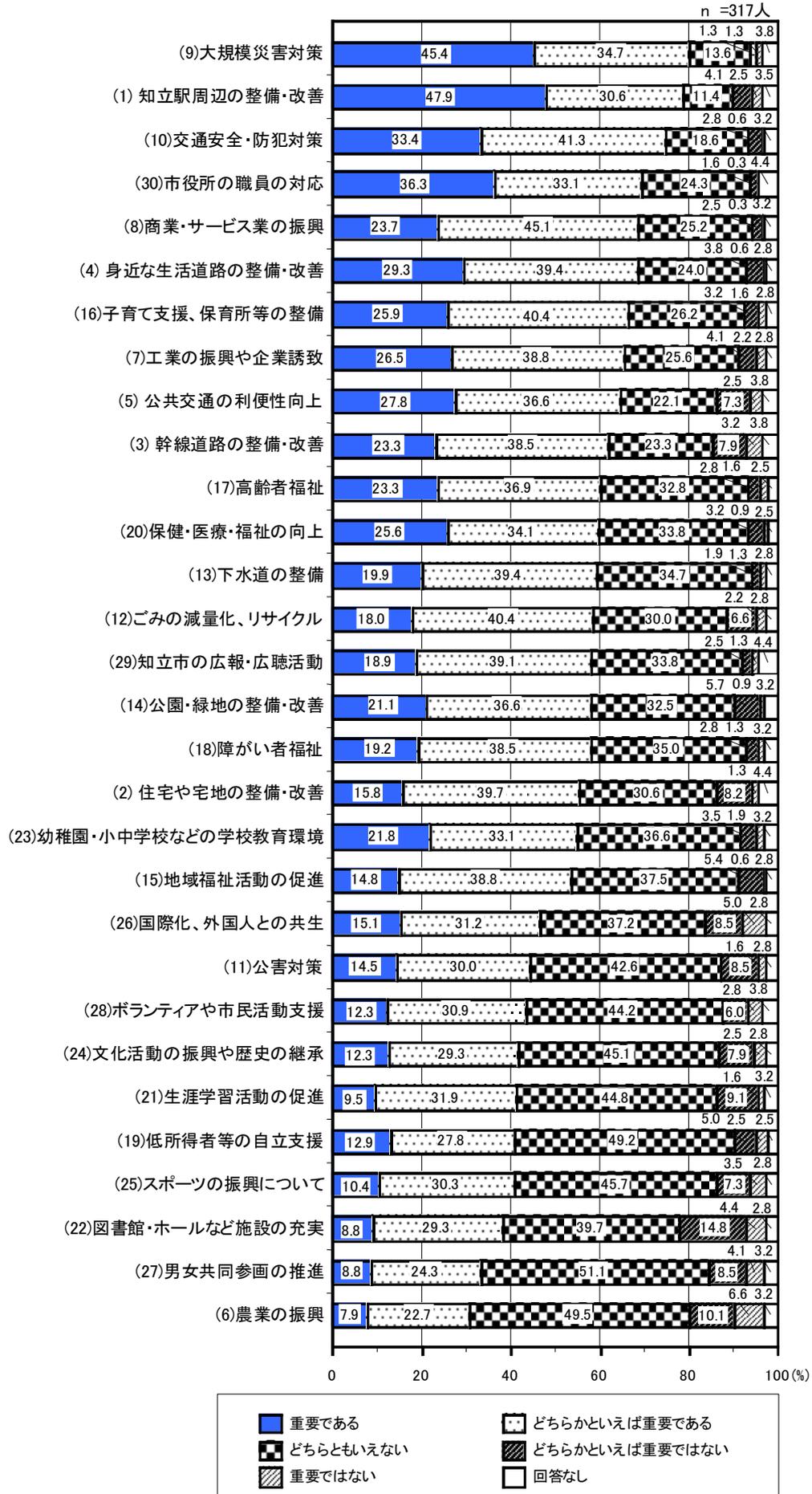


(2) 知立市の取組みの重要度

問5 あなたは、以下の知立市の取組みについて、今後の取組みは「重要」だと思いますか

- 今後の取組みに対する重要度について、「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた割合は、『大規模災害対策』が 80.1%と最も多く、次いで『知立駅周辺の整備・改善』が 78.5%、『交通安全・防犯対策』が 74.7%、『市役所の職員の対応』が 69.4%、『商業・サービス業の振興』が 68.8%、『身近な生活道路の整備・改善』が 68.7%と続いています(図表 3-2)。
- 一方、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた割合は、『図書館・ホールなどの施設の充実』が 19.2%と最も多く、次いで『農業の振興』が 16.7%、『国際化、外国人との共生』が 13.5%、『男女共同参画の推進』が 12.6%と続いています。

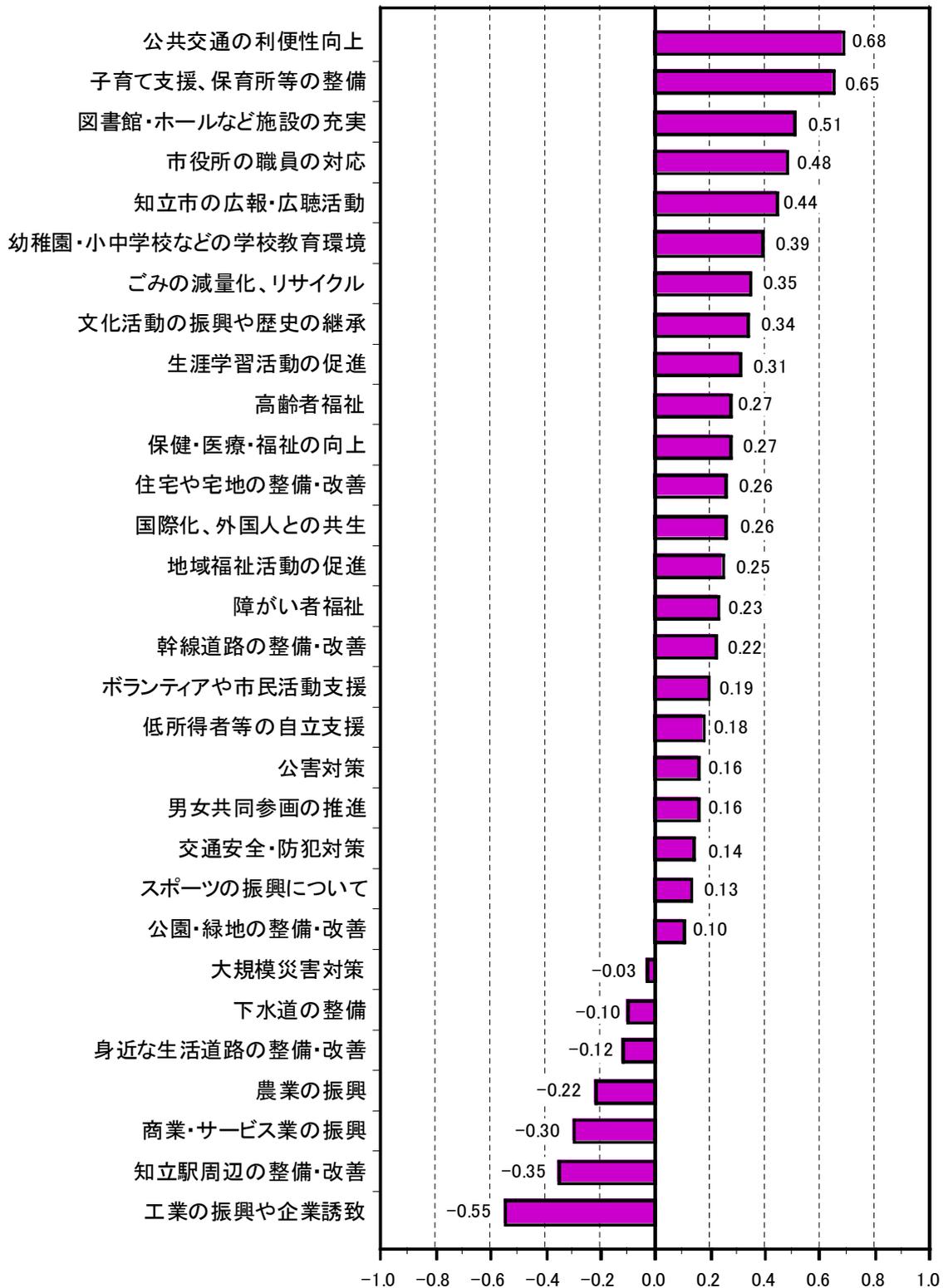
図表 3-2 知立市の取組みの重要度



(3) 充足度と重要度の評点

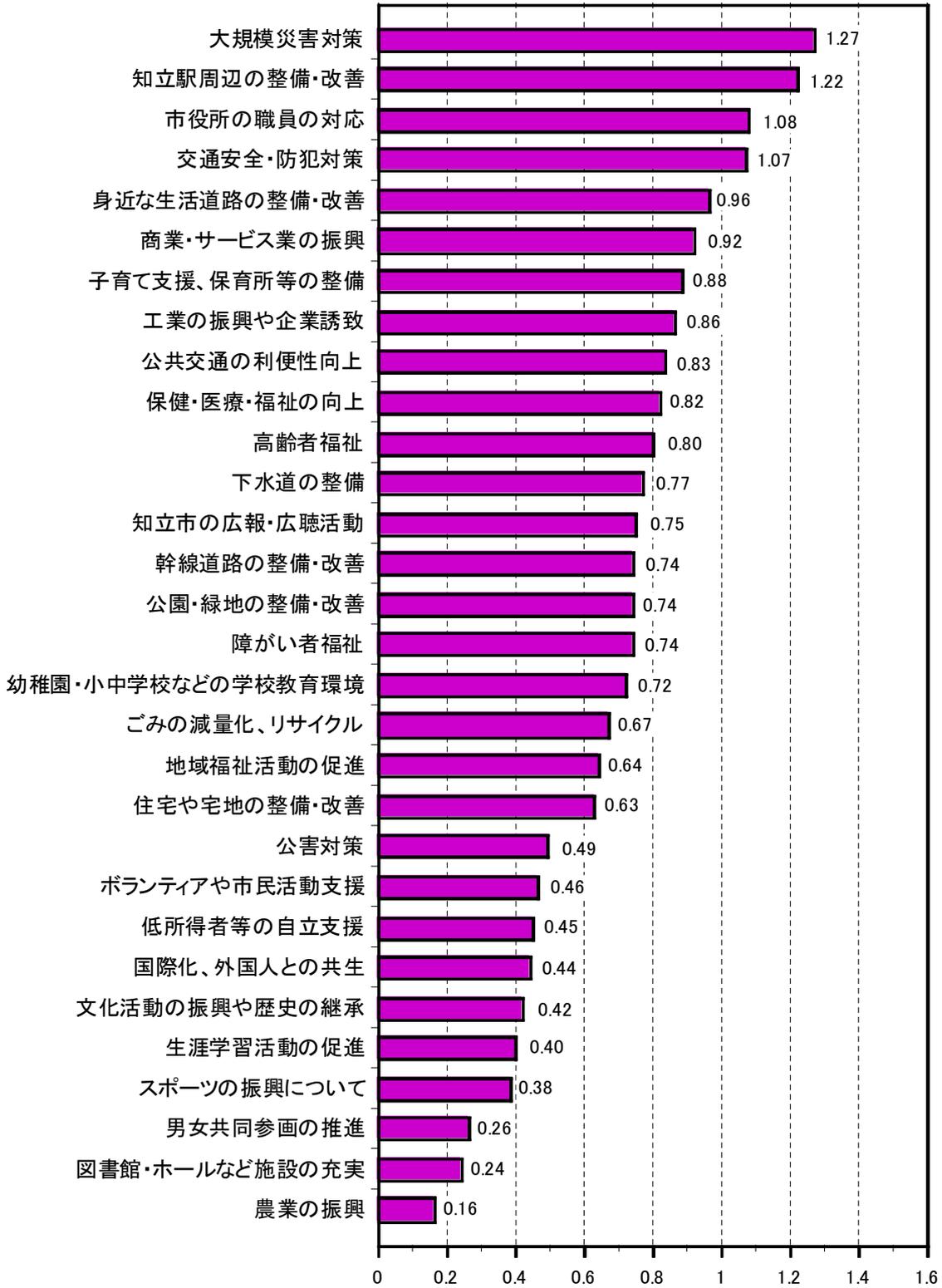
○充足度の評点の平均値は 0.18 で、各施策の充足度の評点は図表の通りです。

図表3-3-1 充足度の評点



○重要度の評点の平均値は0.69で、各施策の重要度の評点は図表の通りです。

図表3-3-2 重要度の評点

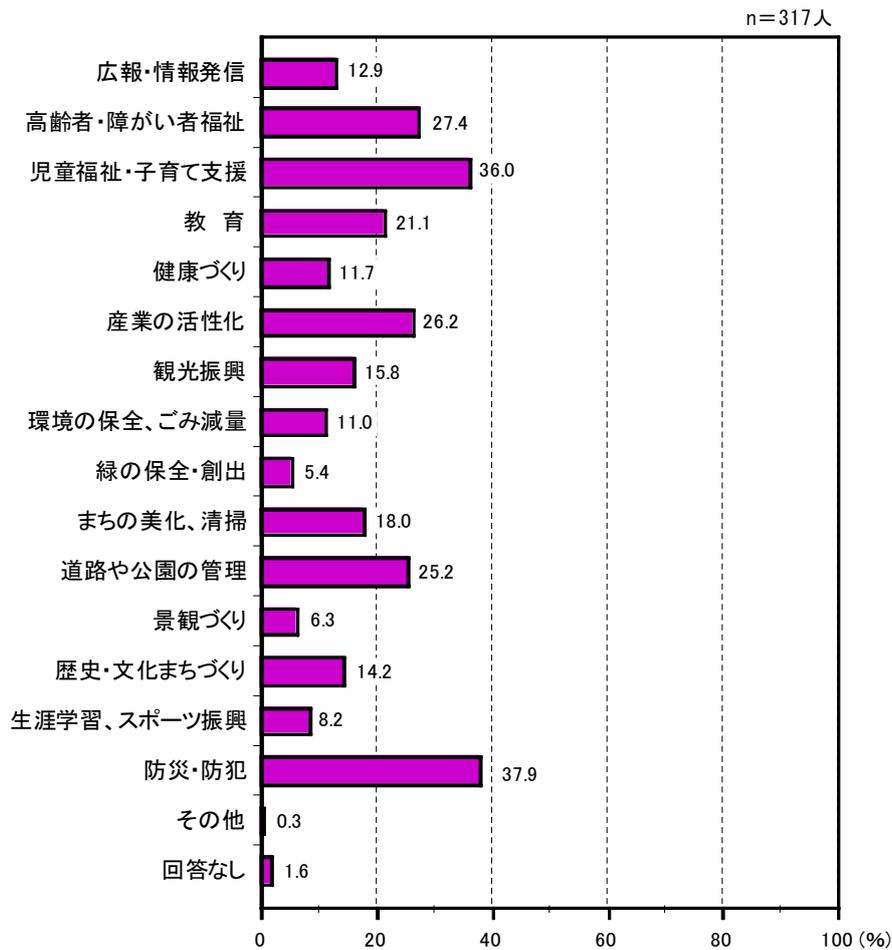


(4) 協働のまちづくりを推進すべき分野

問6 知立市では「まちづくり基本条例」に基づき「協働のまちづくり」を推進していますが、どのような分野において、特に進めるべきと思いますか

○協働のまちづくりを推進すべき分野は、「防災・防犯」が37.9%と最も多く、次いで「児童福祉・子育て支援」が36.0%、「高齢者・障がい者福祉」が27.4%、「産業の活性化」が26.2%、「道路や公園の管理」が25.2%と続いています（図表3-4）。

図表 3-4 協働のまちづくりを推進すべき分野



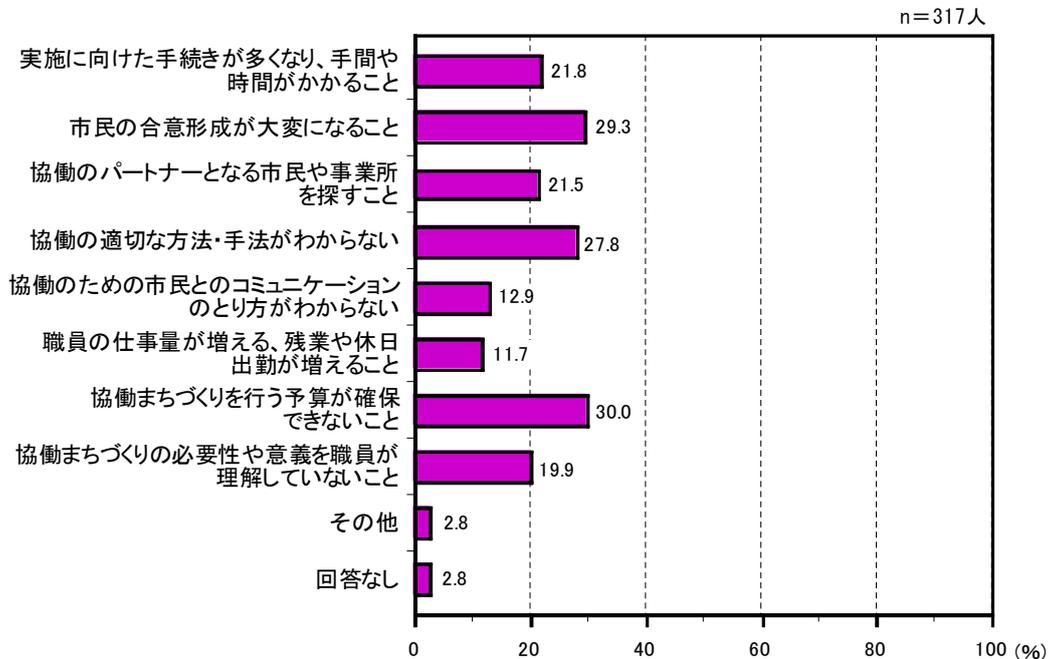
(5) 『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因

問7 知立市が『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因は何だと思いますか

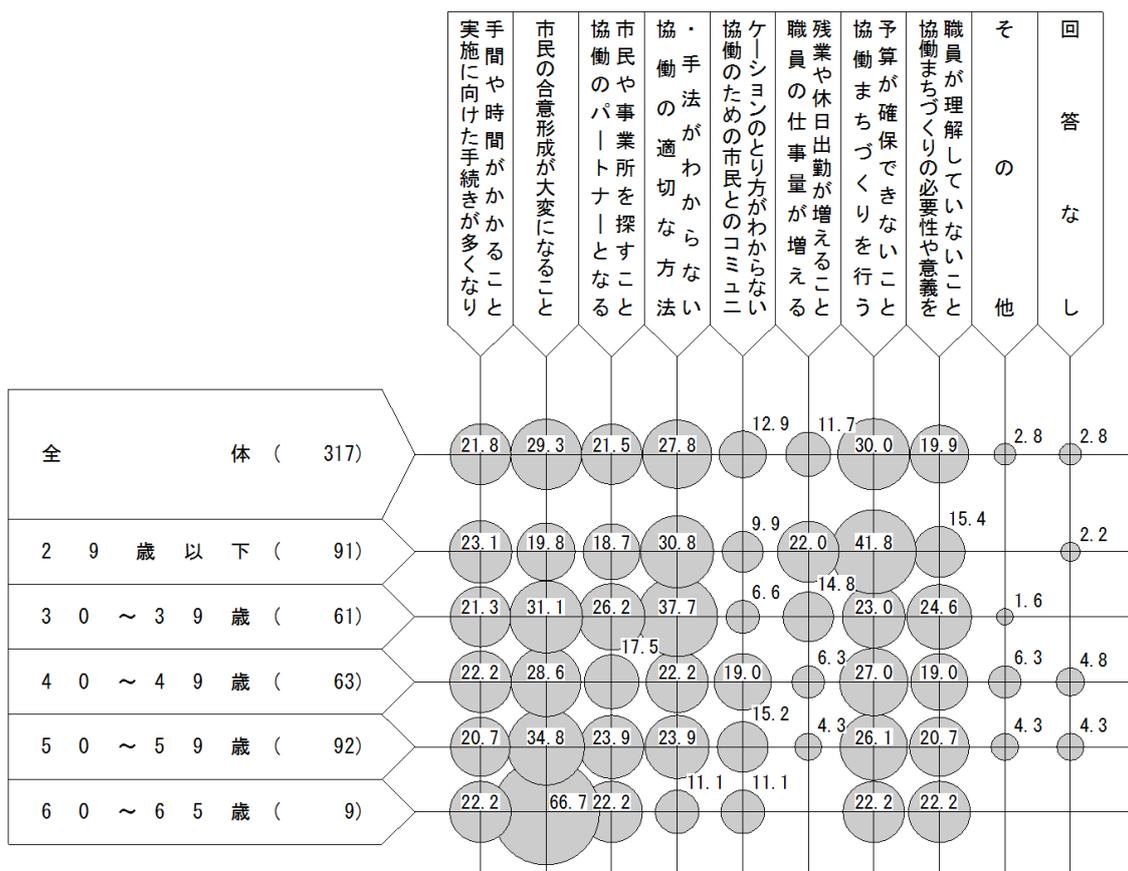
○『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因は、「協働のまちづくりを行う予算が確保できないこと」が30.0%と最も多く、次いで「市民の合意形成が大変になること」が29.3%、「協働の適切な方法・手法がわからない」が27.8%となっています（図表3-5-1）。

○年齢別にみると、29歳以下の人は「協働のまちづくりを行う予算が確保できないこと」が41.8%と多くなっています。また、39歳以下の人は「協働の適切な方法・手法がわからない」が多くなっています（図表3-5-2）。

図表 3-5-1 『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因



図表 3-5-2 年齢別『協働のまちづくり』を進めるにあたっての課題・阻害要因

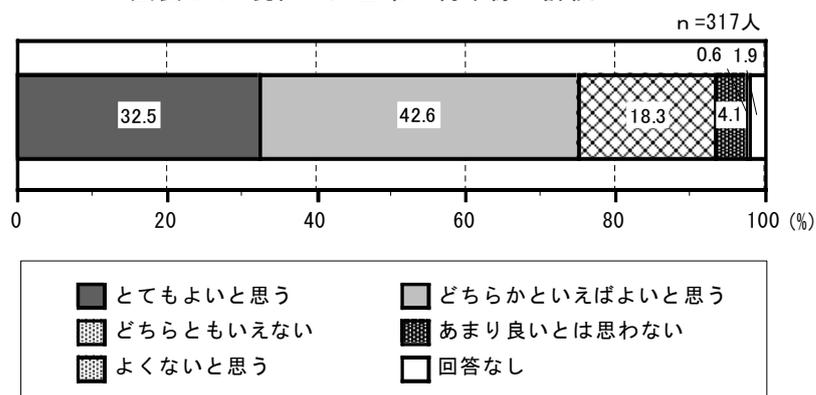


(6) 現在の知立市の将来像の評価

問8 現在の知立市総合計画における都市の将来像は『輝くまち みんなの知立』となっています。この将来像についてどう思いますか

○現在の知立市の将来像の評価について、「とてもよいと思う」が 32.5%、「どちらかといえばよいと思う」が 42.6%、あわせて 75.1%の人が“よい”と評価しています（図表 3-6）。

図表 3-6 現在の知立市の将来像の評価



(7) 将来像に込めたい思い

問9 次期の総合計画において知立市の将来像を設定する場合、どのような言葉を使うとよいと思いますか

○将来像に込めたい思いについて、「住みよさ」などのキーワードが盛り込まれた意見は 15 件と最も多く、次いで「つながり・絆・みんな・笑顔」が 13 件、「協働・市民主体」が 11 件、「具体的な表現に」が 10 件と続いています（図表 3-7）。

図表 3-7 知立市の将来像に込めたい思い

	キーワード	職員(件)
1	住みよさ	15
2	つながり・絆・みんな・笑顔	13
3	協働・市民主体	11
4	具体的な表現に	10
5	活力・元気	7
6	愛着・誇り・郷土	6
7	実現性・継続性	4
8	安全・安心	3
9	未来・夢	2
9	歴史・文化	2
10	実現性・継続性	4
11	その他	5

Ⅲ 市民アンケートと職員アンケートの比較

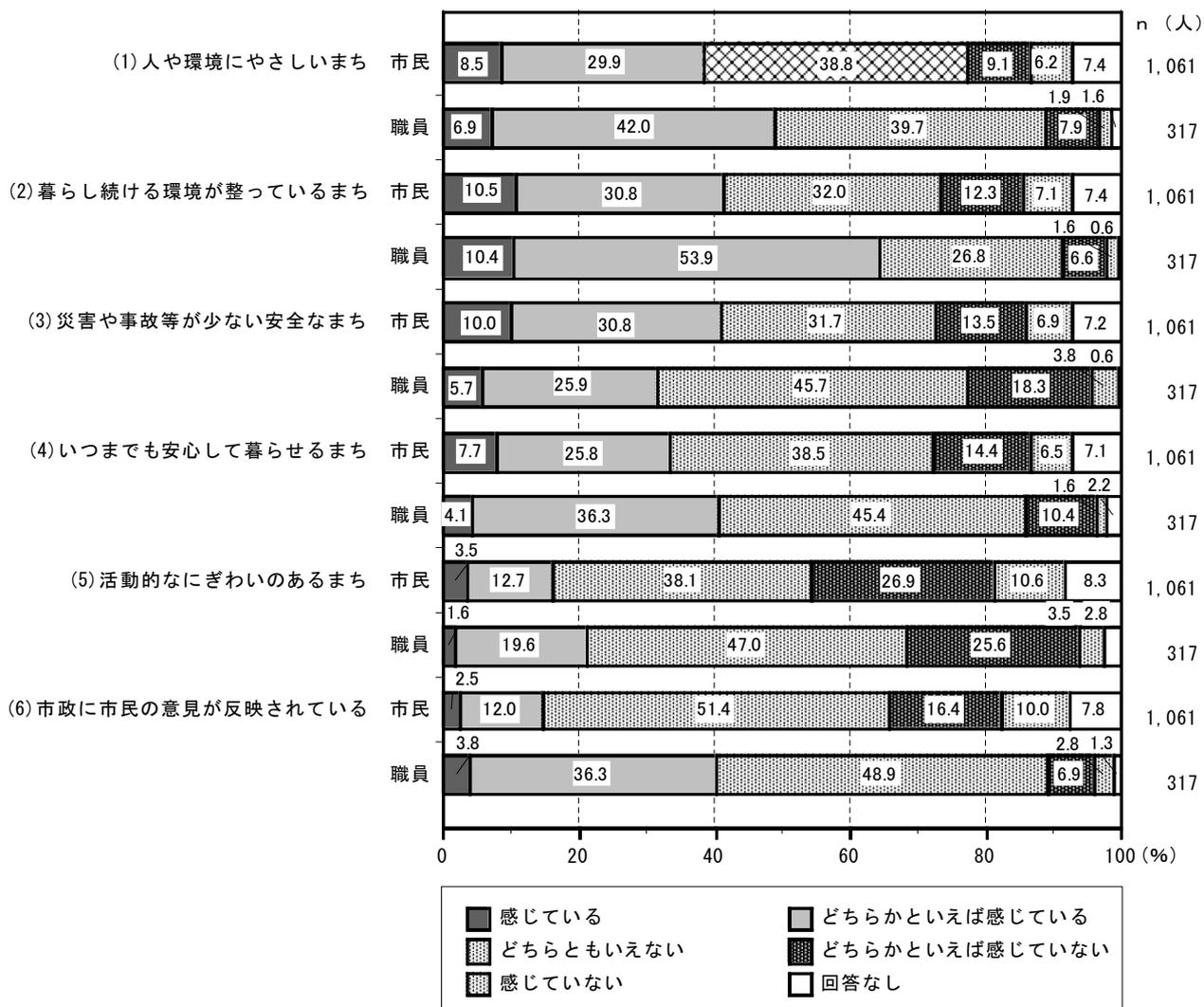
(1) 現在の知立市の印象について市民と職員の比較

問3 現在の知立市の「印象」について、どのように感じますか

- (1) 人や環境にやさしいまちであると感じますか
- (2) 暮らし続ける住環境が整っているまちであると感じますか
- (3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちであると感じますか
- (4) いくつになっても安心して暮らせるまちであると感じますか
- (5) 活動的なにぎわいのあるまちであると感じますか
- (6) 市政に市民の意見が反映されていると感じますか

- 現在の知立市の、それぞれの印象について「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた割合を、市民と職員とで比較しました（図表 1-1）。
- 最も差が大きいのは『市政に市民の意見が反映されている』で市民が 14.5%であるのに対して、職員は 40.1%となっており、25.6 ポイント差があります。
- 次いで、『暮らし続ける住環境が整っているまち』で市民が 41.3%であるのに対して、職員は 64.3%となっており、23.0 ポイント差があります。
- また、『人や環境に優しいまち』で市民が 38.4%であるのに対して、職員は 48.9%となっており、10.5 ポイント差があります。
- 一方、『災害や事故、犯罪などの危険が少ない』では、市民が 40.8%であるのに対して、職員は 31.6%と、9.2 ポイント差があります。

図表 1-1 知立市の印象



(2) 市民と職員の満足度・充足度と重要度の比較

問5 あなたは、以下の知立市の取り組みについて、現在「充足」していると思いますか。また、今後の取り組みは「重要」だと思いますか

○現在の知立市の取り組みに対する満足度・充足度の評点について、市民の上位5項目に入っているにもかかわらず、職員の上位5項目に入っていないものは、『ごみの減量化、リサイクル』です（図表2-1）。

○現在の知立市の取り組みに対する重要度の評点について、市民の上位5項目に入っているにもかかわらず、職員の上位5項目に入っていないものは、『保健・医療・福祉の向上』と『高齢者福祉』です（図表2-2）。

○一方、重要度の評点について、職員の上位5項目に入っているにもかかわらず、市民の上位5項目に入っていないものは、『市役所の職員の対応』、『身近な生活道路の整備・改善』です。

図表 2-1 市民の満足度と職員の充足度の比較

		市民 満足度			職員 充足度
第1位	知立市の広報・広聴活動	0.47	第1位	公共交通の利便性向上	0.68
第2位	ごみの減量化、リサイクル	0.37	第2位	子育て支援、保育所等の整備	0.65
第3位	市役所の職員の対応	0.3	第3位	図書館・ホールなど施設の充実	0.51
第4位	公共交通の利便性向上	0.28	第4位	市役所の職員の対応	0.48
第5位	図書館・ホールなど施設の充実	0.27	第5位	知立市の広報・広聴活動	0.44

図表 2-2 市民と職員の重要度の比較

		市民 重要度			職員 重要度
第1位	知立駅周辺の整備・改善	1.36	第1位	大規模災害対策	1.27
第2位	交通安全・防犯対策	1.33	第2位	知立駅周辺の整備・改善	1.22
第3位	大規模災害対策	1.31	第3位	市役所の職員の対応	1.08
第4位	保健・医療・福祉の向上	1.13	第4位	交通安全・防犯対策	1.07
第5位	高齢者福祉	1.09	第5位	身近な生活道路の整備・改善	0.96

知立市の新しい総合計画のためのアンケート調査報告書

平成 26 年 2 月 発行

発 行：知立市役所 企画部 企画政策課

住 所：〒472-8666 愛知県知立市広見 3 丁目 1 番地

電話番号：(0566) 95-0114(直通) F A X 番号：(0566) 83-1141

E-mail: kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp